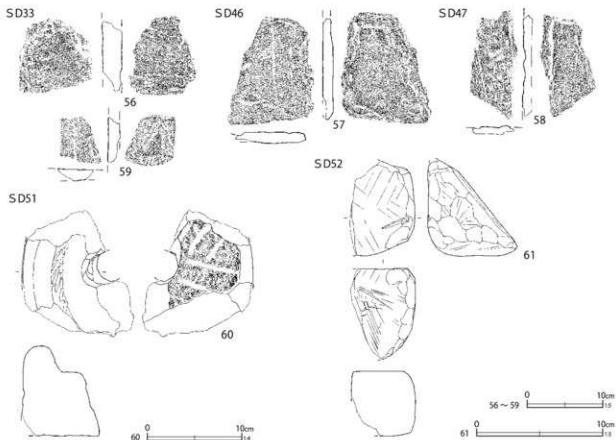




第81図 溝跡出土遺物 (6)

第5表 溝跡出土遺物観察表 (第76～81図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
1	陶器	平碗	-	[3.4]	-	I	5	普通	灰白	古瀬戸 内外面灰軸 後期様式 14C後～15C	
2	陶器	皿	-	[2.0]	(6.7)	I	5	普通	灰黄	瀬戸美濃系 内外面灰軸 内面重ね焼き痕	
3	陶器	壺	-	[14.5]	-	EIK	10	普通	褐灰	No.2～7・10 常滑 肩部に押印文 12C後	
4	陶器	壺	-	[5.3]	-	EGI	5	普通	褐灰	常滑 内面コナダ 肩部上面降灰 押印文	
5	陶器	壺	-	[5.2]	-	EHIK	5	普通	褐灰	常滑 内面降灰 外面ヘラナダ 底部ヘラナダ	
6	陶器	平碗	-	[7.4]	-	HK	5	普通	黄黄	古瀬戸 内外面灰軸 後期様式 15C中	
7	瓦質土器	擂鉢	(28.8)	[7.4]	-	CEIK	10	普通	灰黄	内面擂目 外面工具ナデ 指頭圧痕 焼す	
8	瓦質土器	内耳鍋	-	[13.8]	-	CEIK	15	良好	灰白	焼す	
9	瓦質土器	内耳鍋	(28.8)	[11.6]	-	ACEIK	10	普通	灰白	外面煤付着 焼す	
10	陶器	壺	(41.8)	[11.1]	-	EIK	5	良好	暗灰黄	常滑 内面コナダ 外面降灰 7型式 14C前	
11	瓦質土器	香炉	-	[2.5]	4.2	AEIK	90	普通	灰白	底部糸切痕(右) 煤付着 灯明具転用 焼す	
12	土師質土器	内耳鍋	-	[5.9]	-	AEIK	5	良好	にぶい黄橙		
13	陶器	丸碗	-	[2.0]	-	K	5	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰軸 大泉期 16C	
14	磁器	皿	-	[1.2]	-	-	5	良好	白	中国 内外面施軸	
15	陶器	壺	-	[4.7]	-	EI	5	良好	灰オリーブ	常滑 9型式 15C前	
16	陶器	片口鉢	-	[3.6]	(13.6)	AHIK	10	良好	灰褐	常滑 内面使用による摩耗 5～6a型式 13C	
17	陶器	片口鉢	-	[3.3]	(11.1)	DEIK	10	普通	暗灰黄	常滑 内面降灰 内底面僅かに使用 摩耗 5型式 13C前～中	
18	瓦質土器	擂鉢	-	[10.1]	-	EIK	10	普通	にぶい橙	内面擂目 やや酸化変成	
19	瓦質土器	擂鉢	(28.2)	11.7	(14.3)	CIK	15	良好	灰	内面擂目 底部使用により摩耗	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
20	瓦質土器	内耳鍋	(35.0)	7.7	(23.3)	EIK	5	良好	黄灰	外面一部煤付着 燻す	
21	瓦質土器	内耳鍋	(32.8)	[4.7]	-	ACE	20	良好	灰白	燻す	
22	土師器土器	内耳鍋	-	[10.8]	-	CBHK	10	良好	灰白	燻す	
23	瓦質土器	焙烙	-	4.9	(39.0)	ACHK	25	良好	灰白	底部シワ状痕 酸化炭焼成 外面煤付着	
24	瓦質土器	焙烙	-	5.5	-	CIK	5	普通	にぶい黄橙	外面下位シワ状痕 やや酸化炭焼成	
25	瓦質土器	播鉢	-	[4.4]	-	CEI	5	普通	灰	内面黒目 燻す	
26	瓦質土器	播鉢	-	5.5	-	CEI	5	普通	灰	内面黒目 燻す	
27	磁器	坏	(7.0)	4.0	3.0	-	50	普通	白	肥前系 内外面施軸 色絵(赤) 18C	24-1
28	磁器	碗	(7.4)	(2.4)	-	-	5	普通	白	肥前系 内外面施軸 染付 筒形碗 18C前	
29	陶器	碗	(12.4)	6.0	4.8	I	70	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面緑軸 17C前～中 緑軸丸碗	24-2
30	陶器	皿	-	[1.4]	(6.8)	IK	15	普通	にぶい黄橙	瀬戸美濃系 内外面長石軸 内面鉄絵 17C初葉～前葉	
31	瓦質土器	火鉢	-	[7.2]	16.4	CEIK	90	普通	灰黄褐	底部シワ状痕 脚欠 外面施文 全体に割離 多く口縁部は二次敲打か 内面煤付着	24-3
32	陶器	甕	-	[4.9]	-	DEIK	5	良好	暗褐	常滑 9型式 15C前	
33	磁器	碗	-	[3.5]	-	-	5	普通	白	近世 瀬戸美濃系 内外面施軸 酸化コバルト 染付(端反碗) 19C後	
34	陶器	甕	(37.2)	[4.3]	-	DEIK	10	良好	にぶい黄橙	常滑 6b型式 13C後～末	
35	陶器	壺	-	[10.4]	(10.8)	DEIK	10	良好	黄灰	常滑 外面ヘラナゲ後ナゲ 砂目底 13C	
36	陶器	片口鉢	-	[6.1]	(14.0)	IK	20	良好	灰	常滑 内面下位使用による摩耗 13C前～中	
37	瓦質土器	鉢	(28.3)	[4.7]	-	EIK	10	良好	灰白		
38	土器	内耳土器	(35.2)	[18.3]	-	CEIK	20	普通	にぶい黄橙		
39	瓦質土器	内耳鍋	-	[3.5]	(18.6)	CEI	20	良好	灰白		
40	磁器	多角坏	-	[1.8]	3.8	K	20	普通	灰白	中国部武庫系 内外面緑軸 外面面取 挾入高 台 内面ビン瓶五つ 高台内墨書 15C	
41	陶器	緑軸小皿	-	[1.6]	(5.8)	K	10	良好	灰白	古瀬戸 内外面上位鉄軸 後期様式 15C	
42	陶器	盤	-	[4.0]	(14.4)	EI	15	良好	灰白	古瀬戸 底部回転ケズリ 内外面灰軸 内外面 刷毛塗 後期様式 14C後～15C初	
43	陶器	甕	-	[6.8]	-	DGI	5	普通	褐灰	常滑 外面押印文 表裏面断面を二次研磨(転 用砥具)	
44	瓦質土器	鉢	-	[5.4]	(12.0)	ABEHK	20	普通	灰黄褐	底部静止糸切痕 内外面摩擦(使用による)	
45	瓦質土器	鉢	(29.6)	[10.2]	-	ABEHK	15	普通	淡赤橙	外面下位少量煤付着 一部赤変	
46	陶器	平碗	-	[4.6]	-	IK	5	良好	灰白	古瀬戸 内外面灰軸 後期様式 14C後～15C初	
47	陶器	香炉	-	[2.8]	-	DI	5	良好	灰白	古瀬戸 内外面鉄軸 外面印花文 中期様式 14C	
48	陶器	甕	-	[10.7]	-	EI	5	良好	灰	常滑 内面ヨコナゲ 外面降灰 9型式 15C前	
49	陶器	甕	-	[6.2]	-	DIK	5	良好	褐灰	常滑 内面指頭王冠 ヘラナゲ 外面洗線あり 降灰 破損後断面二次使用(砥具)	
50	陶器	甕	-	[4.4]	-	HI	5	良好	灰	備前 内面回転ナゲ 外面自然釉(降灰)	
51	瓦質土器	播鉢	-	[6.5]	-	CEIK	5	普通	灰白	内面黒目	
52	瓦質土器	火鉢	-	[4.5]	-	ARGIK	5	良好	灰	脚部破片 胎土粉質	
53	瓦質土器	鉢	(14.1)	4.4	(11.3)	CIK	10	普通	灰白	底部の一部に煤付着 香炉の可能性あり	
54	瓦質土器	鉢	(18.4)	[3.3]	-	CFIK	5	普通	灰白	内面一部煤付着 香炉の可能性あり	
55	瓦質土器	焙烙	-	[4.7]	-	CIK	5	良好	にぶい黄橙	燻す	
56	石製品	板碑	長さ[9.4] 幅[6.5] 厚2.5 重さ[297.8 g]								
57	石製品	板碑	長さ[13.9] 幅[11.2] 厚1.5 重さ[357.7 g]								
58	石製品	板碑	長さ[14.5] 幅[6.9] 厚[1.2] 重さ[285.5 g]								
59	石製品	板碑	長さ[6.4] 幅[5.3] 厚1.5 重さ[62.9 g]								
60	石製品	石臼	長さ[13.3] 幅[11.8] 高さ9.5 重さ[140.0 g]								上白 安山岩
61	石製品	転用砥石	長さ[7.5] 幅[7.1] 高さ[5.1] 重さ[290.0 g]								安山岩 縄文砥石か 使用面4面

(3) 土壌

土壌は、全体で90基が検出された。平面形態は、楕円形や方形、隅丸方形を呈するものが多く、楕円形が22基、円形が14基、方形が8基、長方形が1基、隅丸方形が11基、隅丸長方形が11基、不整形が23基であった。遺構の性格を明確に示すものは、確認されなかった。個別の土壌についての規模や出土遺物については第6表にまとめ、特徴的なものについて以下に記すことにする。

第1号土壌 (第82図)

G-14グリッドに位置する。平面形態は楕円形を呈する。規模は長軸1.36m、短軸0.70mが現存し、深さ0.16mである。長方形を呈する第30号土壌と重複し、これを壊している。

遺物は、出土していない。

第3号土壌 (第82図)

F-12グリッドに位置する。平面形態は方形を呈する。規模は長軸0.90m、短軸0.80m、深さ0.08mである。浅い方形の掘り込みである。

遺物は、出土していない。

第5号土壌 (第82図)

F-12グリッドに位置する。平面形態は長方形を呈する。規模は長軸0.86m、短軸0.56m、深さ0.08mである。方形を呈する第3号土壌と同様に、浅い掘り込みである。

遺物は、出土していない。

第7号土壌 (第82・91図)

E-11グリッドに位置する。平面形態は隅丸方形を呈する。規模は長軸1.35m、短軸1.16m、深さ0.64mである。隅丸方形を呈する第25・26号土壌と重複し、これを壊している。また、第28号土壌と重複し、これに壊されている。

遺物は、第91図1の青磁の破片が出土しており、重複する土壌からは出土していない。

第12号土壌 (第82図)

E・F-11グリッドに位置する。平面形態は円形を呈し、規模は長軸1.14m、短軸1.08m、深さ

0.81mである。第26号溝跡と重複し、これを壊している。覆土は特徴的な堆積状況を示す。3層が柱痕と思われることから、本土壌は柱穴の可能性のあるものの、周囲に類似の土壌やピットは認められなかった。

遺物は、出土していない。

第21号土壌 (第84・91図)

E-10・11グリッドに位置する。平面形態は長方形の崩れた不整形を呈し、規模は長軸1.50m、短軸1.38m、深さ0.19mである。第66号土壌と重複し、これに壊されている。

遺物は、第91図2の青磁の破片が出土している。重複する第66号土壌からは、出土していない。

第29号土壌 (第84・91図)

F-13グリッドに位置する。平面形態は不整形を呈し、プランの南側約半分に攪乱を受けている。規模は現存部分で長軸2.22m、短軸1.45m、深さ0.67mである。

遺物は、第91図3が出土している。3は常滑の甕の破片である。

第40号土壌 (第85・91・92図)

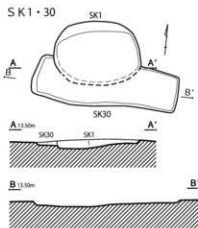
D・E-8・9グリッドに位置する。平面形態は楕円形を呈し、規模は長軸1.25m、短軸1.10m、深さ0.44mである。第30号井戸跡と重複し、これを壊している。

遺物は、第91図5～8、第92図9、10が出土している。5は青磁の破片である。6～8、9は陶器で、6は緑釉小皿、7は古瀬戸の折縁深皿、8は古瀬戸の盤である。9は常滑の片口鉢、10は焙烙である。

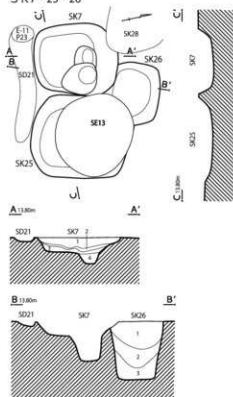
第45号土壌 (第85・92図)

F・G-12グリッドに位置する。平面形態は方形を呈する。規模は長軸1.62m、短軸1.23m、深さ0.38mである。第44・46号土壌と重複し、これを壊している。

遺物は、第92図11が出土している。11は常滑の片口鉢の破片で、13世紀代のものであろう。



SK7・25・26



SK1

1 灰色土 粘質 明灰色粘土ブロック状に含む

SK2

1 暗灰黄色土 しまりややあり 粘質 暗灰色粘土小ブロック・暗褐色土小ブロック・黄褐色土の混合層

SK3

1 暗灰黄色土 しまりややあり 粘質 暗灰色粘土小ブロック・暗褐色土小ブロック・黄褐色土の混合層

SK4

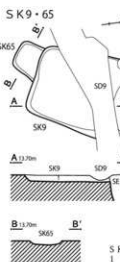
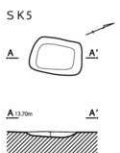
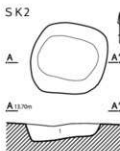
1 黄灰色土 粘質 炭化物粒・明灰色粘土少量 底面に酸化鉄沈着

SK5

1 黄灰色土 粘質 炭化物粒・明灰色粘土少量 底面に酸化鉄沈着

SK6

1 黒褐色土 粘土質シルト 浅間・鉄分・褐色粒含む
2 暗灰黄色土 粘土質シルト 酸化鉄・褐色粒含む
3 暗オリーブ褐色土 粘土質シルト 酸化鉄・褐色粒含む



SK9

1 暗灰黄色土 粘質 炭化物粒少量 暗褐色土と黄褐色土の混合層

SK10

1 オリーブ褐色土 粘土質シルト 炭化物多量 黄灰色土含む

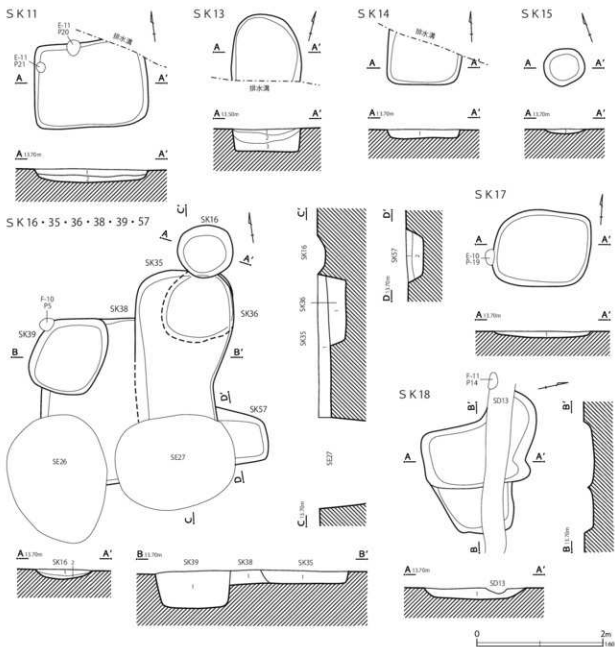
SK12

1 オリーブ褐色土 粘土質シルト 炭化物少量 褐色粒・浅間A含む
2 オリーブ褐色土 土質シルト 炭化物少量
3 オリーブ褐色土 粘質 炭化物粒少量 暗褐色土小ブロック多量
4 黄褐色土 粘質 黄褐色土粒多量
5 黒褐色土 粘質 暗灰色土・暗褐色土の混合層
6 黄灰色土 シルト質 暗灰色粘土小ブロック・炭化物少量

SK26

1 黄褐色土 粘質 黄褐色土小ブロック多量 炭化物粒少量
2 黄灰色土 粘質 暗灰色粘土と黄褐色土小ブロックの混合層
3 黄褐色土 粘質 灰色粘土小ブロック多量

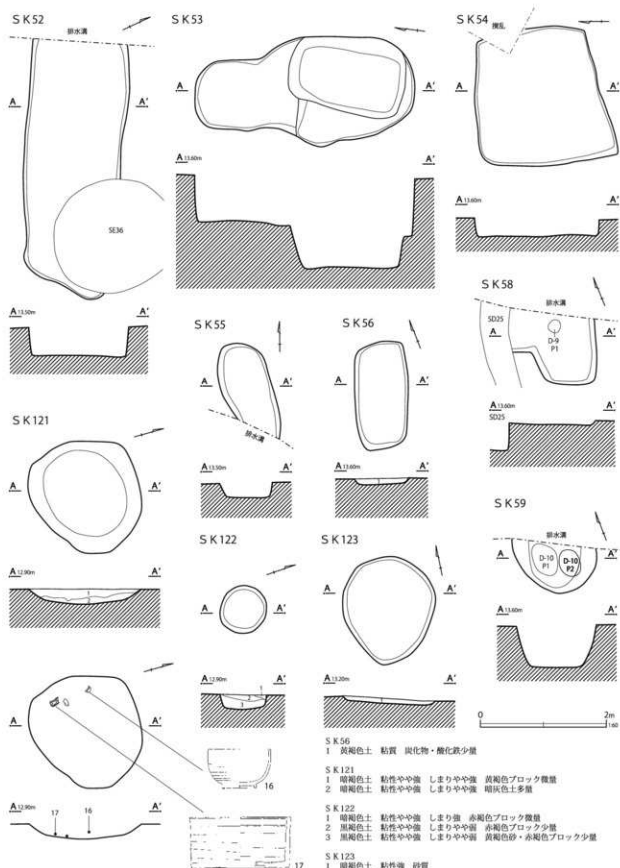
第82図 土壌 (1)



- SK11
1 黄灰色土 粘土質シルト 炭化物・褐色粒・粘土ブロック含む
2 暗オリーブ褐色土 粘土質シルト 灰褐色粒含む
- SK13
1 暗灰黄色土 粘土質 炭化物粒多量 明灰色粘土少量
2 黄灰色土 粘土質 灰褐色土・暗灰色粘土の混合層
3 黄灰色土 粘土質 黄褐色土ブロック含む
- SK14
1 黄灰色土 炭化物粒少量 暗褐色土・黄褐色土の混合層
- SK15
1 オリーブ褐色土 粘土質シルト 炭化物少量 褐色粒含む
- SK16
1 黄灰色土 粘土質シルト 炭化物少量
2 オリーブ褐色土 粘土質シルト 炭化物少量
- SK17
1 暗灰黄色土 粘土質シルト 炭化材を少量 褐色粒含む

- SK18
1 黄灰色土 粘土質 灰褐色土と明灰色粘土の互層 炭化物粒少量
- SK35
1 黄灰色土 粘土質 炭化物・浅間 A・褐色粒少量
- SK36
1 褐色土 粘土質シルト 炭化物少量 明黄褐色粘土ブロック多量
- SK38
1 黄褐色土 粘土質シルト 炭化物・褐色粒少量
- SK39
1 暗灰黄色土 炭化物・褐色粒炭灰に含む
- SK57
1 黄褐色土 粘土質 炭化物・褐色粒・灰黄色粘土ブロック少量
2 黄褐色土 粘土質 褐色粒少量

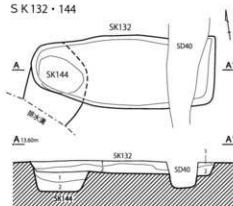
第83図 土壌 (2)



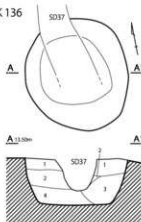
第86図 土壌 (5)



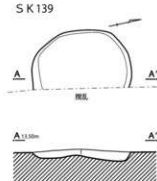
SK 132・144



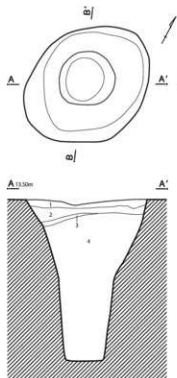
SK 136



SK 139



SK 135



SK 132

- 1 暗褐色土 粘性やや強 しまりやや強
2 暗褐色土 粘性やや強 しまりやや強
黄褐色ブロック少量

SK 135

- 1 暗褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物微量
2 灰褐色土 粘性強 粒子細かい
3 黒色土 粒子細かい 炭化物多量
4 灰色土 粘性強
5 暗茶褐色土 粘性強
6 暗黄褐色土 粘性やや強 しまり強 暗褐色土少量
7 暗褐色土 粘性強 しまり強 暗黄褐色土少量
白色粒微量

SK 136

- 1 黄褐色土 粘性やや強 しまり強 暗褐色土少量
2 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土少量
3 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土微量
4 黄褐色土 粘性強 しまり弱 砂質 暗灰色土少量

SK 139

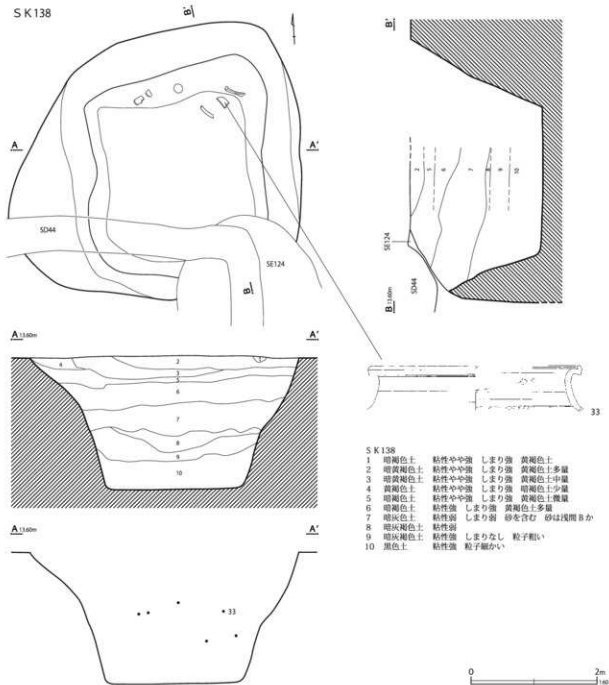
- 1 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土微量

SK 144

- 1 暗褐色土 粘性やや強 しまりやや強 暗褐色土少量 炭化物微量
2 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土・暗褐色土微量

0 2m 1:50

第88図 土壌 (7)



第89図 土壌 (8)

第53号土坑 (第86・92図)

E・F-10グリッドに位置する。平面形態は長方形土坑が重複しているような不整形を呈する。規模は長軸3.48m、短軸1.75m、深さ1.48mである。いわゆる地下式坑に類似する形態である。

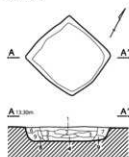
遺物は、第92図12が出土している。12は瓦質土器の鉢である。

第121号土坑 (第86・92図)

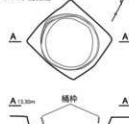
K・L-19グリッドに位置する。平面形態は楕円形を呈し、規模は長軸1.80m、短軸1.70m、深さ0.25mである。第36号溝跡と重複し、これを壊している。

遺物は、第92図13～17が出土している。13は瀬戸美濃系陶器皿の底部、14は内耳鍋の底部、15

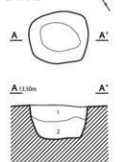
SK 140



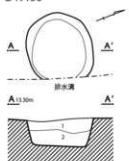
SK140 橋礎部



SK 145



SK 156



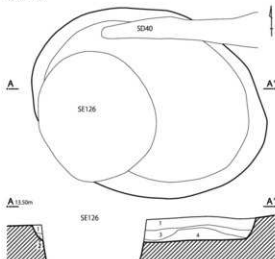
SK 140

- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまりやや強 | 黄褐色土微量 |
| 2 暗灰色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土微量 |
| 3 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまりやや強 | 黄褐色土多量 |
| 4 青灰色土 | 粘性やや強 | しまりやや強 | 黄褐色土微量 |
| 5 黄褐色土 | 粘性強 | しまり強 | 青灰色土少量 |
| 6 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 7 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 8 黄褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 暗褐色土少量 |
| 9 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土微量 |

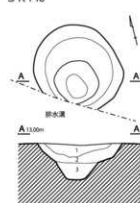
SK 142

- | | | | |
|--------|-------|------|--------|
| 1 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 2 暗褐色土 | 粘性強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 3 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 4 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |

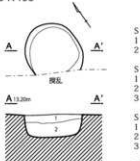
SK 142



SK 148



SK 158



SK 145

- | | | | |
|--------|-------|------|--------|
| 1 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 2 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |

粒子が細かい 黄褐色粘土ブロック多量
しまり強 粒子細かい

SK 148

- | | | | |
|--------|-------|------|--------|
| 1 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 2 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 3 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |

粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量

SK 152

- | | | | |
|--------|-------|------|--------|
| 1 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 2 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 3 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |

粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量

SK 153

- | | | | |
|--------|-------|------|--------|
| 1 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 2 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |

粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量

SK 154

- | | | | |
|--------|-------|------|--------|
| 1 黄褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 2 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 3 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 4 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |

粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量

SK 156

- | | | | |
|--------|-------|------|--------|
| 1 黄褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 2 黄褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |

粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量

SK 158

- | | | | |
|--------|-------|------|--------|
| 1 黄褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |
| 2 黄褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色土多量 |

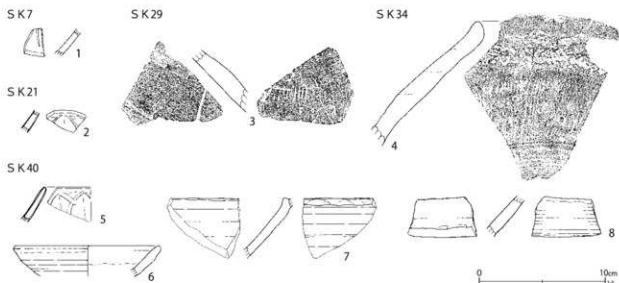
粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量

第90図 土質 (9)

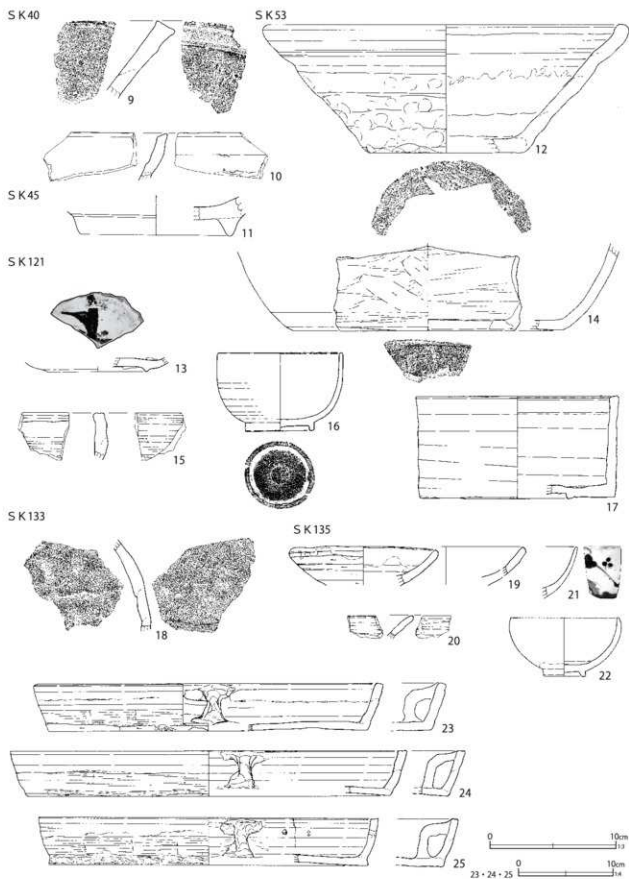
第6表 土壌一覧表 (第82～90図)

遺構名	グリッド	平面形	長軸方向	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	重複遺構
SK1	G-14	楕円形	N-83° -E	1.36	[0.70]	0.16	SK30(古)
SK2	F-12	隅丸方形	N-44° -E	1.20	1.10	0.27	
SK3	F-12	方形	N-46° -W	0.90	0.80	0.08	
SK4	F-12	円形	N-63° -E	0.75	0.70	0.10	
SK5	F-12	長方形	N-3° -W	0.86	0.56	0.08	
SK6	E-11	円形	N-74° -E	1.00	0.92	0.22	
SK7	E-11	隅丸方形	N-20° -E	1.35	1.16	0.64	SK25 SK26(古)・28(新)
SK8	F-12	楕円形	N-7° -E	[1.28]	1.02	0.26	SE11(新)
SK9	F-11・12	隅丸方形	N-16° -W	1.40	1.20	0.12	SK65(古) SE10(新) SD9(新)
SK10	F-11	円形	N-57° -W	0.82	0.82	0.22	
SK11	E-11	隅丸方形	N-50° -W	1.79	1.36	0.22	SD26(古)
SK12	E・F-11	円形	N-35° -W	1.14	1.08	0.81	SD26(古)
SK13	G-13	不整形	N-57° -W	[1.05]	1.10	0.36	
SK14	E-11	不整形	N-75° -W	1.18	[0.69]	0.15	
SK15	E-11	円形	N-53° -E	0.63	0.61	0.08	SD26(古)
SK16	E・F-11	円形	N-39° -E	0.90	0.88	0.17	SD35・36(古)
SK17	E-11	隅丸方形	N-56° -E	1.51	1.23	0.12	
SK18	F-11・12	不整形	N-56° -W	2.23	1.82	0.19	SD13(新)
SK19	E-11	円形	N-25° -W	0.60	0.58	0.15	SD26(古) SK20(新)
SK20	E-11	不整形	N-25° -E	1.20	0.85	0.21	SK19・27(古) SD7・26(古)
SK21	E-10・11	不整形	N-46° -W	1.50	1.38	0.19	SK66(新)
SK22	F-11	隅丸長方形	N-41° -W	1.29	0.88	0.08	
SK23	F-11	不整形	N-73° -W	[0.92]	0.85	0.17	SE19(新) SK24(新)
SK24	E-11	楕円形	N-66° -W	[1.86]	1.45	0.55	SK23(古) SD30(古) SE19(新) SD20(新)
SK25	E-11	隅丸方形	N-47° -E	[1.50]	1.30	0.24	SD30(古) SE13(新) SK7(新)
SK26	E-11	隅丸方形	N-77° -W	1.00	[0.88]	0.94	SD30(古) SE13(新) SK7・25(新)
SK27	E-11	隅丸方形	N-68° -E	0.85	0.80	0.50	SK28(古) SK20(新)
SK28	E-11	不整形	N-70° -E	[0.95]	0.88	0.12	SK27(新)
SK29	F-13	不整形	N-63° -E	2.22	[1.45]	0.67	
SK30	G-13・14	不整形	N-76° -E	2.26	[0.32]	0.16	SK1(古)
SK31	G-13	隅丸方形か	N-35° -W	[1.28]	1.15	0.20	SE20(新)
SK32	E-10	楕円形	N-37° -W	[1.76]	1.72	0.25	SE23(古) SD14・15(古)
SK33	E-10・11	不整形	N-40° -W	2.55	2.35	0.13	SE22(新) SD17・22(新) SK67
SK35	F-10・11	不整形	N-3° -E	[2.26]	[1.56]	0.20	SK36(古) SK38・57(古) SE27(新) SK16(新)
SK36	F-10・11	楕円形	N-16° -E	1.18	1.10	0.44	SK16・35(新)
SK37	D-9	隅丸長方形	N-32° -E	[1.88]	[0.80]	0.32	SE28(新) SD31(新)
SK38	F-10・11	隅丸長方形	N-5° -E	2.60	[1.50]	0.24	SE26・27(新) SK35・39(新)
SK39	F-10・11	方形	N-62° -E	1.20	1.10	0.60	SK38(古)
SK40	D・E-8・9	楕円形	N-22° -E	1.25	1.10	0.44	SE20(古)
SK41	E-11	不整形	N-22° -W	1.03	0.98	0.18	
SK42	F-11	方形	N-26° -W	0.73	0.59	0.26	
SK43	D-8	隅丸長方形	N-43° -E	[0.83]	0.65	0.12	SE37(新)
SK44	F・G-12	隅丸長方形	N-47° -W	3.05	2.50	0.16	SK46(古) SK45(新) SE47(新)
SK45	F・G-12	方形	N-21° -W	1.62	1.23	0.38	SK44・46(古)
SK46	F-11・12	不整形	N-86° -W	—	1.26	0.16	SK44・45(新)
SK47	F-11	不整形	N-40° -W	—	1.28	0.18	SK46・48
SK48	F-11	不整形	N-65° -W	—	0.74	0.20	SK47
SK49	G-11	隅丸長方形	N-70° -W	2.26	1.08	0.11	
SK50	F-10	楕円形	N-51° -E	1.34	1.18	0.18	
SK51	F-10	隅丸長方形	N-82° -W	2.74	0.91	0.15	SD22(古)
SK52	D-8	隅丸長方形	N-78° -W	[4.07]	1.50	0.48	SE36(新)
SK53	E・F-10	不整形	N-11° -W	3.48	1.75	1.48	SD24・32(古)
SK54	F-9	方形	N-50° -W	2.21	2.05	0.29	
SK55	F-9	不整形	N-25° -W	[1.68]	0.74	0.24	
SK56	D・E-10	隅丸長方形	N-39° -E	1.75	0.85	0.09	SD14(古)
SK57	F-11	隅丸長方形	N-35° -W	[1.00]	[0.80]	0.28	SE27(新) SK35(新)

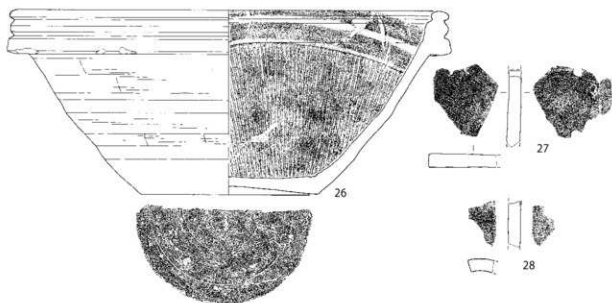
遺構名	グリッド	平面形	長軸方向	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	重複遺構
SK58	D-9	不整形	N-26° -E	[1.38]	[1.09]	0.06	SD25(新)
SK59	D-9・10	不整形	N-48° -W	1.38	[0.78]	0.68	
SK65	F-11・12	方形	N-88° -E	[0.64]	0.42	0.07	SK9
SK66	E-10・11	隅丸長方形	N-20° -E	1.36	0.70	0.11	SK21(古)
SK67	E-10・11	槽円形	N-20° -W	(0.69)	(0.55)	0.64	SK33 SD22(新)
SK121	K・L-19	槽円形	N-85° -W	1.80	1.70	0.25	SD36(古)
SK122	K-19・20	円形	N-8° -W	0.78	0.74	0.25	
SK123	K-19	槽円形	N-16° -E	1.72	1.44	0.14	
SK124	H-16	不整形	N-89° -E	2.76	[1.85]	0.20	
SK125	J-17	円形	N-70° -E	0.88	0.80	0.08	
SK127	J-17	隅丸方形	N-31° -E	1.10	0.97	0.52	SK141(古)
SK128	J-17	円形	N-40° -E	0.60	0.58	0.20	
SK129	J-17	円形	N-64° -E	0.70	0.62	0.29	SK155(古)
SK130	J-17	槽円形	N-23° -E	0.72	0.62	0.44	
SK131	J-17	槽円形	N-75° -W	1.35	1.18	0.52	
SK132	J-17	不整形	N-78° -W	2.92	1.14	0.26	SK144(古) SD40(新)
SK133	I-17	槽円形	N-78° -W	1.92	1.50	0.27	SD43(古)
SK135	I-17	槽円形	N-38° -E	2.29	1.75	2.48	SK142(古)
SK136	J-19	槽円形	N-33° -W	1.80	1.67	0.76	SB64(古) SD37(新)
SK138	H・I-17	不整形	N-74° -E	4.89	4.45	2.11	SE124(新) SD44(新)
SK139	J・K-17	槽円形	N-13° -E	1.58	[0.78]	0.15	
SK140	J-17	方形	N-81° -W	1.00	0.91	0.23	
SK141	J-17	方形	N-3° -E	2.64	[2.16]	0.50	SK143(古) SK127(新) SD40(新)
SK142	I-16・17	槽円形	N-80° -W	3.73	2.93	0.36	SE126(新) SD40(新)
SK143	J-17	槽円形	N-88° -E	0.98	[0.44]	0.21	SK141(新)
SK144	J-17	不整形	N-22° -E	[1.12]	0.92	0.46	SK132(新)
SK145	J-17	隅丸方形	N-58° -W	0.94	0.80	0.54	
SK148	J-17	槽円形	N-39° -W	1.42	1.31	0.60	
SK152	J-18	槽円形	N-80° -E	2.05	1.87	0.48	SK153(古) SE102(新)
SK153	J-17・18	槽円形	N-68° -E	2.28	2.17	0.41	SK152(新)
SK154	H・I-16・17	円形	N-77° -W	2.04	1.95	1.06	
SK155	J-17	槽円形	N-65° -E	2.18	1.79	0.46	SK129(新)
SK156	C-7	円形	N-16° -E	[1.05]	1.04	0.45	
SK158	D-7	円形	N-55° -W	[0.92]	0.77	0.36	



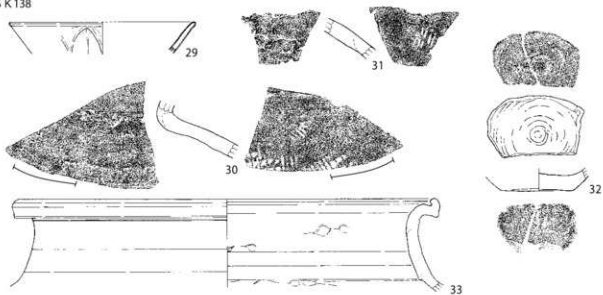
第91図 土壇出土遺物(1)



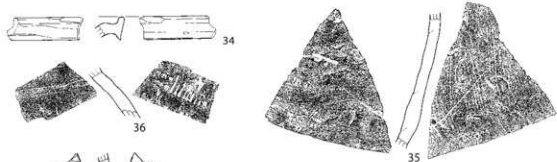
SK135



SK138



SK141



SK142



第93図 土壙出土遺物（3）

第7表 土壇出土遺物観察表 (第91～93図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
1	磁器	碗	-	[2.2]	-	I	5	普通	灰白	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 内面片彫施文 大宰府青磁輪Ⅰ類 13C中～後	
2	磁器	碗	-	[1.8]	-	I	5	普通	灰	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 外面片彫蓮弁文 大宰府青磁輪Ⅱ類 13C中～14C初	
3	陶器	甕	-	[5.0]	-	EI	5	普通	灰	常滑 内面ヘラナゲ 外面押印 13C	
4	瓦質土器	鉢	-	[9.8]	-	AHI	15	良好	黄灰	外面刷毛目状ヘラナゲ 焼す	
5	磁器	碗	-	[2.8]	-	IK	5	良好	白	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 外面片彫蓮弁文 大宰府青磁輪Ⅱ類 13C中～14C初	
6	陶器	縁軸小皿	(11.3)	[2.4]	-	DEK	10	良好	灰白	古瀬戸 口縁部～内面鉄軸 内面下位刷毛塗 りか、後期様式 15C前	
7	陶器	折縁深皿	-	[4.8]	-	I	5	良好	黄灰	古瀬戸 内外面灰軸 後期様式 14C末～15C前	
8	陶器	盤	-	[3.3]	-	EIK	5	普通	灰白	古瀬戸 内外面灰軸 後期様式 14C後～15C	
9	陶器	片口鉢	-	[6.9]	-	DEHI	5	普通	褐灰	常滑 口縁部ココナデ 内外面ヘラナゲ 14C後	
10	瓦質土器	焙烙	-	[3.4]	-	CI	5	普通	灰	外面煤付着 焼す	
11	陶器	片口鉢	-	[3.1]	(11.7)	EIK	5	普通	黄灰	常滑 外面下位コケズリ 13C	24-4
12	瓦質土器	鉢	(27.8)	10.2	12.2	DEH	20	普通	灰白	底部静止糸切か、内面下位剥離多い 焼す	
13	陶器	皿	-	[1.1]	(8.0)	K	10	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面長石釉 内面鉄軸 底部目路 17C前	
14	瓦質土器	内耳鍋	-	[6.8]	(44.0)	CEIK	10	良好	褐灰	底部ヘラナゲ 外面煤付着 小破片からの反転後復元	
15	土師質土器	焙烙	-	[3.7]	-	CIK	5	良好	灰白	白色味が強い	
16	陶器	碗	9.7	6.2	5.3	K	60	良好	浅黄	Na1 備前系 内外面灰軸 底部刻印 17C後	
17	陶器	香炉	(15.8)	8.1	15.3	DEHIK	35	良好	にぶい黄橙	Na3 瀬戸美濃系 内面上位～外面鉄軸 17C初	24-5
18	陶器	甕	-	[7.3]	-	DEHI	5	良好	浅黄	常滑 内外面ココナデ 外面上位降灰	
19	陶器	縁軸小皿	(11.3)	3.1	-	IK	20	良好	灰	Na14 古瀬戸 口縁部灰軸 弱く被膜 口縁部大きく歪む 後期様式 15C前～中	24-6
20	陶器	縁軸小皿	-	[1.8]	-	IK	5	良好	灰白	古瀬戸 口縁部内外面鉄軸 後期様式 15C前～中	
21	磁器	碗	-	[4.1]	-	-	10	普通	白	Na4 内外面施釉 外面染付 18C	
22	陶器	碗	8.5	4.6	3.2	DIK	100	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰軸 18C後	
23	瓦質土器	焙烙	35.8	5.0	33.8	CHI	40	普通	灰黄褐	Na3 底部シワ状痕 底部片に二次穿孔(補修孔・銅線遺存) 弱く焼す	24-7
24	瓦質土器	焙烙	(41.8)	4.8	(38.3)	CIK	15	普通	にぶい橙	Na47 砂目底 17C後～18C前 焼す	
25	瓦質土器	焙烙	(38.0)	5	(34.0)	CEHI	15	普通	にぶい橙	Na50 底部シワ状痕 体部二次穿孔2つ(補修孔) 焼す 17C後	24-8
26	陶器	擂鉢	(33.2)	14.6	14	EGIK	40	良好	明赤褐	Na24 堺明石系 内面黒目 18C後～19C前	
27	瓦	平瓦	長[6.1]幅[5.2]厚1.0			ADIK	5	良好	灰	Na33 近世の瓦 焼す	24-9
28	瓦	棧瓦	長[6.4]幅[4.3]厚1.9 高[2.1]			EIK	5	良好	灰	Na2 焼す	
29	磁器	碗	(14.5)	[3.5]	-	I	5	良好	-	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 外面蓮弁文 大宰府青磁輪Ⅱ類 13C中～14C初	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
30	陶器	甕	-	[4.5]	-	DIK	5	良好	褐灰	常滑 降灰 内面ヨコナデ 外面タタキ 破損 後断面二次使用 12C後	
31	陶器	甕	-	[3.2]	-	DE	5	良好	灰	渚美 外面押印文 12C後～13C初	
32	かわらけ	小皿	-	[1.8]	5.7	ACEH	20	普通	にぶい橙	底部糸切痕 胎土粉質	
33	陶器	甕	(44.0)	[9.7]	-	DIK	30	良好	褐灰	%2 常滑 内外面ヨコナデ 漆継痕 5型式 13C前～中	
34	陶器	甕	-	[1.8]	-	DI	5	良好	白灰	常滑 内外面ヨコナデ 5～6a型式 13C	
35	陶器	甕	-	[10.8]	-	DI	5	良好	灰白	常滑 内面ヨコナデ 外面ヘラナデ	
36	陶器	甕	-	[4.5]	-	HIK	5	良好	褐灰	常滑 内面ヨコナデ 外面タタキ	
37	陶器	瓶	-	[5.0]	-	IK	5	良好	灰白	古瀬戸 外面灰輪 前期様式 13C	

は焙烙の破片である。16は肥前系の陶器碗、17は瀬戸美濃系陶器の香炉である。

第128号土壌 (第87図)

J-17グリッドに位置する。平面形態は円形を呈し、規模は長軸0.60m、短軸0.58m、深さ0.20mである。

覆土の上層部より、桶の一部が出土した。出土状況から、桶は土壌に埋められていたものと考えられる。

第133号土壌 (第87・92図)

I-17グリッドに位置する。平面形態は楕円形を呈する。規模は長軸1.92m、短軸1.50m、深さ0.27mである。第43号溝跡と重複し、これを壊している。

遺物は、第92図18が出土している。18は常滑の甕の破片である。

第135号土壌 (第88・92・93図)

I-17グリッドに位置する。平面形態は楕円形を呈し、規模は長軸2.29m、短軸1.75m、深さ2.48mである。第142号土壌と重複し、これを壊している。

平面形態は漏斗状を呈し、検出された井戸跡の断面形態と類似するが、井戸跡と比較して掘り込みが浅く、底面を検出することができたため、土壌として扱った。井戸である可能性も高い。

遺物は、覆土の中層から下層にかけて多量に出

土しており、第92図19～25、第93図26～28に示した。

19、20は古瀬戸陶器の緑釉小皿で、21は瀬戸美濃系磁器、22は瀬戸美濃系陶器の碗である。

23～25は焙烙である。26は境明石系の播鉢で、約4割が残存する。27、28は近世瓦で、27は平瓦、28は棧瓦である。

第138号土壌 (第89・93図)

H・I-17グリッドに位置する。平面形態は開口部で方形に近い不整形を呈し、塘底では方形を呈する。規模は長軸4.89m、短軸4.45m、深さ2.11mである。第124号井戸跡と重複し、これに壊されている。

いわゆる地下式坑と思われる土壌で、覆土の中央部付近から、第93図29～33の遺物が出土している。

29は蓮弁文を持つ中国龍泉窯系の青磁碗で、13世紀中葉から14世紀初頭のものである。30は常滑の甕の破片で、破損断面に二次使用痕が認められ、砥石として再利用されたものであろう。12世紀の後半段階であらう。31は渚美の甕の破片で、外面に押印文が見られる。12世紀後葉から13世紀初頭にかけてのものであろう。33は常滑の甕の口縁部破片で、漆継痕がある。13世紀前葉から中葉にかけてのものである。

32はかわらけの小皿の底部破片で、底部に糸切

痕を持つ。

第140号土壌 (第90図)

J-17グリッドに位置する。平面形態は方形を呈し、規模は長軸1.00m、短軸0.91m、深さ0.23mである。

平面の方形プランの辺中央部に接するように、およそ径90cm程の桶杵が埋設されていた。桶杵の底部は、墳底よりやや浮いた状態で検出された。

第141号土壌 (第87図・第93図)

J-17グリッドに位置する。平面形態は方形を呈する。規模は長軸2.64m、現存の短軸2.16m、深さ0.50mである。第127土壌、第40号溝跡と重複し、これらに壊される。また、第143号土壌と重複し、これを壊している。

遺物は、第93図34～36が出土している。常滑の

甕の破片である。34は、口縁部破片で、13世紀代であろう。

第142号土壌 (第90・93図)

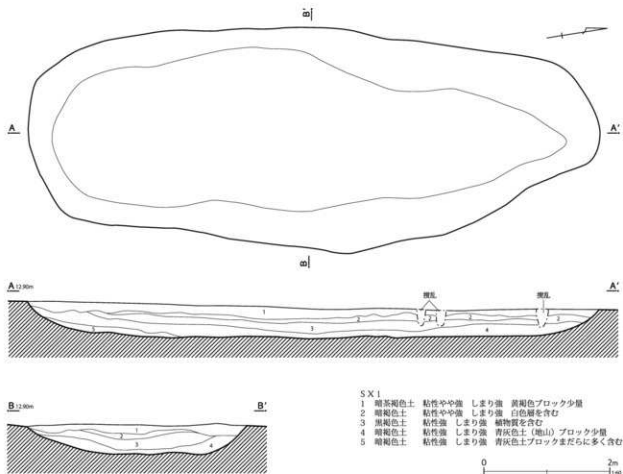
I-16・17グリッドに位置する。平面形態は楕円形を呈し、規模は長軸3.73m、短軸2.93m、深さ0.36mである。第126号井戸跡、第40号溝跡と重複するが、これらに壊されている。

遺物は第93図37が出土している。37は古瀬戸陶器の瓶で、外面に灰軸が施される。13世紀代であろう。

(4) 性格不明遺構

第1号性格不明遺構 (第94～96図)

K・L-20グリッドに位置する。平面形態は開口部では南北に細長い長楕円形を呈し、墳底部では不整形を呈する。墳底部から壁は皿状に緩く立



第94図 第1号性格不明遺構

ち上がり、底面は平坦面を形成する。全体的に底の平らな船底状を呈する。規模は長軸9.05m、短軸3.47m、深さ0.55mである。

覆土はほぼ水平の自然堆積状を示し、しまりの強い粘土質の土で、城底近くが暗褐色土、中央部が黒褐色土、開口部付近が暗褐色土から色調の明るい暗茶褐色土へと変化している。本遺構の性格等は不明であるが多量の遺物が出土していること考慮して、性格不明遺構として取り扱うことにした。出土遺物から近世中頃の所産と思われる。

遺物は覆土中から第95図1～第96図30が出土している。

1は古瀬戸陶器の盤である。内外面に灰釉がかかり、15世紀代のものである。1層からの出土である。

2は古瀬戸陶器の平碗である。内外面に灰釉がかかり、15世紀代のものである。第1層からの出土である。

3は瀬戸美濃系陶器の播鉢である。底部に糸切痕を残し、内外面に緑釉を施す。1層からの出土である。

4は常滑の片口鉢である。覆土下層からの出土で、14世紀前葉のものであろう。

5～9は瀬戸美濃系陶器の天目茶碗である。

5は約半分が現存し、復元口径11.4cm、底径3.7cm、器高6.5cmである。内外面に鉄釉を施している。覆土下層からの出土で、17世紀初頭であらう。

6は1層から出土した口縁部破片で、推定口径11.5cm、現存高6.2cmである。17世紀前葉から中葉のものであろう。

7～9は高台部分のみ現存するもので、底径は7が4.5cm、8が4.1cm、9が4.4cmである。いずれも1層から出土したものであり、7と9は16世紀後葉から17世紀初頭にかけてのもので、8は17世紀前葉から中葉にかけてのものと思われる。

10は肥前系陶器の碗であり、1層からの出土である。内外面に藁灰釉を施す。17世紀前葉である。

11は瀬戸美濃系陶器の皿である。推定口径12.6cm、現存高2.3cm、推定底径7.3cmである。内外面に長石釉を施し、内面に鉄絵を描いている。17世紀前葉である。1層からの出土である。

12は瀬戸美濃系陶器の皿である。内外面に灰釉を施し、内面に緑釉を流れ掛けし、櫛歯浮状文を施している。17世紀中葉から後葉にかけてのものであろう。1層からの出土である。

13は瀬戸美濃系陶器の鉢である。内外面に灰釉を施し、内面に緑釉を流れ掛けし、鉄絵を描く笠原鉢である。17世紀後葉～18世紀前葉にかけてのものであろう。1層からの出土である。

14は瀬戸美濃系陶器の片口鉢である。外面に灰釉を施す17世紀前葉のものと思われる。1層からの出土である。

15～19は瓦質土器の焙烙の口縁部破片である。15～18は1層からの出土である。

15は現存高5.5cmで、外面に煤が付着している。口縁部の形態から、16世紀代と思われる。

16は現存高5.3cm、外面の口縁部付近に煤が付着している。内耳は器体部に取り付けられており、16世紀後葉から末葉にかけてのものと思われる。

17は現存高4.5cmで、弱く燻されている。

18は現存高5.0cmで、底部にシワ状の整形痕が見られる。

19は現存高5.6cmで、底部にシワ状の整形が見られる。燻されており、煤が付着している。覆土下層からの出土である。

20、21は瓦質土器の内耳鍋である。いずれも1層からの出土である。

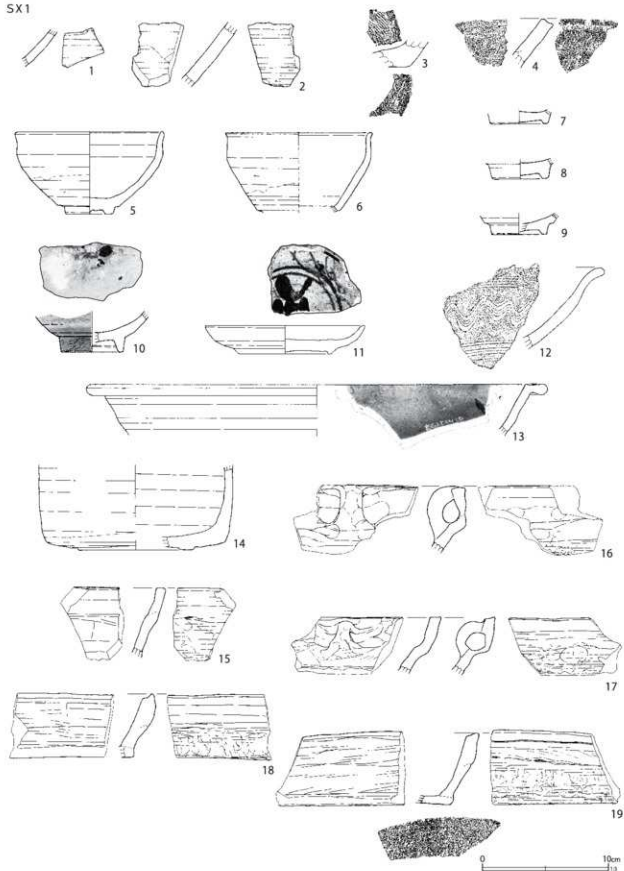
20は現存高6.5cmで、弱く燻されており、外面に煤が付着している。

21は現存高6.2cmで、燻されている。

22は瓦質土器の焙烙である。推定口径38.8cm、現存高5.4cmである。推定復元のため、口径が若干前後する可能性がある。燻されている。

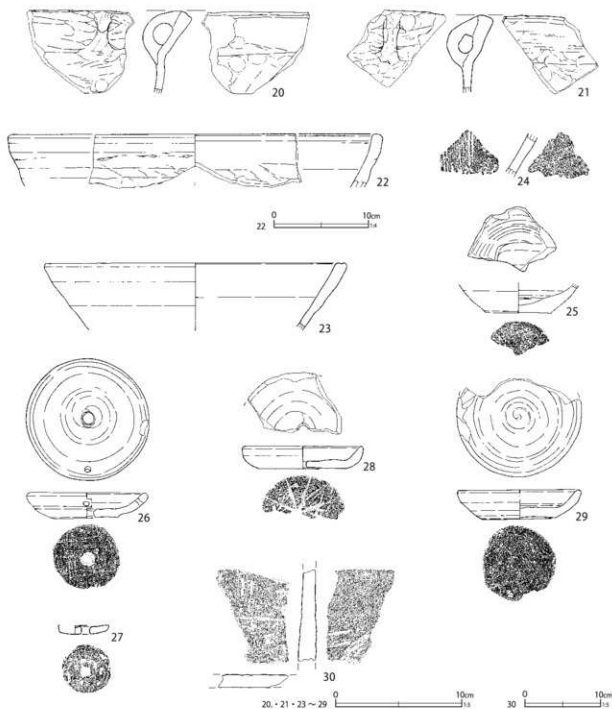
23は土師質土器の内耳鍋である。黒褐色を呈し、

SX1



第95図 第1号性格不明遺構出土遺物(1)

SX1



第96図 第1号性格不明遺構出土遺物(2)

推定口径23.6cm、現存高5.3cmである。1層からの出土である。

24は瓦質土器の擂鉢である。底部付近の小破片であるが、現存高3.4cmである。1層からの出土である。

25～29はかわらけの小皿である。

25は底部破片で、現存高2.4cm、推定底径5.2cmである。底部に糸切痕を持つ。覆土下層からの出土である。

26は完形で、口径9.0cm、器高2.0cm、底径5.2

cmである。胎土が砂質で、底部に擦痕状の痕跡が見られる。底部と側面に2箇所の二次穿孔が穿たれる。覆土下層の出土である。

27は底部のみ現存するもので、底径は3.6cmである。底部に穿孔を持つ。

28は約3分の1が現存するもので、推定口径9.2cm、器高1.8cm、推定底径7.0cmである。底部に二

次穿孔を持ち、放射状の沈線文が認められる。1層からの出土である。

29は推定口径9.4cm、器高2.3cm、底径6.0cmである。底部に糸切痕を残し、一部ヘラナデを施している。

30は板碑の破片である。長さ12.7cm、幅9.9cm、厚さ2.3cm、重さ420.2gである。

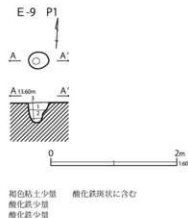
第8表 性格不明遺構出土遺物観察表 (第95・96図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
1	陶器	平碗	-	[3.1]	-	I	5	普通	灰黄	古瀬戸 内外面灰釉 後期様式 15C	24-10
2	陶器	盤	-	[5.1]	-	EIK	5	良好	灰	古瀬戸 内面上位外面下位灰釉 後期様式 15C	
3	陶器	擂鉢	-	[2.0]	-	I	5	良好	灰	瀬戸美濃系 底部糸切痕 内外面鉄釉	
4	陶器	片口鉢	-	[4.2]	-	IK	5	良好	褐灰	常滑 内面ヨコナデ 外面斜方向ヘラナデ 7型式 14C前	
5	陶器	天目茶碗	(11.4)	6.5	3.7	IK	50	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 17C初	
6	陶器	天目茶碗	(11.5)	[6.2]	-	K	20	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 17C前～中	
7	陶器	天目茶碗	-	[1.0]	4.5	AEIK	10	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面鉄釉 16C後～17C初	
8	陶器	天目茶碗	-	[1.6]	4.1	K	10	良好	灰白	瀬戸美濃系 内面鉄釉 17C前～中	
9	陶器	天目茶碗	-	[1.7]	(4.4)	EIK	10	良好	浅黄橙	瀬戸美濃系 内面鉄釉 16C後～17C初	
10	陶器	碗	-	[3.2]	(4.9)	DEHK	15	良好		肥前系 内外面薬灰釉 17C前	
11	陶器	皿	(12.6)	[2.3]	(7.3)	IK	30	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面長石釉 内面鉄釉 17C前	
12	陶器	皿	-	[6.5]	-	DEGI	10	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面緑釉流掛 欄面浮状文施文 17C中～後	
13	陶器	鉢	(35.8)	[4.2]	-	HI	5	良好		瀬戸美濃系 内外面灰釉 内面緑釉流掛 鉄絵笠原鉢 17C後～18C前	24-11
14	陶器	片口鉢	-	[6.7]	(6.8)	IK	15	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面灰釉 17C前	
15	瓦質土器	焙烙	-	[5.5]	-	CHI	5	良好	灰	外面煤付着 16C	
16	瓦質土器	焙烙	-	[5.3]	-	CHI	5	普通	淡黄	外面上位煤付着 16C後～末 爐す	
17	瓦質土器	焙烙	-	[4.5]	-	CK	5	良好	灰白	弱く爐す	
18	瓦質土器	焙烙	-	[5.0]	-	CEI	5	良好	灰白	底部シワ状痕	
19	瓦質土器	焙烙	-	[5.6]	-	EIK	5	良好	灰白	底部シワ状痕 煤付着 爐す	
20	瓦質土器	内耳鍋	-	[6.5]	-	CEHIK	5	普通	浅黄橙	やや酸化炭焼成 外面煤付着 弱く爐す	
21	瓦質土器	内耳鍋	-	[6.2]	-	EIK	5	良好	灰白	爐す	
22	瓦質土器	焙烙	(38.8)	[5.4]	-	CIK	5	良好	褐灰	小破片からの反転復元 径は若干前後する可能性あり 爐す	
23	土師質土器	内耳鍋	(23.6)	[5.3]	-	AHIK	15	良好	黒褐		24-12
24	瓦質土器	擂鉢	-	[3.4]	-	I	5	良好	灰		
25	かわらけ	小皿	-	[2.4]	(5.2)	CFHIK	20	良好	浅黄橙	底部糸切痕	
26	かわらけ	小皿	9.0	2.0	5.2	CHIK	100	普通	にぶい橙	底部に擦痕状の痕跡 二次穿孔2つ 胎土砂質	
27	かわらけ	小皿	-	[0.7]	3.6	BHIK	95	良好	にぶい橙	底部穿孔	
28	かわらけ	小皿	(9.2)	1.8	(7.0)	CHIK	30	普通	浅黄橙	底部二次穿孔 擦痕 胎土砂質	
29	かわらけ	小皿	(9.4)	[2.3]	(6.0)	ACEHIK	60	良好	浅黄橙	底部糸切痕(左) 一部ヘラナデ 胎土砂質	
30	石製品	板碑	長さ[12.7] 幅[9.9] 厚さ2.3 重さ420.2								24-13

(5) ビット

ビットは、全部で175基検出された。平面形態は円形を呈し、浅く規模の小さいものが主体である。ほとんどが単層であり、遺物は出土しなかった。

E・F-10～12グリッドや、E・F-13・14グリッドに集中する傾向が認められるが、建物跡や柵列を想定できる配列は、確認できなかった。個別のビットについては、第9表に示し、覆土が記録されているものについては、第97図に図示した。



第97図 ビット

第9表 ビット一覧表 (第97図)

グリッド	番号	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)
D-9	P1	22	20	16
D-10	P1	55	40	8
	P2	44	34	10
	P3	21	20	15
	P4	25	22	30
	P5	28	21	7
	P6	63	38	7
E-9	P1	32	25	30
E-10	P1	[28]	22	5
	P2	[24]	21	11
	P3	23	20	22
	P4	19	17	13
	P5	22	20	6
	P6	21	16	10
	P7	29	26	12
	P8	15	15	10
	P9	25	[17]	6
	P10	21	20	5
	P11	25	18	7
	P12	48	45	8
	P13	33	20	18
	P14	27	27	15
	P15	[17]	17	13
E-11	P16	22	20	13
	P17	37	18	20
	P18	33	30	21
	P19	24	14	4
	P20	15	12	11
	P21	20	19	7
	P1	43	34	31
	P2	27	23	4
	P3	47	45	16
	P4	41	36	20
E-11	P5	22	17	11
	P6	39	35	4
	P7	34	28	13
E-11	P8	26	19	6
	P9	28	25	4
	P10	24	24	8
	P11	41	30	4
	P12	28	26	18
	P13	24	22	4
	P14	53	36	5
	P15	22	18	15
	P16	47	41	39
	P17	50	47	18
	P18	16	16	7
	P19	23	17	5
	P20	25	21	15
	P21	15	13	8
	P22	35	26	18
	P23	35	26	16
	P24	17	17	30
	P25	24	16	14
	P26	24	23	5
	P27	37	29	57
E-11	P28	33	22	30
	P29	36	28	15
	P30	25	22	9
	P31	18	17	6
	P32	[34]	30	10
	P33	20	17	5
	P34	30	25	11
	P35	19	15	8
	P36	25	24	7
	P37	[30]	25	28
E-11	P38	20	19	8
	P39	20	17	5
	P40	22	17	5
	P41	48	30	18
	P43	28	25	24
	P44	30	28	4
E-11	P45	22	20	41
	P46	[30]	30	9
	P47	45	33	20
	P48	33	32	15
E-12	P1	40	30	14
	P2	25	19	7
	P3	26	26	15
F-10	P1	30	20	13
	P2	34	29	9
	P3	[23]	[12]	13
	P4	39	39	40
	P5	25	19	7
F-11	P1～3	欠番		
	P4	35	33	27
	P5	44	25	5
	P6	33	25	20
	P7	35	32	15
	P8	25	23	18
	P9	27	22	15
	P10	21	20	12
	P11	34	20	10
	P12	29	26	5
F-11	P13	45	43	46
	P14	25	14	19
	P15	35	25	10
	P16	25	25	4
	P17	[20]	15	4
F-12	P1	28	25	17
	P2	23	21	16
	P3	50	30	8
	P4	30	27	4
	P5	21	20	15
	P6	38	29	10
	P7	56	44	9
	P8	33	31	30
	P9	41	35	34

グリッド	番号	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	グリッド	番号	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	グリッド	番号	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)
F-12	P10	40	33	33	F-13	P12	27	26	8	G-12	P2	35	28	5
	P11	24	17	17		P13	34	30	25		P3	37	27	15
	P12	25	20	6		P14	30	29	40		P4	25	21	9
	P14	21	20	35		P15	25	17	12	G-13	P1	22	22	8
	P15	22	17	25		P16	23	17	25		P2	26	20	20
	P16	28	20	10		P17	18	18	10		P3	23	11	13
	P17	22	20	18		P18	40	35	15		P4	40	35	20
	P18	20	15	17		P19	31	28	33		P5	35	35	32
	P19	30	25	29		P20	34	31	35		P6	[34]	27	18
	P20	[20]	25	10		P21	34	27	15		P7	[24]	16	10
	P21	52	37	8		P22	35	33	27		P8	23	23	70
	P22	39	25	7		P23	34	27	43	J-17	P1	27	24	14
F-13	P1	25	23	9	P24	28	25	20	P2		33	32	19	
	P2	26	22	7	P25	34	26	27	P3		26	21	13	
	P3	29	17	6	P26	35	27	10	P4		25	23	9	
	P4	24	22	12	P27	30	20	50	J-18	P1	30	28	8	
	P5	24	23	12	P28	18	14	12		J-19	P1	27	18	13
	P6	24	19	7	P29	20	15	15		P2	27	21	14	
	P7	25	20	9	P30	19	16	7		P3	30	26	6	
	P8	30	25	35	F-14	P1	18	15		6	P4	36	31	6
	P9	25	20	31		P2	39	32	23	L-21	P1	34	27	15
	P10	24	22	13		P3	55	47	30		P2	29	25	20
	P11	21	18	12	G-12	P1	欠番				P3	[56]	[39]	25

V 宮東遺跡の調査

1 調査の概要

検出された中世・近世の遺構は、杭列3条、井戸跡106基、溝跡73条、土壇175基、墓跡4基、畠跡3箇所、ピット292基である。

遺構の分布には濃淡がみられる。最も遺構が集中するのは、調査区西端部周辺であり、東に行くにつれて遺構の分布は薄くなる。特に調査区中央部の分布は薄く、L・M-21グリッドからP～R-32グリッド周辺にはわずかな土壇やピットが散在するのみである。J-14・15グリッドで検出された杭列のうち、第3・5号杭列を延長すると直角に交わり、これらは一連の遺構と思われる。

井戸跡は、宮西遺跡ほどは重複しないものの、数多く確認されている。平面形態は円形か、楕円形を呈するものが主体であり、逆台形の掘り込みの中央に井筒を設ける、漏斗状の断面形態を呈するものがほとんどである。ほとんどが素掘りの井戸跡であるが、第95・116・122号井戸跡など、井戸枠が検出されたものもわずかに確認できる。

遺構の分布が集中する西端部にまとまる傾向にあり、当該地区が生活域として活用されていたことがうかがわれる。

これに対して、東端部には畠跡が位置し、畠跡の周辺にはピットや土壇がまばらに分布する程度である。このことから、調査区の東端部は、耕作域であったようである。

溝跡は主に、調査区を南北方向に縦断するものが主体である。第46・48号溝跡は、ほぼ重なり合っており、溝跡を再掘削したものと考えられる。また、第73・74号溝跡からは、多量の近世遺物が出土した。遺物は、18世紀中葉から後葉の時期のものが主体であり、なかには19世紀代のものも含まれる。このことから、溝跡は19世紀代ころまでに埋没したものであろう。

第18・42号溝跡は、逆L字状に走る溝跡である。方形の区画溝の可能性も指摘できるが、端部は調査区外へと延びており、全体を確認することは

きなかった。また、周辺に建物を想定させるようなピットや土壌の配列は認められなかった。

土壌では、D～F-5、E～G-6グリッド周辺に、南北方向に長い長方形の土壌が集中する傾向が認められた。周辺には、井戸跡や溝跡の集中も認められるものの、これらの土壌群とは重複しておらず、同時期に形成されたものと考えられる。第14号土壌からは、土製のさいころが1点出土しており、注目される。

墓跡は、調査区内に散在する。第1・2・4号墓跡からは人骨が出土し、検出状況よりこれらは土葬墓と考えられる。これに対して、第3号墓跡からは、被熱の痕跡のある骨片や炭の出土が認められる。火葬遺構の可能性もあるが、今回は墓跡として扱った。第1・2号墓跡は、F-6グリッドに位置する。前述の長方形をなす土壌群内に位置し、軸方向も同じであることから、関連がうかがわれる。土壌群、墓跡ともに出土遺物が少なく

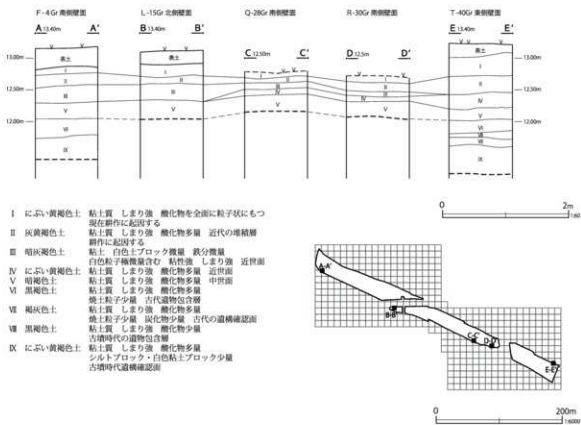
詳細は不明である。

ピットの多くは単層であり、性格不明なのほとんどである。調査区全体に散在している。

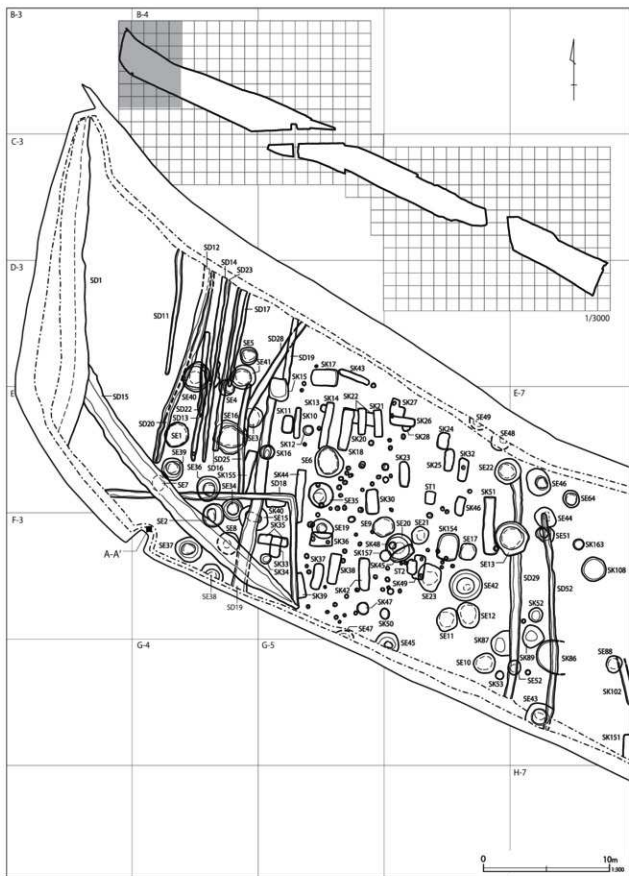
H-8グリッドに位置するピット1は、堆積状況から柱穴の可能性が指摘できる。ただし、周辺において建物跡や柵列を想定させるようなピットの配置は確認できなかった。

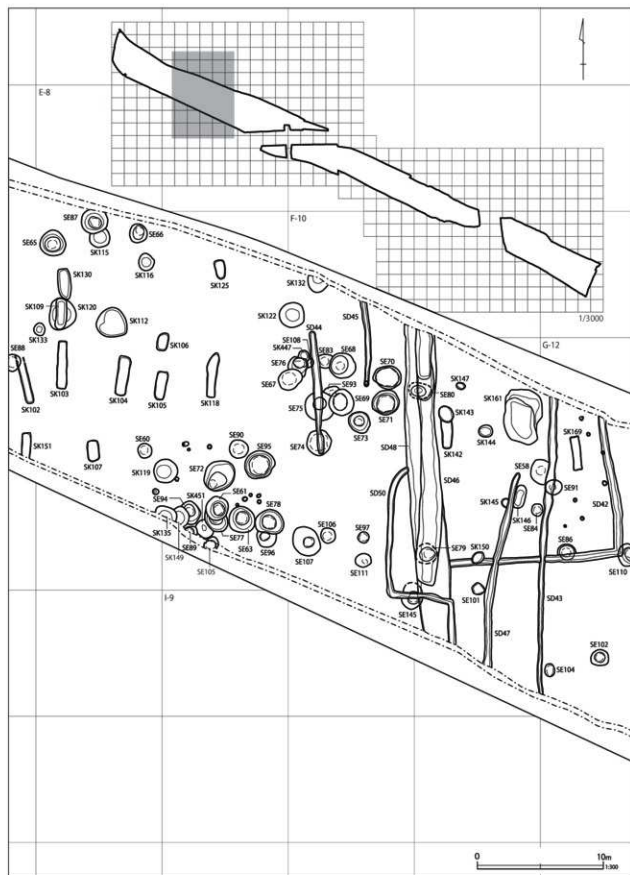
基本土層は、第98図に示した。土層の記録位置は、F-4、L-15、Q-28、R-30、T-40グリッドの調査区壁面である。

暗灰褐色土のⅢ層と、にぶい黄褐色土のⅣ層が近世面、暗褐色土のⅤ層が中世面に相当する。Ⅲ層の上層には、現代の耕作土が堆積しており、Ⅲ層の上部は、耕作の影響を受けている可能性がある。近世面、中世面ともに調査区中央部でわずかに標高が高くなるが、全体を通して見ると平坦な地形をなしており、中世・近世当時の地形がうかがわれる。

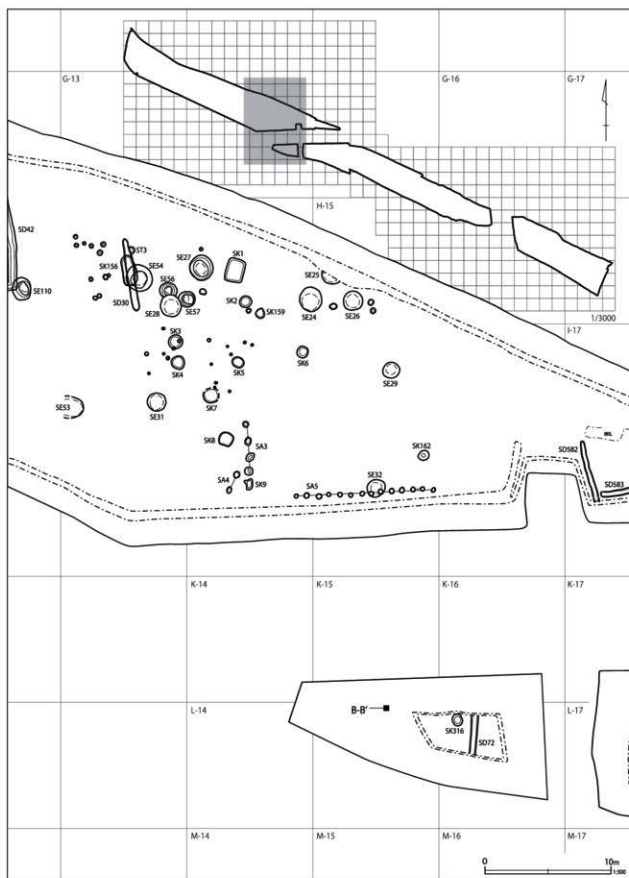


第98図 基本土層

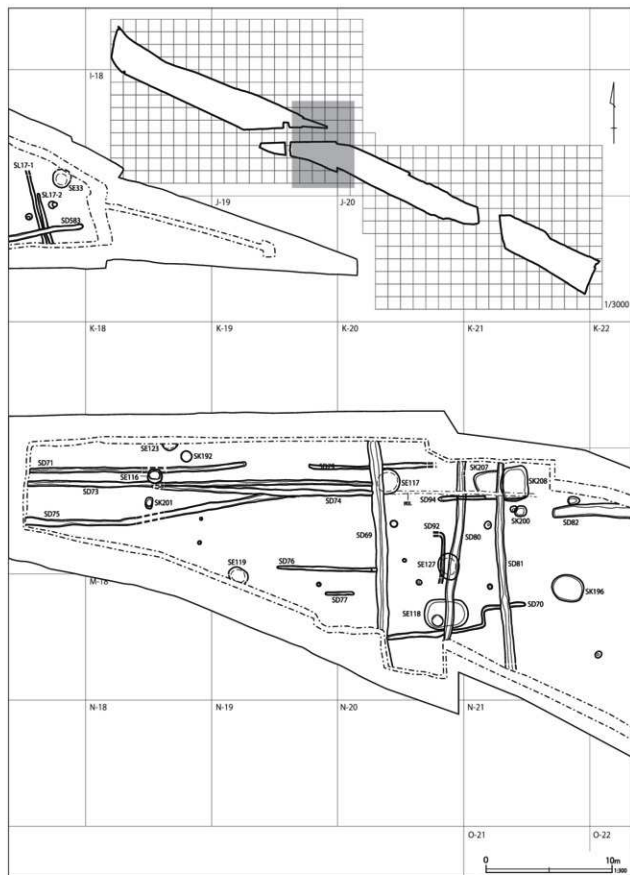




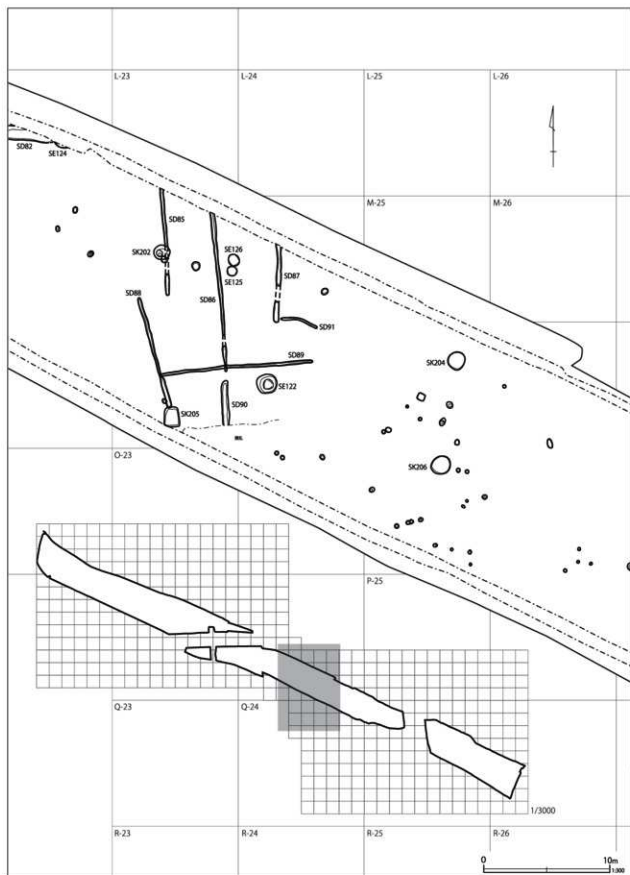
第100図 全体図（2）



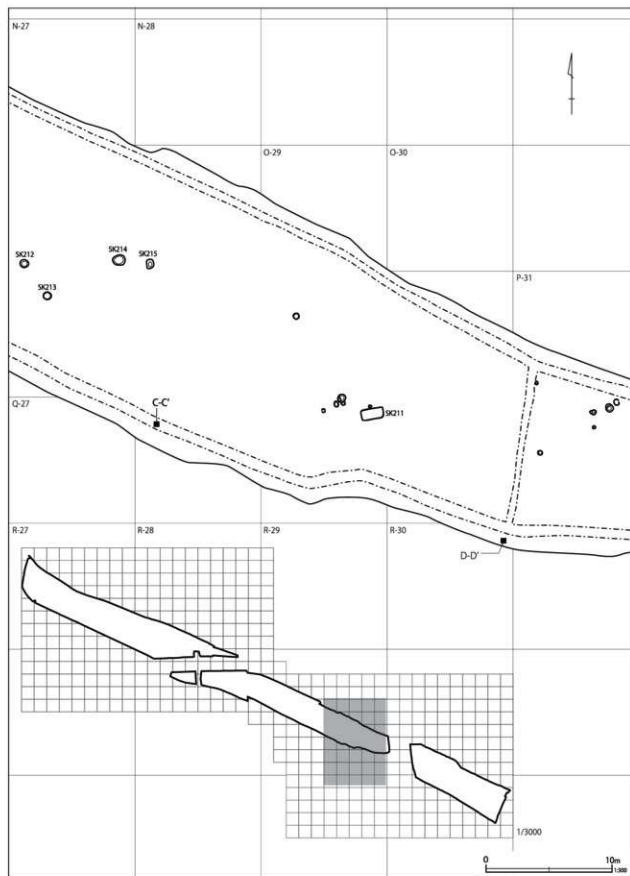
第101図 全体図 (3)



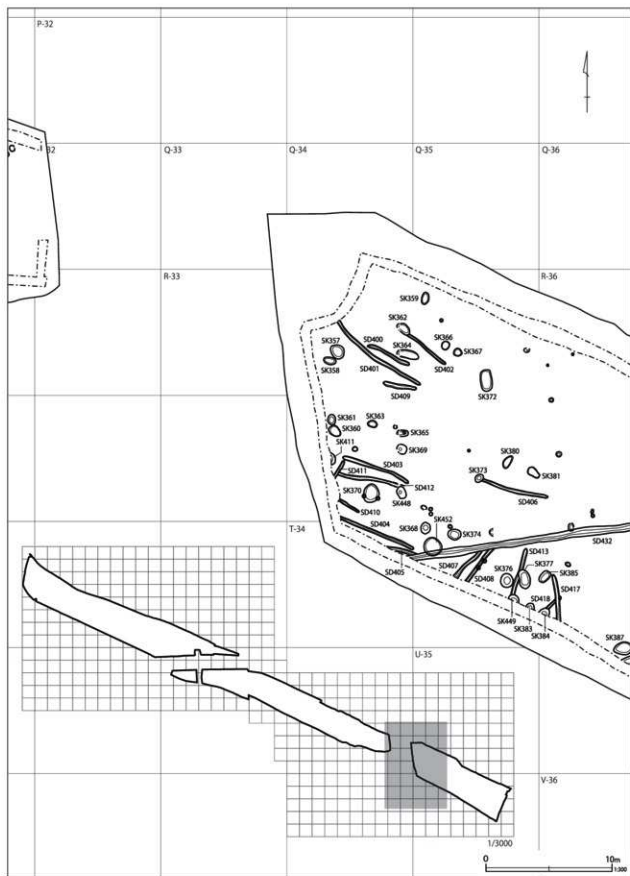
第102図 全体図（4）

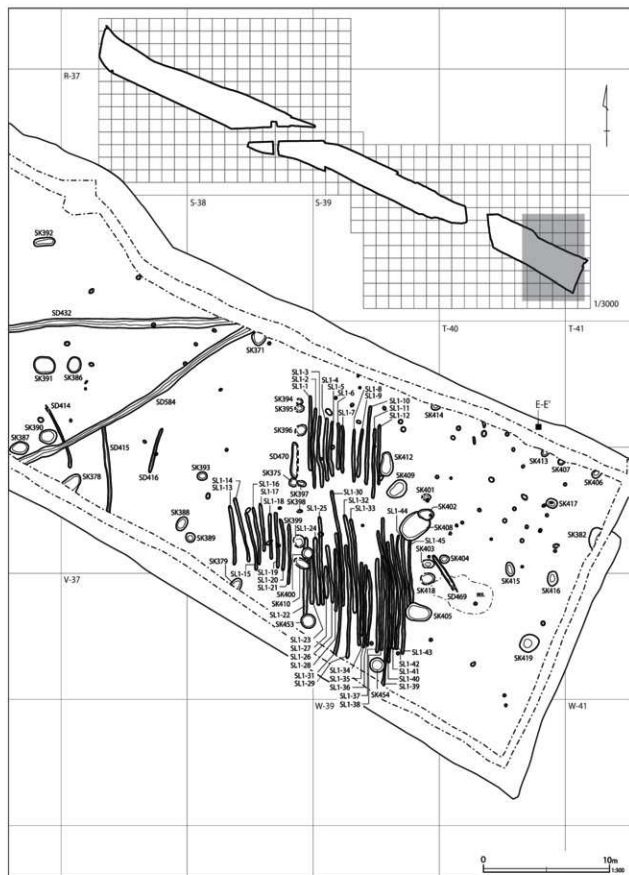


第103図 全体図 (5)



第104図 全体図（6）





第106図 全体図(8)

2 遺構と遺物

(1) 杭列

杭列は、全部で3条検出された。いずれも近接する。特に、第3・5号杭列は、それぞれの延長線がほぼ直角に交わり一連のものの可能性が高い。

第3号杭列 (第107図)

I・J-14グリッドに位置する。4基のピットからなり、南北方向の配列である。主軸方位はN-5°-Wを示す。遺物は出土しなかった。

第4号杭列 (第107図)

J-14グリッドに位置する。第3号杭列の南西側に近接する。2基のピットからなり、北東から南西方向の配列である。主軸方位はN-27°-Eを示す。遺物は出土しなかった。

第5号杭列 (第107図)

J-14・15グリッドに位置する。14基のピットからなり、東西方向の配列である。主軸方位はN-80°-Wを示す。遺物は出土しなかった。

(2) 井戸跡

井戸跡は、全部で106基検出された。漏斗状の断面形態を呈するものが多い。ほとんどが素掘りの井戸跡である。崩落の危険から、掘削は底面まで達していない。

個別の井戸跡については、第11表に示し、特徴的なものについては、以下に記すこととする。

第1号井戸跡 (第108・129図)

E-4グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸2.05m、短軸1.74m、深さ0.92m以上である。覆土の3層と5層の間には、ごく薄く砂の堆積する層が確認された。遺物は、2層中から出土している。

出土遺物は、第129図に示した。1・2はかわらけである。いずれも底部は回転糸切であり、板目状圧痕が認められる。

3は瓦質土器の播鉢であり、外面は、刷毛目状のヘラナデによって調整する。4は瓦質土器の釜である。内面は、刷毛目状のヘラナデによって調

整する。

第2号井戸跡 (第109・129図)

E・F-4グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.90m、短軸1.74m、深さ0.94m以上である。第34号井戸跡と重複し、これを壊している。遺物は、覆土上層より出土した。

出土遺物は、第129図に示した。5はかわらけである。底部には糸切痕が認められる。6は瓦質土器の鉢である。やや酸化炎焼成気味の色調を呈し、内面が黒化する。7は瓦質土器の焙烙である。外面の一部に煤が付着する。

第3号井戸跡 (第108・129図)

E-4グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.66m、短軸1.38m、深さ0.47m以上である。第25・28号溝跡と重複し、これに壊されている。遺物は、覆土の中層より出土した。

出土遺物は、第129図に示した。8は青磁の碗である。中国龍泉窯系の製品で、内外面に青磁釉を施す。外面には蓮弁文が認められる。13世紀中葉から14世紀前葉の所産である。

第6号井戸跡 (第110・129図)

E-5グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸2.45m、短軸1.97m、深さ0.94mである。

出土遺物は、第129図に示した。9は陶器の片口鉢である。山茶碗系の製品である。

第12号井戸跡 (第111・129図)

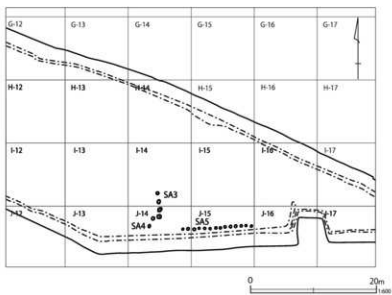
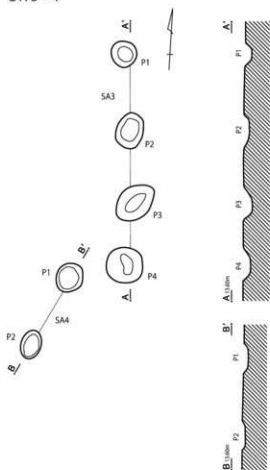
F-6グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.94m、短軸1.62m、深さ0.90m以上である。

出土遺物は、第129図に示した。13は古瀬戸の壺類の破片である。四耳壺の可能性が高い。外面には灰釉を施す。前期様式の製品であり、13世紀代の所産である。

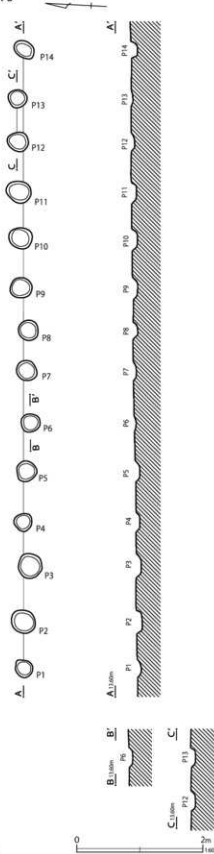
第13号井戸跡 (第111・129・130図)

F-6・7グリッドに位置する。平面形態は不

SA3・4



SA5



第107図 第3～5号杭列跡

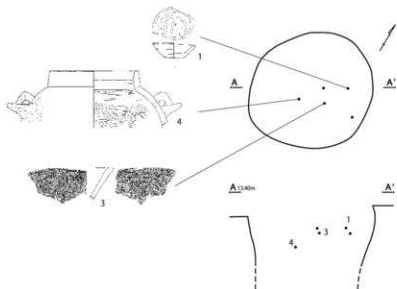
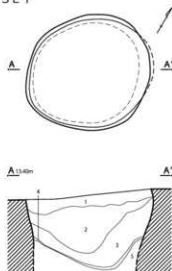
第10表 杭列一覧表 (第107図)

遺構名	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)
SA3 1	0.42	0.39	0.11
2	0.59	0.40	0.09
3	0.72	0.49	0.14
4	0.61	0.56	0.12
SA4 1	0.50	0.43	0.05
2	0.49	0.34	0.07

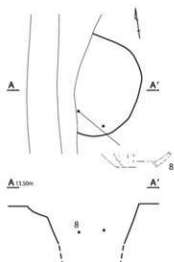
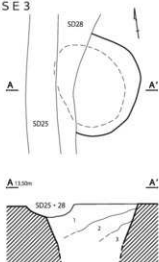
遺構名	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)
SA5 1	0.33	0.26	0.07
2	0.42	0.36	0.09
3	0.41	0.39	0.09
4	0.30	0.27	0.06
5	0.33	0.30	0.07
6	0.32	0.30	0.03
7	0.36	0.30	0.05

遺構名	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)
SA5 8	0.35	0.31	0.07
9	0.36	0.33	0.08
10	0.37	0.33	0.09
11	0.41	0.34	0.09
12	0.37	0.31	0.06
13	0.31	0.29	0.02
14	0.33	0.26	0.10

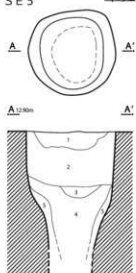
SE 1



SE 3



SE 5



SE 1

- 1 暗黄褐色土 黄褐色粘土ブロック 暗褐色土含む
- 2 黄褐色土 砂質粘土含む 粒子細かい
- 3 暗褐色土 粘性強 炭化物含む
- 4 灰色土 砂層
- 5 白色土 粘質土 粒子粗い

SE 3

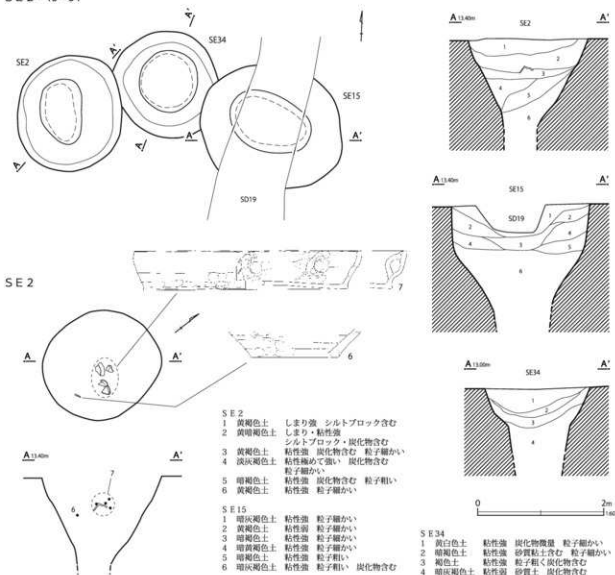
- 1 暗褐色土 粘性強 黄褐色ブロック多量 炭化物含む
- 2 暗黄褐色土 粘性強 黄褐色ブロック少量
- 3 暗褐色土 粘性強 黄褐色土含む

SE 5

- 1 黒褐色土 粘性強 炭化物含む
- 2 黄褐色土 粘性極めて強 炭化物含む
- 3 暗褐色土 粘性強 炭化物含む 粒子細かい
- 4 褐色土 粘性強 炭化物含む
- 5 淡黄褐色土 炭化物含む 砂質 粒子粗い

0 2m 100

第108図 井戸跡 (1)



第109図 井戸跡 (2)

整形であり、規模は、長軸2.70m、短軸2.44m、深さ1.22m以上である。第29号溝跡と重複し、これを壊している。

出土遺物は、第129・130図に示した。14は天目茶碗である。内外面に鉄釉を施軸する。17世紀前葉の所産である。15は瀬戸美濃系陶器の皿である。内外面に灰釉を施軸する。16は常滑の甕である。内面をヨコナデとヘラナデによって調整する。17～22はかわかけである。19～21は底部が遺存する。いずれも糸切痕が認められる。22は口唇部に二次使用の痕跡が認められる。23は陶器の片口

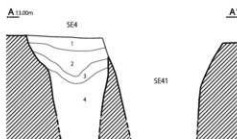
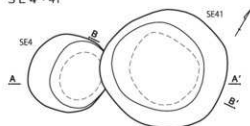
鉢である。内面には刷毛目状工具によるナデ、外面には指頭痕が認められる。24～26は瓦質土器の播鉢である。25は使用による内面の磨滅が著しい。27～30は瓦質土器の内耳鍋である。27は口縁部のゆがみが強い。外面の一部に煤が付着する。31・32は焙烙である。

第16号井戸跡 (第112・131・146・148図)

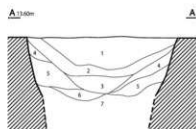
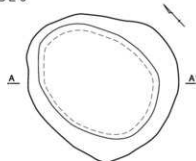
E-4 グリッドに位置する。平面形態は不整形で、規模は、長軸2.83m、短軸2.39m、深さ1.16m以上である。

覆土の3層と4層の間には、ごく薄い炭化物の

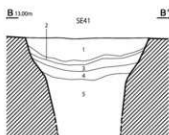
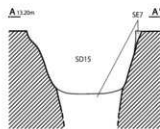
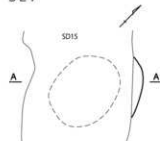
SE 4・41



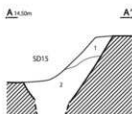
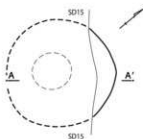
SE 6



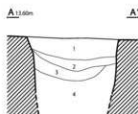
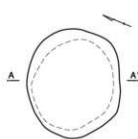
SE 7



SE 8



SE 9



SE 4

- 1 明炭灰色土 粘性強 炭化物・焼土粒含む 粒子細かい
- 2 明炭褐色土 粘性強 炭化物含む 粒子細かい
- 3 明炭褐色土 粘性弱
- 4 炭褐色土 粘性弱 炭化物含む 砂質 粒子粗い

SE 6

- 1 暗炭褐色土 粘性強 炭化物・黄褐色ブロック含む
- 2 炭褐色土 粘性強 炭化物含む 粒子細かい
- 3 黄褐色土 黄褐色粘土ブロック多量
- 4 暗炭褐色土 黄褐色粘土・炭化物含む
- 5 暗褐色土 炭化物含む 粒子粗い
- 6 暗炭褐色土 炭化物含む
- 7 暗褐色土 粘性強 粒子細かい

SE 8

- 1 暗褐色土 粘性強 炭化物含む
- 2 炭黄褐色土 炭化物含む 粒子細かい

SE 9

- 1 暗褐色土 粘性強 炭化物・焼土含む 粒子粗い
- 2 暗炭褐色土 粘性弱 粒子細かい
- 3 褐色土 粘性強 黄褐色ブロック含む 粒子細かい
- 4 黒褐色土 粘性強 黄褐色ブロック

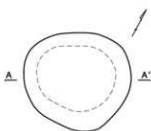
SE 41

- 1 暗褐色土 粘性強 黄褐色ブロック・炭化物含む
- 2 炭褐色土 粘性強 粒子細かい
- 3 青灰白色土 粘性強 粒子細かい
- 4 黄灰白色土 粘性強 粒子粗い
- 5 灰白色土 粘性強 炭化物含む



第110図 井戸跡 (3)

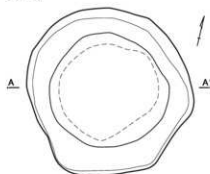
SE10



A 14.40m



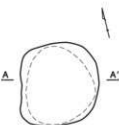
SE13



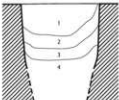
A 13.50m



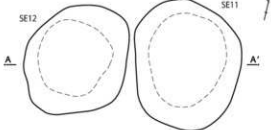
SE17



A 13.50m



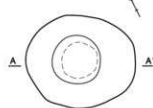
SE11・12



A 13.40m



SE19



A 13.00m



0 2m 1:60

SE10

1 黄褐色土 粘性強 黄褐色ブロック多量

2 暗褐色土 粘性強 炭化物含む

SE11

1 淡灰褐色土 粘性強 黄褐色粘土ブロック含む

2 淡灰色土 粘性強 砂質粘土 粒子細かい

3 黄褐色土 粘性強 黄褐色ブロック

4 淡灰白色土 砂質粘土 粒子細かい

5 灰色土 粘性弱 砂質 黄褐色粒子含む

6 黄褐色土 粒子細かい

7 淡灰黄色土 粘性強 粒子細かい

SE12

1 淡灰褐色土 粘性強 黄褐色ブロック多量

2 灰黄褐色土 粘性強 黄褐色ブロック多量

3 黄褐色土 粘性強 黄褐色ブロック含む

4 灰褐色土 砂質粘土 黄褐色土少量 粒子粗い

5 暗灰色土 粘性強 黄褐色粘土含む

6 暗灰褐色土 粘性強

SE13

1 暗褐色土 粘性強 黄褐色粒子多量

2 黄褐色土 粘性強 黄褐色ブロック主体

3 暗黄褐色土 粘性強 黄褐色粒多量

4 暗灰褐色土 粒子細かい 焼土粒少量 灰白砂質土含む

5 黄褐色土 黄褐色ブロック

6 暗褐色土 粒子細かい 炭化物含む

SE17

1 暗褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物・焼土含む

2 黄褐色土 粘性強 粒子細かい

3 暗褐色土 粘性強 粒子細かい

4 暗黄褐色土 粘性極めて強 粒子粗い 炭化物含む

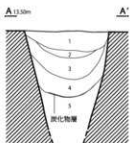
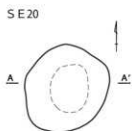
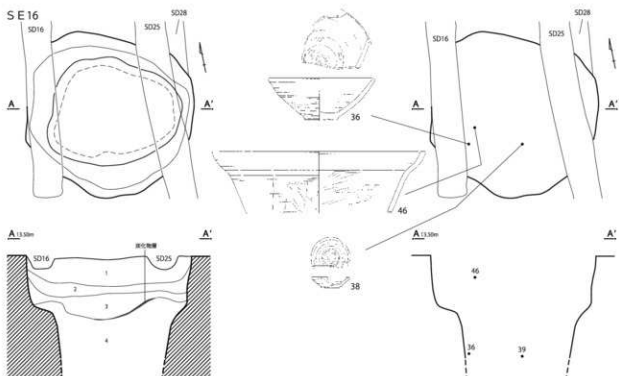
SE19

1 暗褐色土 粘性強 粒子粗い 炭化物含む

2 暗褐色土 粘性強 粒子粗い

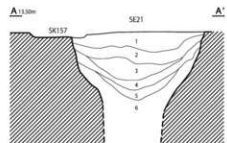
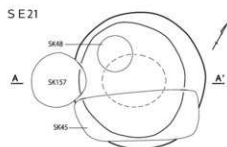
3 灰褐色土 粘性弱 砂質 2層より暗い

第111図 井戸跡(4)



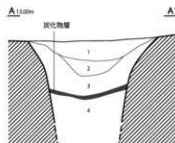
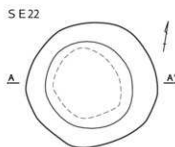
- SE 16
- 1 褐色土 粘性強 炭化物・焼土含む
 - 2 黄褐色土 黄褐色ブロック 炭化物・焼土含む
 - 3 灰褐色土 粘性強 粒子粗い 黄褐色ブロック含む
 - 4 暗灰白色土 粘性強 粒子細かい 黄褐色ブロック含む

- SE 20
- 1 暗褐色土 粘性強 粒子粗い
 - 2 暗黄褐色土 黄褐色ブロック多量
 - 3 暗灰褐色土 粘性強 炭化物含む
 - 4 灰褐色土 粒子粗い 炭化物含む
 - 5 暗灰褐色土 粘性強 粒子粗い 黄褐色ブロック含む



- SE 21
- 1 暗褐色土 粘性強 炭化物含む
 - 2 暗黄褐色土 黄褐色ブロック多量
 - 3 暗褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
 - 4 黄褐色土 粘性強 炭化物含む
 - 5 灰褐色土 粘性強 炭化物含む
 - 6 暗灰褐色土 粘性強 粒子粗い

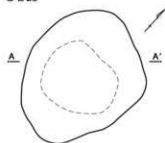
- SE 22
- 1 暗褐色土 粘性強 粒子粗い 炭化物含む
 - 2 灰色土 粘性強
 - 3 暗褐色土 粘性強
 - 4 暗灰褐色土 粘性弱



0 2m 1:60

第112図 井戸跡 (5)

SE23

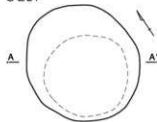


A 1350m

A'



SE24

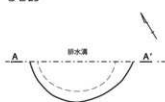


A 1340m

A'



SE25

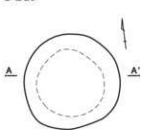


A 1340m

A'



SE26

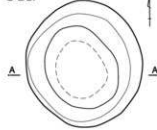


A 1310m

A'



SE27



A 1320m

A'



0 2m 1:40

SE23

- 1 暗白色土 粘性強 粒子細かい 黄褐色ブロック含む
- 2 暗褐色土 粘性強 粒子細かい 黄褐色ブロック含む
- 3 暗褐色土 粘性弱 2層より黄褐色ブロック多量
- 4 黄褐色土 粘性弱 粒子粗い 黄褐色ブロック
- 5 暗褐色土 粘性強 黄褐色ブロック含む
- 6 暗灰褐色土 粘性強 黄褐色ブロック含む 還元化

SE24

- 1 暗褐色土 粘性強 炭化物含む 粒子粗い
- 2 黄褐色土 粘性極めて強 炭化物粒含む
- 3 黄褐色土 粘性弱 砂質 炭化物含む
- 4 褐色土 粘性強 炭化物含む
- 5 黒色土 粘性強 粒子細かい 黄褐色ブロック含む

SE25

- 1 明褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
- 2 淡灰褐色土 粘性強 黄褐色ブロック含む
- 3 黄褐色土 粘性強 黄褐色ブロック多量
- 4 褐色土 粘性強 炭化物・粘土を含む

SE26

- 1 暗褐色土 粘性強 炭化物・粘土含む 粒子粗い
- 2 黄褐色土 粘性弱 粒子粗い
- 3 黒色土 粘性弱 粒子細かい
- 4 淡褐色土 粘性強 粒子粗い 黄褐色ブロック含む
- 5 淡褐色土 粘性強 黄褐色ブロック含む 4層より粗い

SE27

- 1 淡褐色土 粘性強 砂質
- 2 灰褐色土 粘性強 炭化物含む
- 3 淡褐色土 粘性強 砂質 炭化物含む
- 4 褐色土 粘性強 砂質 炭化物含む

第113図 井戸跡 (6)

層が堆積していた。

出土遺物は、第131・146・148図に示した。36は古瀬戸の平碗である。内外面に灰釉を施釉する。内面には目跡が認められる。後期様式の製品である。覆土の上層より出土している。37～43はかわらけである。36・39は覆土の下層より出土したことが確認されている。37～40は比較的径が小さいものである。39は口縁部に煤が付着しており、灯明皿として使用されたものと考えられる。41と42の底部には板目状圧痕が認められる。44は瓦質土器の播鉢である。外面に刷毛目状のヘラナデが

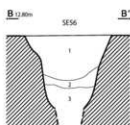
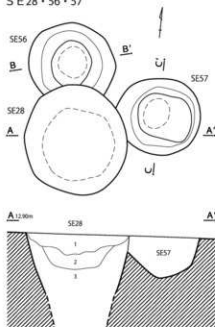
認められる。45・46は内耳鍋である。いずれも外面には煤が付着する。202は、粘板岩製の砥石である。4面に使用痕が認められる。被熱により赤色化する。214は明銭の永楽通宝である。初鑄年は、1408年である。

第28号井戸跡 (第114・132図)

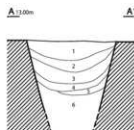
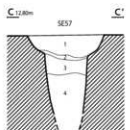
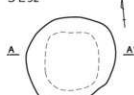
H-13グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.77m、短軸1.53m、深さ0.97m以上である。第56・57号井戸跡と重複し、これを壊している。

出土遺物は、第132図に示した。54は青磁の碗

S E 28・56・57



S E 32



S E 28

- 1 灰褐色土 粘性強 炭化物・焼土含む
- 2 暗灰褐色土 粒子細かい 炭化物・焼土含む
- 3 褐色土 粒子粗い 炭化物含む

S E 29

- 1 暗灰褐色土 粘性強 砂質 炭化物・焼土含む
- 2 灰褐色土 粘性強 炭化物含む 粒子細かい

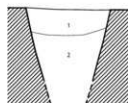
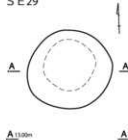
S E 31

- 1 淡灰白色土 粘性強 砂質 粒子粗い
- 2 灰白色土 粘性弱 粒子細かい
- 3 暗灰色土 粘性弱 砂質 粒子粗い 炭化物含む

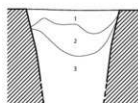
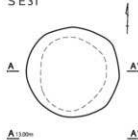
S E 32

- 1 暗褐色土 粘性強 焼土粒含む
- 2 淡黄褐色土 粘性強 粒子粗い 黄褐色土含む
- 3 暗灰褐色土 粘性強 粒子粗い 炭化物含む
- 4 暗茶褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
- 5 暗褐色土 粘性強 黄褐色土ブロック多量
- 6 暗灰褐色土 粘性強 炭化物粒含む

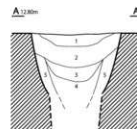
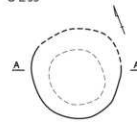
S E 29



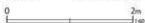
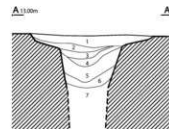
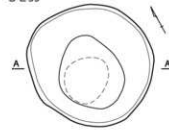
S E 31



S E 33



S E 35



S E 33

- 1 淡褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
- 2 暗灰褐色土 粘性弱 炭化物・焼土含む
- 3 灰褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
- 4 暗灰白色土 粘性強 炭化物含む
- 5 灰色土 粘性強 粒子粗い 壁面崩落土

S E 35

- 1 暗褐色土 粘性強 炭化物・焼土含む
- 2 黒色土 粘性強 炭化物粒多量
- 3 淡灰色土 粘性や中弱 炭化物微量
- 4 灰白色土 粘性弱 炭化物含む
- 5 暗灰白色土 粘性強 炭化物含む
- 6 灰白色土 粘性弱 砂質土含む
- 7 暗灰色土 粘性強 粒子粗い 炭化物含む

S E 56

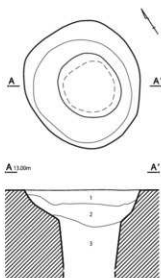
- 1 暗褐色土 粘性強 炭化物含む
- 2 黄褐色土 粘性強 粒子細かい
- 3 黒褐色土 粘性強 シルト質 黄褐色土ブロック含む

S E 57

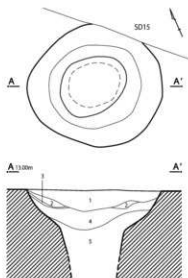
- 1 暗褐色土 粘性強 炭化物を含む
- 2 白黄褐色土 砂質 粒子細かい
- 3 暗褐色土 粘性強 炭化物を含む
- 4 青灰色土 粘性強 粘土質

第114図 井戸跡 (7)

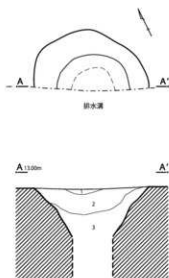
SE 36



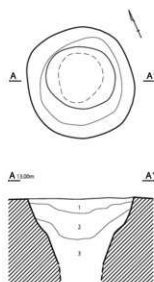
SE 37



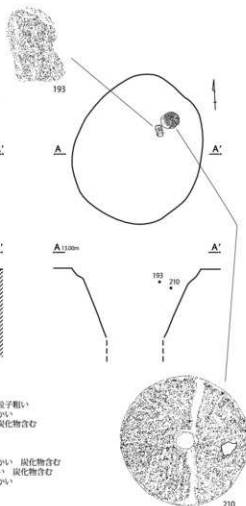
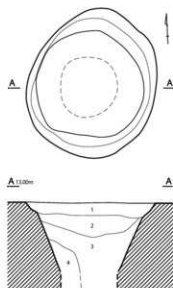
SE 38



SE 39



SE 40



SE 36
1 暗褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
2 暗灰色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
3 灰褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む

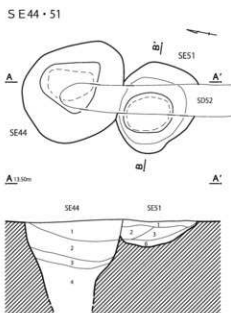
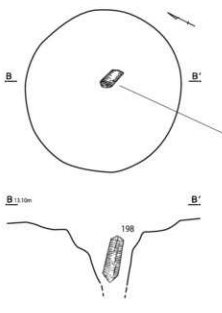
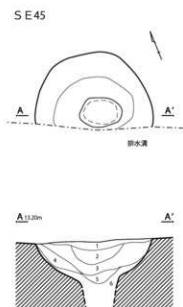
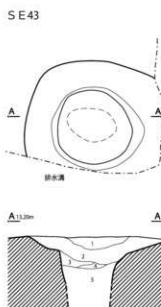
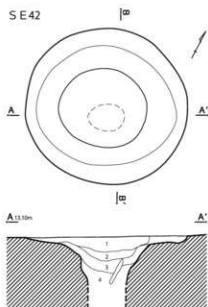
SE 37
1 暗褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
2 暗灰褐色土 粘性強 炭化物含む
3 黄褐色土 粘性強 砂質 粒子粗い
4 灰色土 粘性強 炭化物含む
5 暗灰色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む

SE 38
1 暗灰色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
2 こげ茶色土 粘性強 砂質粘土 炭化物含む
3 暗青灰色土 粘性強 粘土 粒子細かい

SE 39
1 黄褐色土 粘性強 砂質 粒子粗い
2 暗灰白色土 粘性強 粒子細かい
3 暗灰褐色土 粘性強 砂質 炭化物含む

SE 40
1 灰黄色土 粘性強
2 暗灰白色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
3 暗灰色土 粘性弱 粒子粗い 炭化物含む
4 灰白色土 粘性強 粒子細かい

第115図 井戸跡 (8)



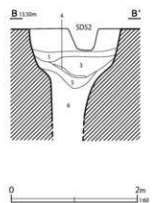
- SE 42
- | | | | |
|---|------|--------|-------|
| 1 | 黄褐色土 | 粘性弱 | 粒子粗い |
| 2 | 灰色土 | 粘性極めて強 | 粘土 |
| 3 | 褐色土 | 粘性強 | 粒子細かい |
| 4 | 暗褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |

- SE 43
- | | | | |
|---|-------|-----|-------|
| 1 | 暗黄褐色土 | 粘性強 | 粒子粗い |
| 2 | 暗褐色土 | 粘性強 | 粒子細かい |
| 3 | 褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 4 | 暗褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 5 | 暗黄褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |

- SE 45
- | | | | |
|---|-------|-----|-------|
| 1 | 褐色土 | 粘性強 | 粒子細かい |
| 2 | 黄褐色土 | 粘性強 | 粒子細かい |
| 3 | 暗褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 4 | 暗黄褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 5 | 褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 6 | 明褐色土 | 粘性強 | 粒子細かい |

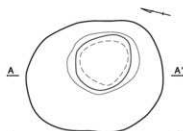
- SE 44
- | | | | |
|---|-------|-----|--------------|
| 1 | 黄白色土 | 粘性強 | 白色の粘質土ブロック多量 |
| 2 | 淡灰褐色土 | 粘性強 | 白色ブロック多量 |
| 3 | 淡灰白色土 | 粘性弱 | 粒子細かい |
| 4 | 暗灰白色土 | 粘性強 | 炭化物含む |

- SE 51
- | | | | |
|---|-------|-----|------------|
| 1 | 黄白色土 | 粘性強 | 白色粘土ブロック含む |
| 2 | 暗褐色土 | 粘性強 | 粒子細かい |
| 3 | 白色土 | 粘性強 | 白色粘土ブロック含む |
| 4 | 暗褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 5 | 暗黄褐色土 | 粘性強 | 黄褐色土ブロック多量 |
| 6 | 灰色土 | 粘性強 | 粒子細かい |



第116図 井戸跡 (9)

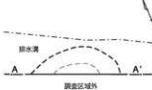
SE 46



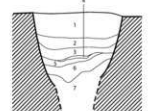
A 11.00m



SE 47



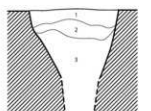
A 11.90m



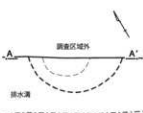
SE 48



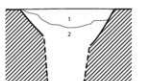
A 11.00m



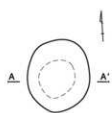
SE 49



A 11.00m



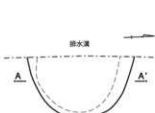
SE 52



A 11.00m



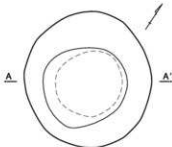
SE 53



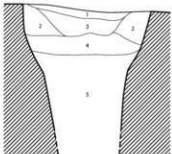
A 12.80m



SE 54



A 13.80m



- SE 46
1 暗灰色土 粘性強 炭化物・粘土含む
2 褐色土 炭化物含む 粒子細かい
3 暗灰褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
4 灰色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む

- SE 47
1 暗灰色土 粘性強 粘土ブロック多量
2 暗褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
3 褐色土 粒子細かい 粘土ブロック多量
4 灰白色土 粘性強 粒子細かい
5 暗灰色土 粘性強 炭化物含む
6 黄褐色土 粘性強 粒子細かい
7 灰色土 粘性弱 粒子細かい 炭化物含む

- SE 48
1 黄褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
2 暗灰白色土 粘性強 粒子細かい
3 灰白色土 粘性強 炭化物含む

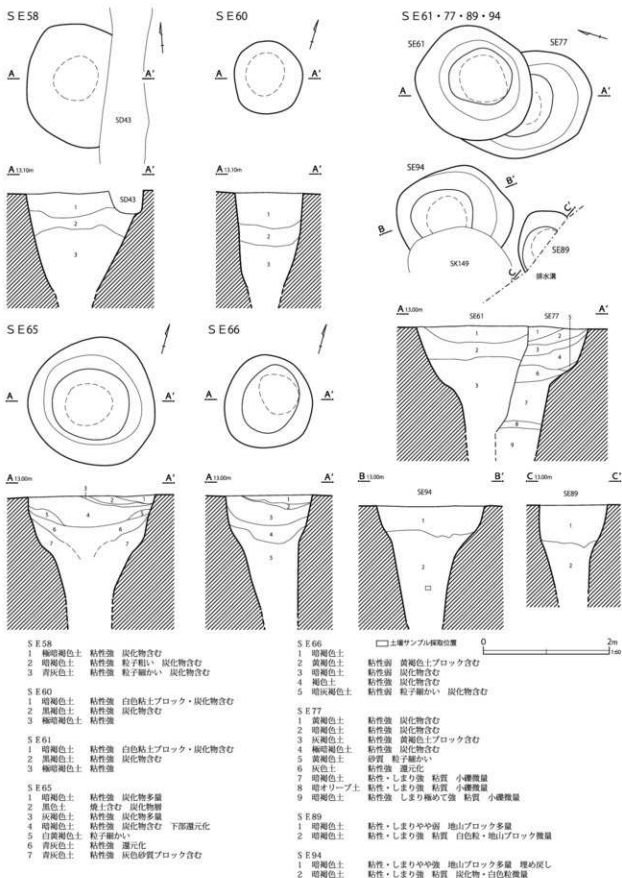
- SE 49
1 淡灰色土 粘性弱 炭化物微量
2 黄褐色土 粘性強 粒子細かい

- SE 52
1 暗褐色土 粘性強 粒子細かい
2 暗褐色土 粘性強 粒子細かい 黄褐色粘土を含む
3 灰褐色土 粘性強 炭化物を含む
4 黄褐色土 粘質
5 青灰色土 砂質

- SE 54
1 暗褐色土 炭化物少量
2 黄褐色土 粒子細かい 炭化物少量
3 褐色土 黄褐色土ブロック・炭化物含む
4 灰褐色土 粘性強 炭化物含む 還元化
5 灰褐色土 粘性強 4層より暗い 炭化物少量 還元化

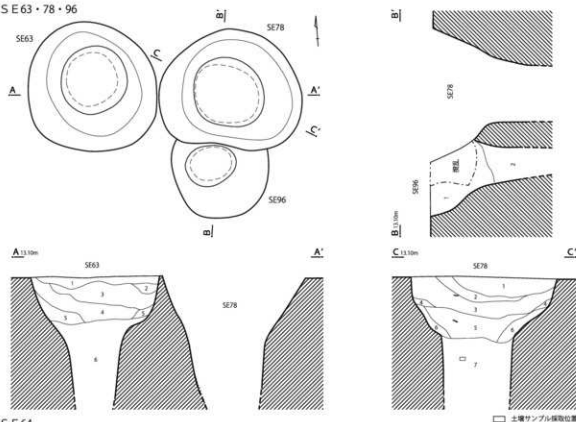
0 2m 1m

第117図 井戸跡 (10)

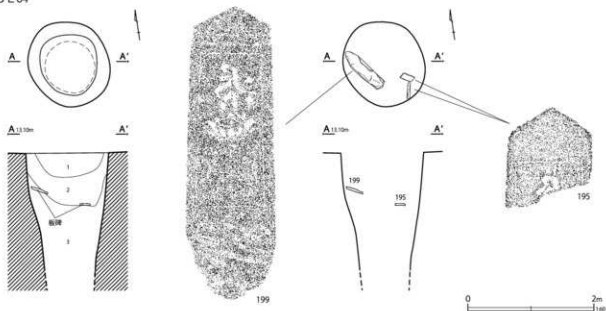


第118図 井戸跡 (11)

S E 63・78・96



S E 64



S E 63

- 1 暗褐色土 粘性強 炭化物含む
- 2 暗褐色土 粘性強 白色砂質ブロック含む
- 3 白黄褐色土 砂質 粒子細かい
- 4 暗褐色土 粘性強 白黄褐色粘土ブロック・炭化物含む
- 5 暗褐色土 粘性強
- 6 暗褐色土 粘性強

S E 64

- 1 暗褐色土 粘性強 粒子粗い 炭化物含む
- 2 黄褐色土 粘性強 粒子粗い 炭化物含む
- 3 暗灰褐色土 粘性強 炭化物含む

S E 78

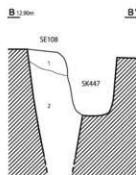
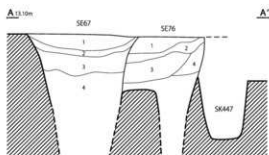
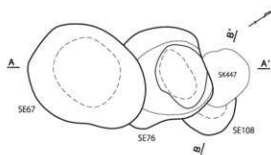
- 1 灰褐色土 粘性強 黄褐色粘土少量
- 2 暗褐色土 粘性強 黄褐色土ブロック多量 炭化物含む
- 3 暗褐色土 粘性強 炭化物含む 部分的に還元化
- 4 暗褐色土 粘性強
- 5 灰土 粘性強 還元化
- 6 灰土 粘性強 黄褐色土ブロック含む
- 7 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色ブロック炭に多量

S E 96

- 1 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強い 黄褐色ブロック炭に多量
- 2 暗褐色土 粘性・しまり強 炭化物ブロック少量 白色粒微量

第119図 井戸跡 (12)

S E 67・76・108



0 2m 100

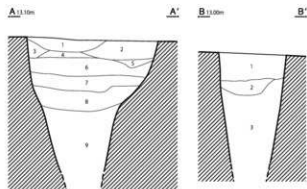
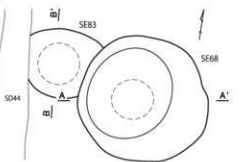
S E 67

- | | | | |
|---|-------|-----|-------|
| 1 | 暗褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 2 | 灰褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 3 | 極暗褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 4 | 青灰色土 | 粘性強 | 砂質 |

S E 68

- | | | | |
|---|--------|-----------|----------------|
| 1 | 暗褐色土 | 粘性強 | 炭褐色土ブロック・炭化物含む |
| 2 | 暗褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 3 | 極暗褐色土 | 粘性強 | 炭褐色土ブロック・炭化物含む |
| 4 | 灰褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 5 | 黄褐色土 | 粘性弱 | 炭化物含む |
| 6 | 青灰色土 | 粘性強 | |
| 7 | 暗褐色土 | 粘性・しまりやや弱 | 黄褐色土ブロック微量 |
| 8 | 暗褐色土 | 粘性・しまりやや強 | 炭化物微量 |
| 9 | 暗オリーブ土 | 粘性・しまり強 | 白色粘粉微量 |

S E 68・83



S E 76

- | | | | |
|---|-------|-----|-------|
| 1 | 暗褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 2 | 灰褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 3 | 極暗褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |
| 4 | 青灰色土 | 粘性強 | |

S E 83

- | | | | |
|---|------|------|------------|
| 1 | 黄褐色土 | 粘性あり | 塵少量 |
| 2 | 暗褐色土 | 粘性あり | 炭褐色土ブロック中量 |
| 3 | 暗褐色土 | 粘性弱 | 塵少量 |
| | | | 粘性極めて強 |

S E 108

- | | | | |
|---|------|-----|-------|
| 1 | 暗褐色土 | 粘性強 | 砂質 |
| 2 | 灰褐色土 | 粘性強 | 炭化物含む |

第120図 井戸跡 (13)

である。中国龍泉窯系の製品で、内外面に青磁釉を施軸する。外面には蓮弁文が認められる。13世紀中葉から14世紀前葉の所産である。55は瓦質土器の鉢である。底部を静止糸切によって切り離す。内面および断面を砥具として二次使用した痕跡が認められる。

第29号井戸跡 (第114・132図)

I-15グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.35m、短軸1.20m、深さ1.18m以上である。

出土遺物は、第132図に示した。56は古瀬戸の平碗である。内外面に灰釉を施軸する。内面には

目跡が2ヶ所、遺存する。後期様式II期の製品である。

第32号井戸跡 (第114・132図)

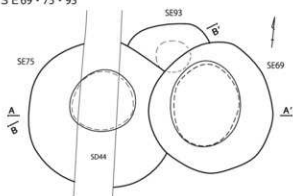
J-15グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.52m、短軸1.29m、深さ1.16m以上である。

出土遺物は、第132図に示した。58は古瀬戸の瓶類の破片である。瓶子と考えられる。外面には灰釉を施軸する。また、線刻文が認められる。59は常滑の甕で、外面に押印文が認められる。

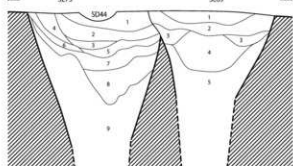
第40号井戸跡 (第115・133・142・148図)

D-4グリッドに位置する。平面形態は楕円形

S E 69・75・93

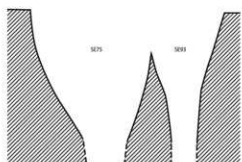


A 11.00m SE75 SD44 SE93 A'



B 11.00m

B'



S E 69

- 1 灰褐色土 粘性強 白灰褐色土ブロック含む
- 2 暗褐色土 粘性強 炭化物含む
- 3 暗褐色土 粘性強 炭化物含む
- 4 灰褐色土 粘性強 還元化
- 5 灰褐色土 粘性強 白灰褐色土ブロック含む

S E 70

- 1 灰褐色土 粘性強 炭化物含む
- 2 暗褐色土 粘性強
- 3 青灰色土 粘性強

S E 71

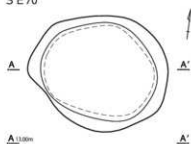
- 1 灰褐色土 粘性強 粒子細かい
- 2 白灰褐色土 粘性強
- 3 暗褐色土 粘性強 炭化物含む 下部還元化
- 4 暗褐色土 粘性強 白灰褐色土ブロック含む
- 5 灰褐色土 粘性強
- 6 灰褐色土 粘性強 青灰色砂ブロック含む
- 7 青灰色土 砂質 粒子細かい

S E 75

- 1 暗褐色土 粘性強 炭化物含む
- 2 暗褐色土 粘性強 黄褐色土ブロック含む
- 3 暗褐色土 粘性強 黄褐色土ブロック少量
- 4 暗褐色土 粘性強 炭化物含む
- 5 暗褐色土 粘性強 炭化物含む
- 6 灰褐色土 粘性強 還元化土層
- 7 暗褐色土 粘性・しまりやや強
- 8 暗褐色土 粘性・しまりやや強
- 9 灰褐色土 粒子細かい

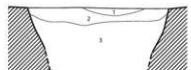
0 2m 1:50

S E 70

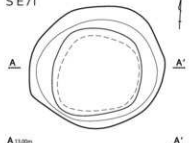


A 11.00m

A'

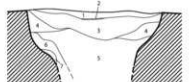


S E 71

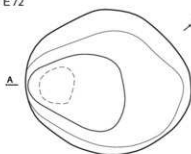


A 11.00m

A'



S E 72



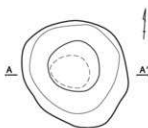
A 11.00m

A'



第121図 井戸跡 (14)

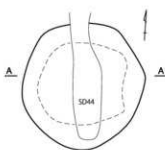
S E 73



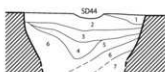
A 13.00m



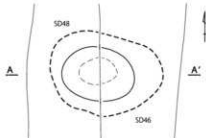
S E 74



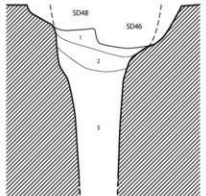
A 13.10m



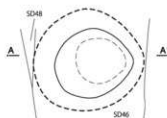
S E 80



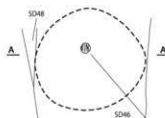
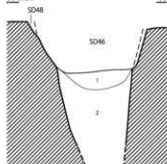
A 12.80m



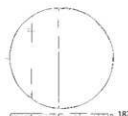
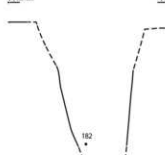
S E 79



A 13.10m



A 13.10m



0 2m 160

S E 73

- 1 灰褐色土 粘性強 白黄褐色土ブロック含む
- 2 暗褐色土 粘性強 白黄褐色土ブロック多量 炭化物含む
- 3 暗褐色土 粘性強 炭化物含む
- 4 灰褐色土 粘性強
- 5 黄褐色土 砂質 粒子細かい

S E 74

- 1 黄褐色土 粘性強 粒子細かい 黄褐色土ブロック含む
- 2 灰褐色土 粘性強 粒子細かい
- 3 明灰褐色土 粘性強 炭化物含む
- 4 褐色土 粒子細かい 炭化物含む
- 5 明灰褐色土 黄褐色土ブロック多量
- 6 灰褐色土 粘性強 炭化物含む
- 7 褐色土 粘性強 粒子細かい

S E 78

- 1 灰褐色土 粘性強 黄褐色粘土少量含む
- 2 暗褐色土 粘性強 黄褐色土ブロック多量 炭化物含む
- 3 暗褐色土 粘性強 炭化物含む 部分的に還元
- 4 暗褐色土 粘性強
- 5 灰褐色土 粘性強 還元
- 6 灰褐色土 粘性強 黄褐色土ブロック含む
- 7 暗褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土ブロック炭に多量

S E 79

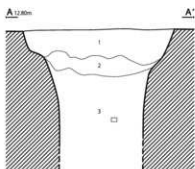
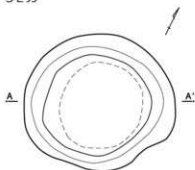
- 1 灰褐色土 粘性強 炭化物含む 還元
- 2 灰褐色土 粘性強 還元

S E 80

- 1 明灰褐色土 粘性弱 粒子細かい
- 2 暗灰褐色土 粘性強 炭化物含む
- 3 暗灰褐色土 粘性弱 2層より暗い

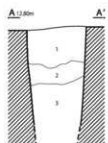
第122図 井戸跡 (15)

SE95



□ 土壌サンプル採取位置

SE101



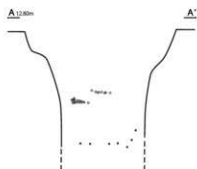
SE95

- 1 暗黄褐色土 粘性・しまり弱 黄褐色ブロック斑に多量
腐化物少量
2 暗褐色土 粘性強・しまり強 地山ブロック多量
3 暗褐色土 粘性・しまり強 白色粒礫層

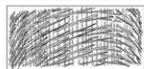
SE101

- 1 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック多量
2 黒褐色土 粘性・しまり強 小礫微量
3 黒褐色土 粘性・しまり強

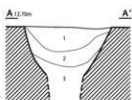
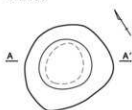
SE95 竹籠出土状況図



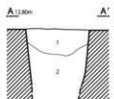
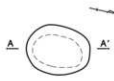
竹籠 東からの立面略図

0 50cm
1:30○ → 上端確認レベル
● → 下端確認レベル

SE102



SE104



SE102

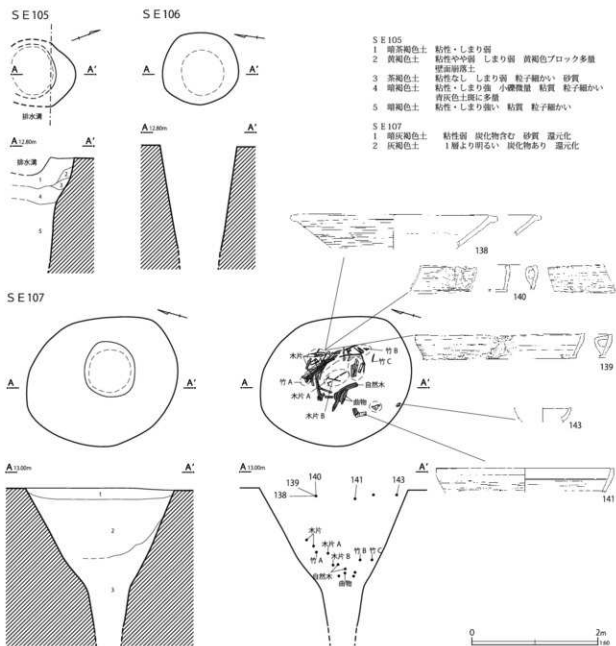
- 1 暗褐色土 粘性・しまり弱 黄褐色ブロック少量
2 暗褐色土 粘性・しまりやや強い 黄褐色ブロック中量
3 暗褐色土 粘性・しまり強 粘質 黄褐色ブロック中量

SE104

- 1 黄褐色土 粘性強 粒子細かい
2 灰褐色土 粘性強 粒子細かい

0 2m
1:60

第124図 井戸跡 (17)



第125図 井戸跡 (18)

で、規模は、長軸2.34m、短軸1.87m、深さ1.10m以上である。第12～14号溝跡と重複するが、新旧関係は不明である。

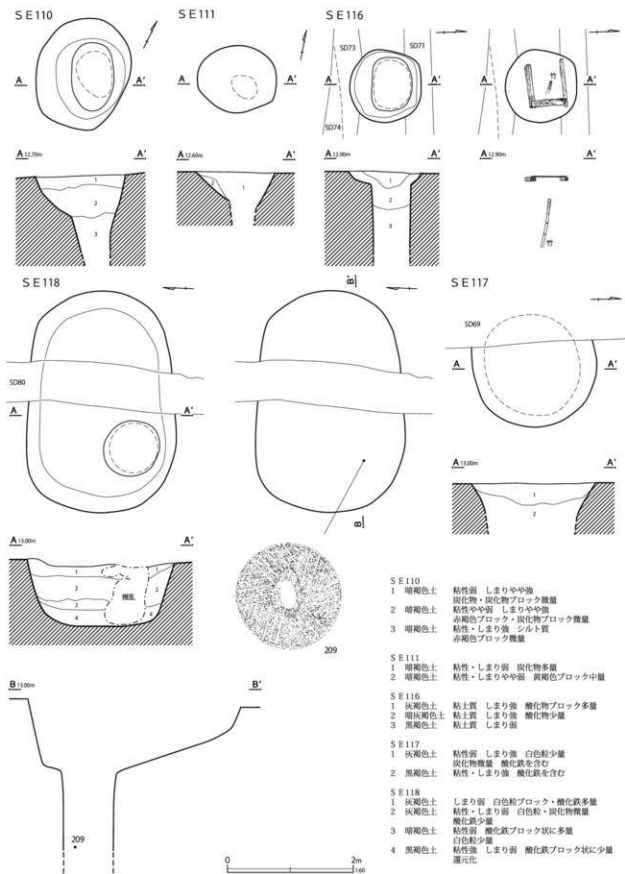
出土遺物は、第133図に示した。70はかわかけである。71～74は内耳鍋である。74の外面上部には煤が付着する。75は瓦質土器の播鉢であり、76・77は焙烙である。

193は板碑の破片である。光明真言の一部と「年

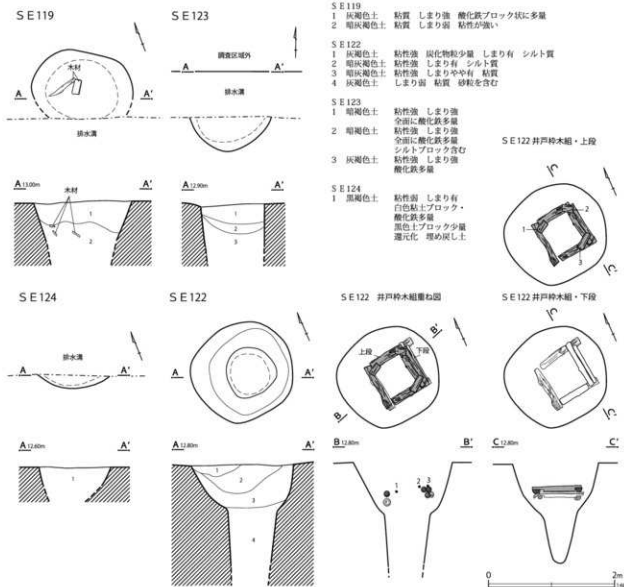
四月」の銘文が遺存する。210は安山岩製の石臼の下臼である。二分断されていたものの、ほぼ完形であった。193・210は、いずれも覆土上層の、遺構の東肩部周辺より出土した。

第42号井戸跡 (第116・143図)

F-6グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸2.66m、短軸2.31m、深さ0.80mである。



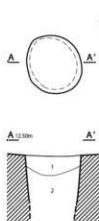
第126図 井戸跡 (19)



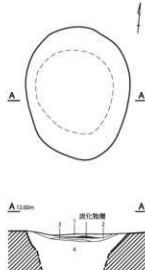
S E 125



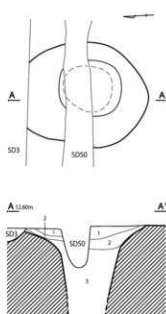
S E 126



S E 127



S E 145



S E 125

- 1 暗褐色土 粘性・しまり強 酸化鉄・シルトブロック含む
2 青灰色土 粘性・しまり強 酸化鉄少量
3 暗褐色土 粘性・しまり強 砂粒少量

S E 126

- 1 暗褐色土 粘性強 上部に酸化鉄 中部に炭化物含む
2 暗褐色土 粘性・しまり強 1層より粘性強

S E 127

- 1 青灰色土 粘性・しまり強 酸化鉄多量 炭化物微量
2 青灰色土 粘性・しまり強 酸化鉄少量
3 青灰色土 粘性・しまり強 炭化物を層状に含む 酸化鉄粒微量
4 青灰色土 粘性・しまり強 酸化鉄多量 炭化物少量

S E 145

- 1 暗褐色土 粘性・しまり弱い 黄褐色ブロック少量
2 暗褐色土 粘性やや強い しまり強い 黄褐色ブロック少量
3 暗褐色土 粘性・しまり強い 淡褐色ブロック中層

0 2m
1:50

第128図 井戸跡 (21)

第11表 井戸跡一覧表 (第108 ~ 128図)

遺構名	グリッド	平面形	長軸方位	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	重複遺構
SE1	E-4	楕円形	N-34° -E	2.05	1.74	[0.92]	
SE2	E・F-4	楕円形	N-28° -E	1.90	1.74	[0.94]	SE34(古)
SE3	E-4	楕円形	N-5° -W	[1.66]	[1.38]	[0.47]	SD25・28(新)
SE4	D・E-4	円形	N-35° -E	[1.35]	1.21	[1.25]	SE41(新) SD16・17(新)
SE5	D-4	円形	N-48° -W	1.44	1.22	[1.26]	
SE6	E-5	円形	N-0°	2.45	1.97	[0.94]	
SE7	E-4	円形	N-0°	[0.25]	[0.20]	[1.00]	SE39 SD15(新)
SE8	F-4	円形	N-50° -W	[1.40]	[0.27]	[1.06]	SD15(新)
SE9	F-5・6	楕円形	N-74° -E	1.74	1.38	[0.87]	
SE10	G-6	楕円形	N-63° -E	1.69	1.51	[0.67]	
SE11	F-6	楕円形	N-27° -W	2.10	1.65	[0.66]	
SE12	F-6	楕円形	N-32° -E	1.94	1.62	[0.90]	
SE13	F-6・7	不整形	N-42° -W	2.70	2.44	[1.22]	SD29(古)
SE14	欠番						SK154に変更
SE15	E・F-4・5	楕円形	N-66° -W	2.36	1.86	[1.74]	SE34(古) SD19(新)
SE16	E-4	不整形	N-50° -W	2.83	2.39	[1.16]	SD28(古) SD16・25(新)
SE17	F-6	不整形	N-52° -E	1.46	1.25	[1.05]	
SE18	欠番						
SE19	F-5	円形	N-61° -W	1.70	1.52	[1.10]	SK36
SE20	F-6	円形	N-30° -W	2.16	2.00	[1.30]	SK45・48・157(新)
SE21	F-6	楕円形	N-90°	1.43	1.25	[1.60]	
SE22	E-6・7	円形	N-80° -E	2.06	1.90	[1.34]	SD19(古)

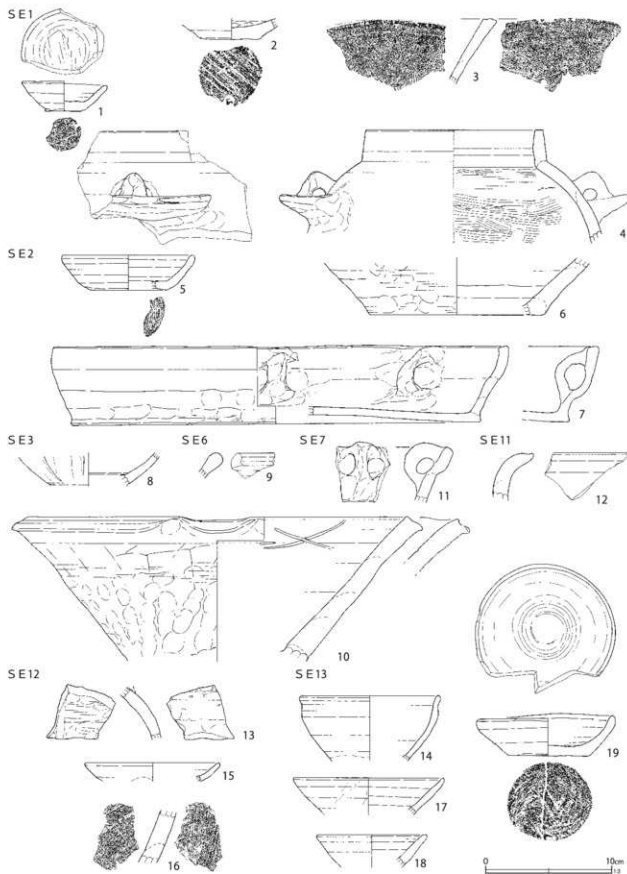
遺構名	グリッド	平面形	長軸方位	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	重複遺構
SE23	F-6	不整形	N-12° -E	2.27	1.59	[1.07]	SK49(新)
SE24	H-14・15	楕円形	N-5° -W	1.94	1.63	[1.12]	
SE25	H-15	円形	N-60° -W	[1.62]	[0.61]	[0.89]	
SE26	H-15	円形	N-56° -E	1.56	1.35	[0.92]	
SE27	H-14	楕円形	N-0°	2.00	1.80	[1.00]	
SE28	H-13	楕円形	N-24° -W	1.77	1.53	[0.97]	SE56・57(古)
SE29	I-15	楕円形	N-70° -E	1.35	1.20	[1.18]	
SE30	欠番						SK158に変更
SE31	I-13	円形	N-90°	1.45	1.39	[1.10]	
SE32	J-15	楕円形	N-52° -E	1.52	1.29	[1.16]	
SE33	I-17	円形	N-24° -W	[1.45]	[1.10]	[0.97]	
SE34	E・F-4	円形	N-42° -W	1.74	1.47	[1.02]	SE2・15(新) SD18
SE35	E-5	楕円形	N-41° -W	2.01	1.80	[0.86]	
SE36	E-4	円形	N-33° -E	2.02	1.83	[1.25]	SD18
SE37	F-4	円形	N-67° -W	2.14	1.82	[1.05]	SD15(新)
SE38	F-4	円形	N-63° -W	[1.81]	[0.83]	[0.82]	
SE39	E-4	円形	N-0°	1.75	1.62	[1.04]	SE7
SE40	D-4	楕円形	N-17° -E	2.34	1.87	[1.10]	SD12～14
SE41	D-4	楕円形	N-56° -E	2.03	1.68	[1.22]	SE4(古) SD17・25
SE42	F-6	楕円形	N-41° -E	2.66	2.31	[0.80]	
SE43	G-7	円形	N-76° -W	[2.15]	[1.72]	[0.81]	SD52
SE44	E・F-7	楕円形	N-68° -W	1.76	1.45	[1.26]	SE51(古) SD52(新)
SE45	F・G-5・6	円形	N-80° -W	[1.84]	[1.20]	[0.76]	
SE46	E-7	楕円形	N-13° -W	2.16	1.74	[1.37]	
SE47	F-5	楕円形	N-66° -W	(1.41)	(0.43)	[1.17]	
SE48	E-6	楕円形	N-60° -W	[1.00]	[0.23]	[1.14]	
SE49	E-6	楕円形	N-60° -W	(1.48)	(0.55)	[0.50]	
SE50	欠番						SE5と同一
SE51	F-7	不整形	N-42° -W	1.43	1.10	[0.43]	SE44・SD52(新)
SE52	G-6・7	楕円形	N-15° -E	1.17	0.86	[0.97]	SD29(新)
SE53	I-13	楕円形	N-30° -E	[1.68]	[0.92]	[0.40]	
SE54	H-13	円形	N-30° -E	2.17	1.89	[2.10]	SK156 SD30
SE56	H-13	円形	N-52° -W	1.39	1.21	[1.19]	SE28(新)
SE57	H-13・14	楕円形	N-90°	1.35	1.12	[1.25]	SE28(新)
SE58	G・H-11・12	楕円形	N-29° -W	2.05	[1.70]	[1.56]	SD43(新)
SE59	欠番		N-34° -E			[0.92]	SK161に変更
SE60	G-8	円形	N-6° -W	1.15	1.00	[1.55]	
SE61	H-9	楕円形	N-38° -E	1.91	1.67	[1.77]	SE77(古)
SE62	欠番						
SE63	H-9	円形	N-23° -W	2.13	1.90	[1.93]	
SE64	E-7	楕円形	N-35° -W	1.37	1.17	[1.88]	
SE65	F-8	円形	N-0°	2.00	1.92	[1.67]	
SE66	F-8	楕円形	N-15° -W	1.44	1.14	[1.83]	
SE67	G-9・10	楕円形	N-90°	1.90	1.55	[1.17]	SE76(古)
SE68	G-10	円形	N-65° -W	2.10	1.95	[2.13]	SE83(古)
SE69	G-10	円形	N-0°	2.07	1.72	[1.40]	SE75・93(古)
SE70	G-10	楕円形	N-83° -E	2.23	1.77	[0.63]	
SE71	G-10	楕円形	N-84° -E	2.14	1.88	[0.94]	
SE72	G・H-9	楕円形	N-49° -E	2.61	2.20	[1.84]	
SE73	G-10	楕円形	N-70° -W	1.78	1.47	[0.70]	
SE74	G-10	円形	N-0°	2.02	1.78	[0.80]	SD44(新)
SE75	G-10	円形	N-0°	2.38	2.00	[2.15]	SE93(古) SD44・SE69(新)
SE76	G-10	不整形	N-23° -W	1.76	1.40	[1.30]	SK447・SE108(古) SE67(新)
SE77	H-9	楕円形	N-65° -W	[2.20]	[1.57]	[1.94]	SK451(古) SE61(新)
SE78	H-9・10	不整形	N-56° -W	2.20	1.70	[1.80]	SE96(古)

遺構名	グリッド	平面形	長軸方位	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	重複遺構
SE79	H-11	楕円形	N-90°	1.26	0.97	[2.00]	SD46・48(新)
SE80	G-10・11	楕円形	N-79° -W	1.45	1.05	[2.40]	SD46・48(新)
SE81	欠番						
SE83	G-10	楕円形	N-64° -E	[1.18]	1.10	[2.15]	SE68・SD44(新)
SE84	H-11・12	楕円形	N-0°	0.96	0.85	[0.94]	
SE85	欠番						
SE86	H-12	楕円形	N-64° -W	1.45	[0.85]	[1.10]	SD42(新)
SE87	F-8	楕円形	N-65° -E	2.09	1.45	[1.86]	SK115(古)
SE88	G-7	円形	N-0°	1.50	1.25	[1.34]	SK102(新)
SE89	H-9	楕円形	N-46° -E	1.15	[0.56]	[0.56]	SK451(古)
SE90	G-9	円形	N-90°	1.50	1.45	[1.60]	
SE91	H-12	楕円形	N-76° -E	1.35	1.20	[1.25]	SD43
SE92	欠番						SK451に変更
SE93	G-10	楕円形	N-55° -E	[1.32]	[0.70]	[2.05]	SE69・75(新)
SE94	H-9	楕円形	N-0°	1.85	1.53	[1.84]	SK149(新)
SE95	G・H-9	楕円形	N-61° -E	2.37	2.15	[1.73]	
SE96	H-9	楕円形	N-75° -E	1.54	[1.20]	[1.45]	SE78(新)
SE97	H-10	円形	N-84° -E	0.89	0.87	[1.34]	
SE101	H・I-11	楕円形	N-81° -W	0.98	0.95	[1.58]	
SE102	I-12	楕円形	N-60° -E	1.46	1.30	[0.79]	
SE104	I-12	楕円形	N-0°	1.00	0.75	[0.91]	
SE105	H-9	不整形	N-70° -W	[1.03]	[0.40]	[1.62]	
SE106	H-10	円形	N-28° -W	1.19	1.15	[1.64]	
SE107	H-10	楕円形	N-16° -W	2.35	2.05	[2.23]	
SE108	G-10	楕円形	N-45° -E	[0.90]	[0.54]	[1.70]	SK447・SE76(新) SD44
SE109	欠番						SE68に変更
SE110	H-12	楕円形	N-0°	1.75	1.43	[1.26]	SD42
SE111	H-10	楕円形	N-80° -E	1.24	1.08	[0.55]	
SE115	欠番						SK316に変更
SE116	L-18	円形	N-90°	1.14	0.96	[1.12]	SD71・73(古)
SE117	L-20	円形	N-14° -W	[1.80]	[1.95]	[0.46]	SD69(新)
SE118	M-20・21	楕円形	N-90°	3.50	2.20	[2.20]	SD80(新)
SE119	L・M-19	楕円形	N-66° -W	1.58	[0.79]	[0.60]	
SE122	D-11	円形	N-86° -E	1.62	1.61	[1.61]	
SE123	K・L-18	円形	N-90°	[1.30]	[0.55]	[0.75]	
SE124	L-22	円形	N-70° -W	[1.15]	[0.21]	[0.30]	SD82(古)
SE125	M-23	円形	N-81° -W	0.78	0.78	[0.70]	
SE126	M-23・24	円形	N-33° -W	0.98	0.87	[0.80]	
SE127	L・M-20	楕円形	N-12° -W	2.10	1.65	[0.32]	SD80・92
SE133	欠番						SK448に変更
SE134	欠番						SK452に変更
SE135	欠番						SK449に変更
SE136	欠番						SK453に変更
SE137	欠番						SK454に変更
SE138	欠番						
SE145	H・I-10・11	楕円形	N-3° -E	[1.91]	[1.64]	[1.17]	SD48・50(新)

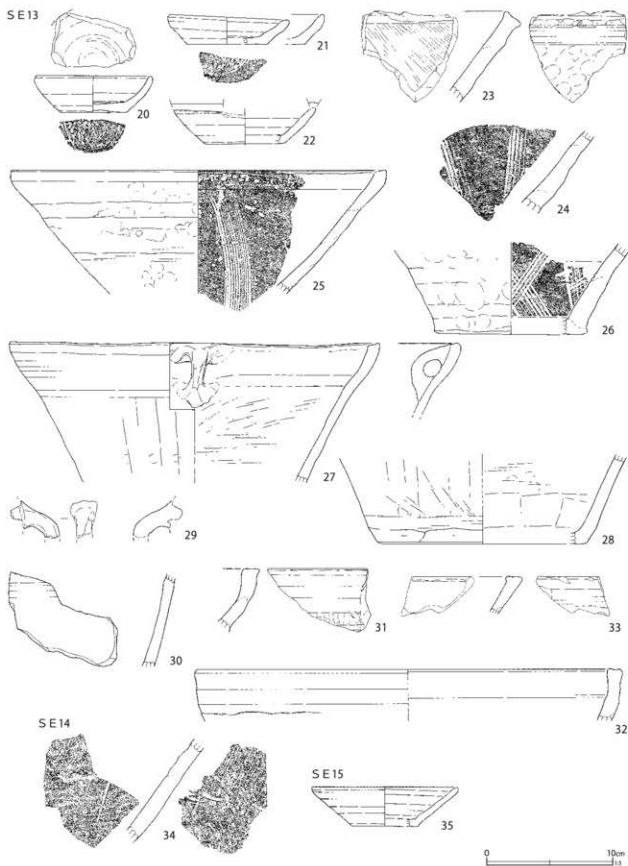
で、規模は、長軸1.91m、短軸1.67m、深さ1.77m以上である。第77号井戸跡と重複し、これを壊している。

出土遺物は、第135・142・146図に示した。92・93は焙烙である。94は常滑製陶器の片口鉢

である。内面は使用により磨耗する。外面には指頭圧痕が認められる。15世紀から16世紀の所産である。194は板碑の小破片である。銘文がわずかに認められるが、磨滅により判読できない部分もあった。207は安山岩製の石臼の上臼である。

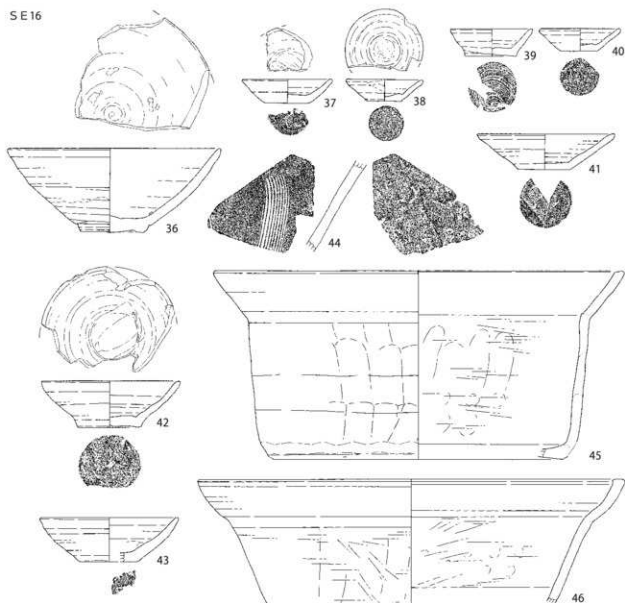


第129図 井戸跡出土遺物 (1)

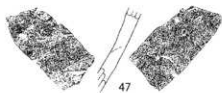


第130図 井戸跡出土遺物（2）

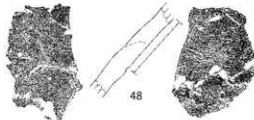
SE16



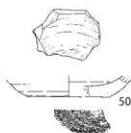
SE20



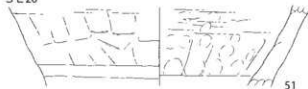
SE21



SE22

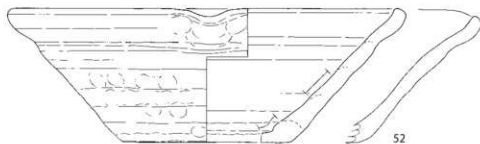


SE26



第131図 井戸跡出土遺物（3）

SE24



52



53

SE28



54

SE29



55

SE32



58



59



60

SE33



61

SE34



62



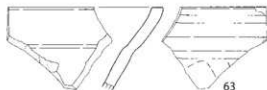
SE36



64



65



66



67



68

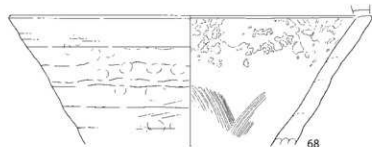
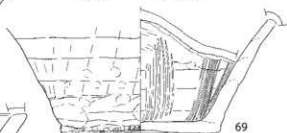
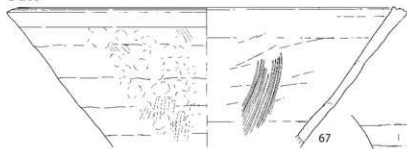


第132図 井戸跡出土遺物(4)

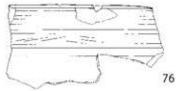
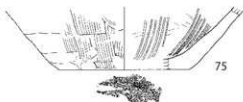
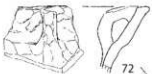
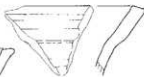
SE37



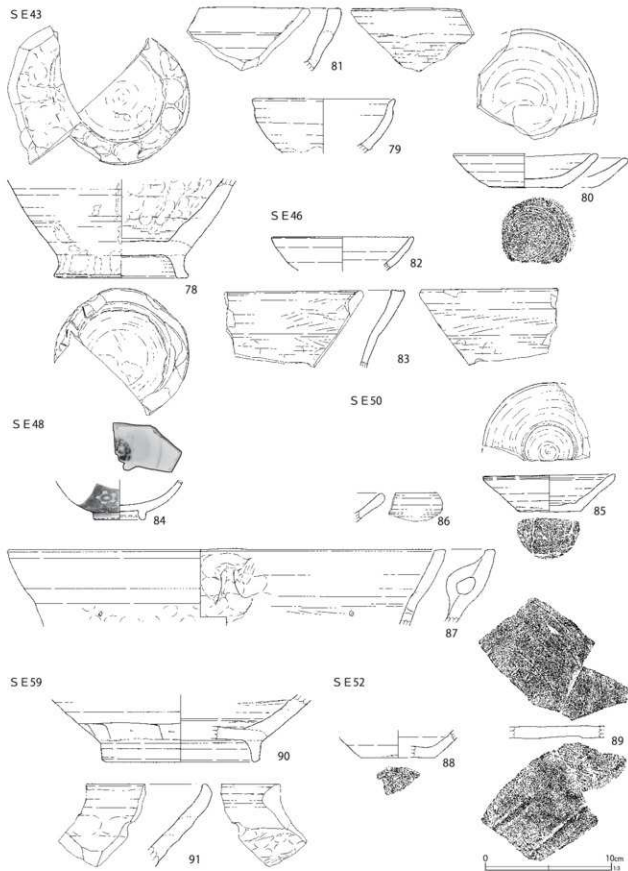
SE38



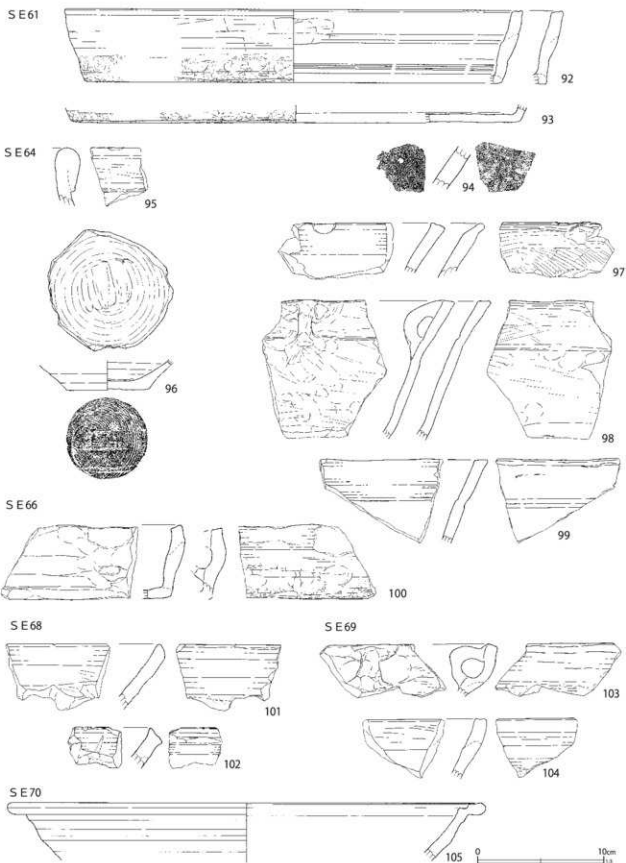
SE40



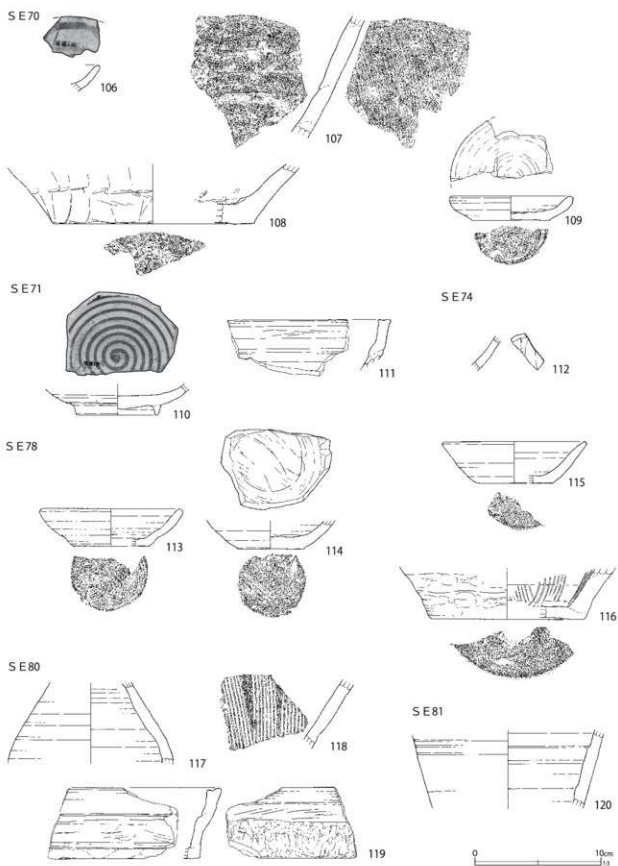
第133図 井戸跡出土遺物 (5)



第134図 井戸跡出土遺物(6)



第135図 井戸跡出土遺物（7）



第136図 井戸跡出土遺物（8）

SE84



121

SE94



122

SE95

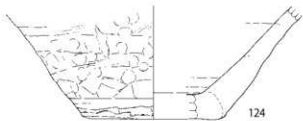


123

SE97



125



124



126

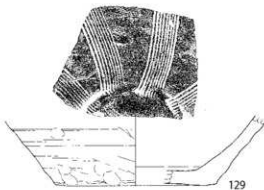


127

SE101



128



129



130



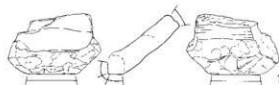
131



132



133



134



136



135

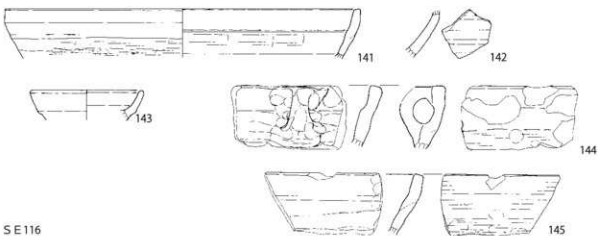
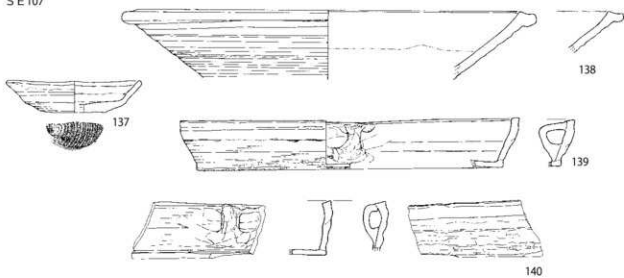


137

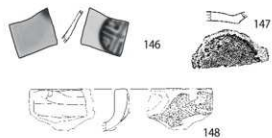


第137図 井戸跡出土遺物 (9)

SE107



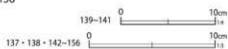
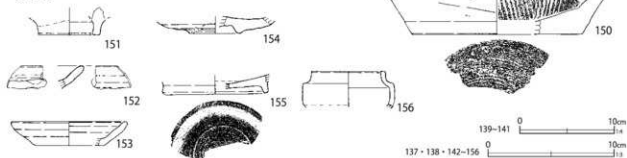
SE116



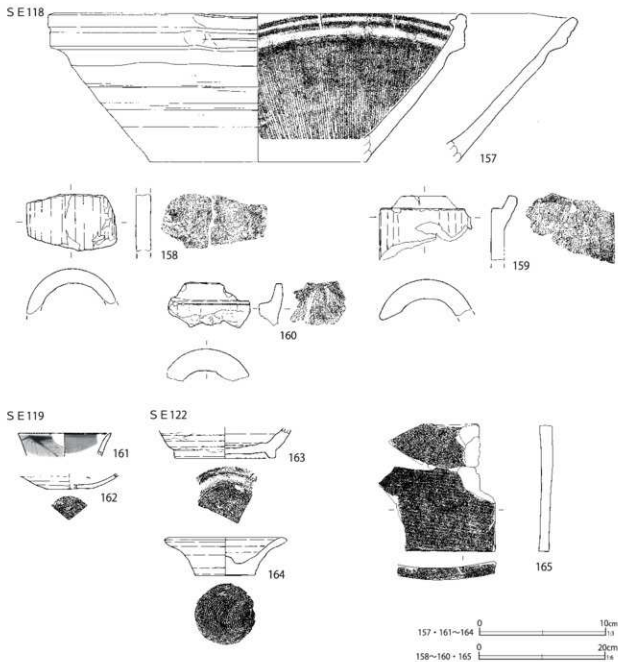
SE117



SE118



第138図 井戸跡出土遺物 (10)



第139図 井戸跡出土遺物 (11)

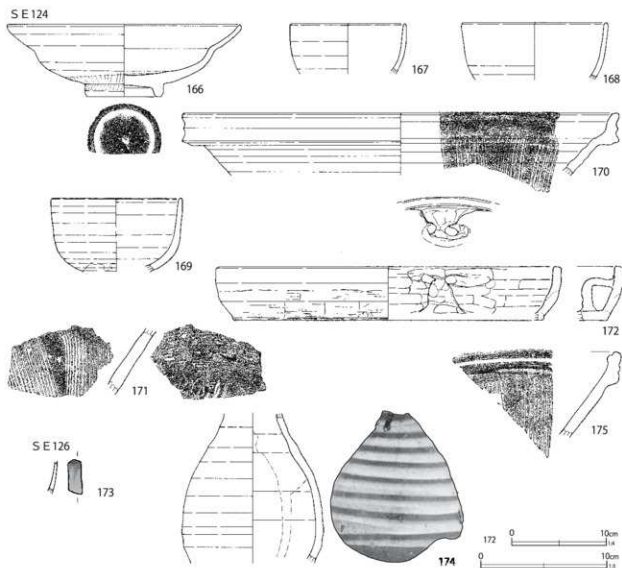
第64号井戸跡 (第119・135・142・144図)

E-7 グリッドに位置する。平面形態は、楕円形で、規模は、長軸1.37m、短軸1.17m、深さ1.88m以上である。

出土遺物は、第135・142・144図に示した。95は常滑の甕の口縁部である。96はかわらけである。底部は回転糸切で、板目状圧痕が認められる。97は瓦質土器の播鉢である。口縁部には片口部が遺存する。外面には刷毛目による調整を施す。98・

99は内耳鍋である。98は外面にわずかに煤が付着する。195・199は板碑である。195は頂部の破片である。碑面には杵線を施す。異体字キリク種子の一部が遺存する。199は完形の板碑である。側面調整を施す。蓮座を伴う、異体字キリク種子一尊を主尊とする。杵線・花瓶を刻む。「康永元年／十二／月八日」の銘文が認められる。

康永元年は、1342年に相当する。板碑は、いずれも覆土中層より出土した。199は碑面を下に向け



第140図 井戸跡出土遺物 (12)

た状態であった。

第68号井戸跡 (第120・135・145図)

G-10グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸2.10m、短軸1.95m、深さ2.13m以上である。第83号井戸跡と重複し、これを壊している。

出土遺物は、第135・145図に示した。101は瓦質土器の鉢である。硬質で、外面は黒化する。102は常滑の片口鉢である。200・201は板碑の破片である。200は頂部の破片である。杵線を施す。蓮座を伴う、異体字キリク種子一尊を主尊とする。光明真言が4行にわたって記される。201は小破片であり、キリク種子の一部と思われる彫

り込みが、わずかに認められる。

第71号井戸跡 (第121・136図)

G-10グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸2.14m、短軸1.88m、深さ0.94m以上である。

出土遺物は、第136図に示した。110は瀬戸美濃系陶器の皿である。内面に長石釉を施軸し、鉄絵を施す。111は焙烙である。外面には煤が付着する。

第74号井戸跡 (第122・136図)

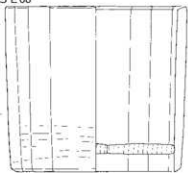
G-10グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸2.02m、短軸1.78m、深さ0.80m以上である。第44号溝跡と重複し、これに壊されている。

SE12

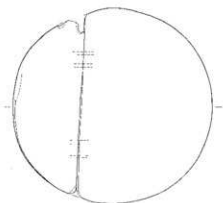


176

SE68



178



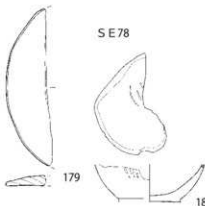
180

SE46



177

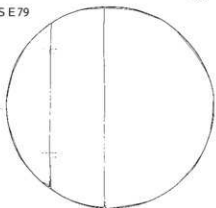
SE78



179

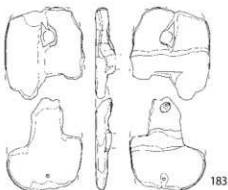
181

SE79



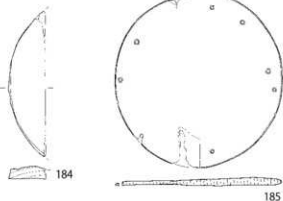
182

SE94



183

SE101



184

185



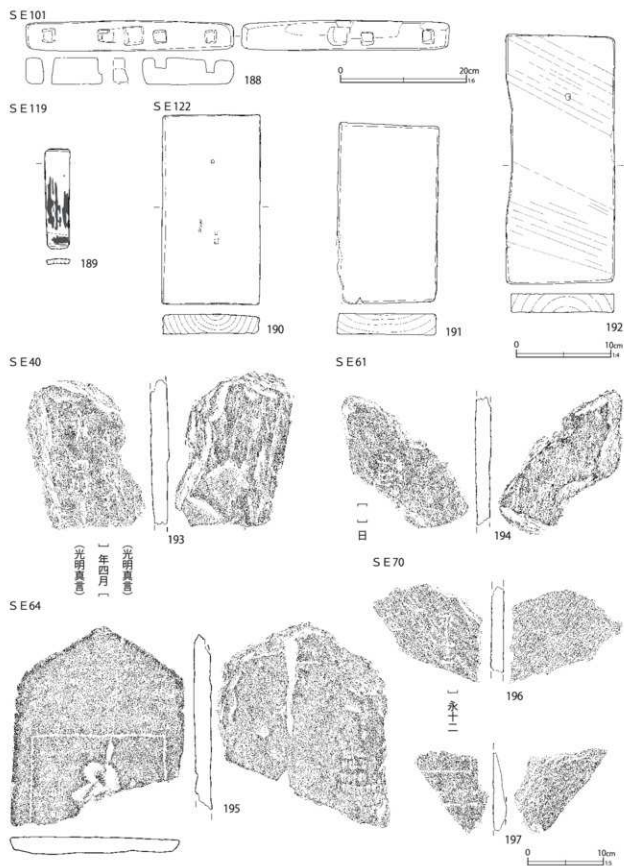
186



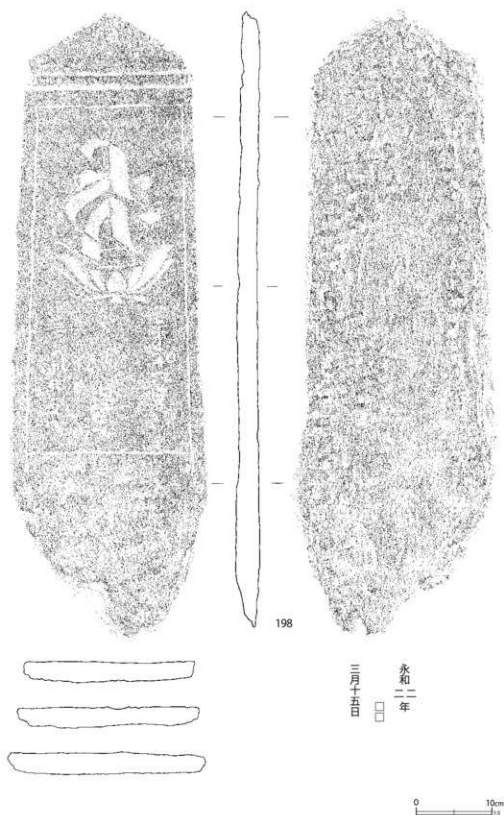
187



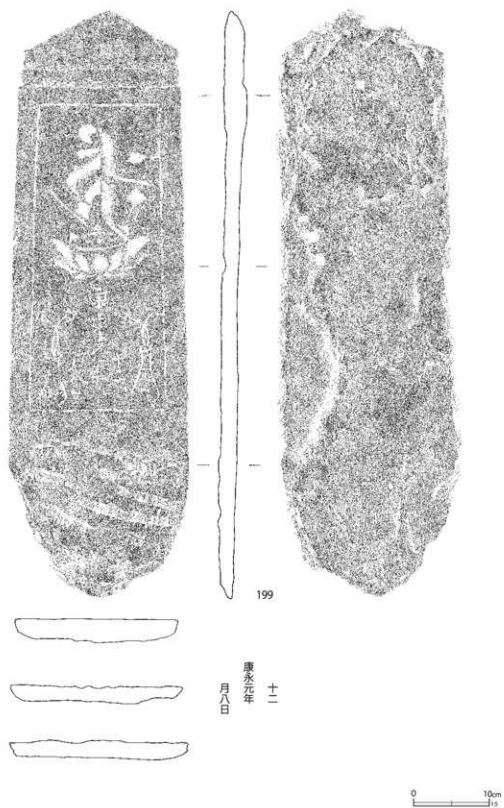
第141図 井戸跡出土遺物 (13)



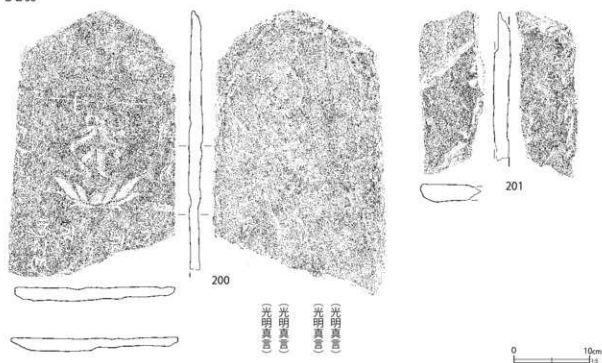
第142図 井戸跡出土遺物 (14)



第143図 井戸跡出土遺物 (15)



第144図 井戸跡出土遺物 (16)



第145図 井戸跡出土遺物 (17)

出土遺物は、第136図に示した。112は青磁の碗である。中国龍泉窯系の製品であり、内外面に青磁釉を施軸する。外面には蓮弁文が認められる。

第79号井戸跡 (第122・141図)

H-11グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.26m、短軸0.97m、深さ2.00m以上である。第46・48号溝跡と重複し、これに壊されている。

出土遺物は、第141図に示した。182は曲物の底板である。覆土下層より出土している。釣瓶として使用されていたものであろうか。

第84号井戸跡 (第123・137図)

H-11・12グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸0.96m、短軸0.85m、深さ0.94m以上である。

出土遺物は、第137図に示した。121は古瀬戸の平碗である。内外面に灰釉を施す。内面には目跡が認められる。後期様式の所産である。

第94号井戸跡 (第118・137・141図)

H-9グリッドに位置する。平面形態は楕円形

で、規模は、長軸1.85m、短軸1.53m、深さ1.84m以上である。第149号土壇と重複し、これに壊されている。

出土遺物は、第137・141図に示した。122は古瀬戸の折縁深皿である。内外面に灰釉を施す。漆継痕が認められる。後期様式の製品である。183は連歯下駄である。裏面に木釘孔が1つ認められる。184は桶の底板の一部である。

第95号井戸跡 (第124・137・148図)

G・H-9グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸2.37m、短軸2.15m、深さ1.73m以上である。

覆土中層の位置で、西側壁面に沿って竹籠が検出された。出土状況より、井戸枠として設置されていたものと考えられる。

出土遺物は、第137・148図に示した。123は常滑の甕である。外面には押印文が認められる。124は瓦質土器の鉢である。内面は使用により著しく磨耗する。213は鉄滓である。

第97号井戸跡 (第123・137図)

SE16



202

SE17



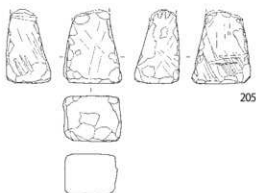
203

SE23



204

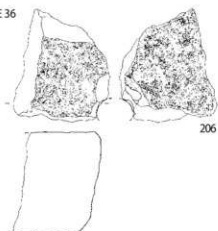
SE25



205

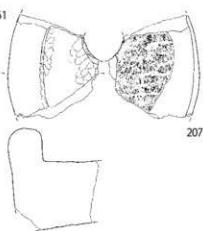


SE36



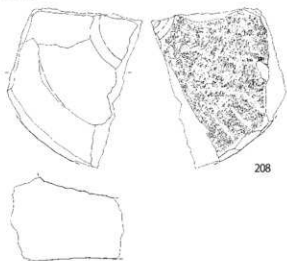
206

SE61



207

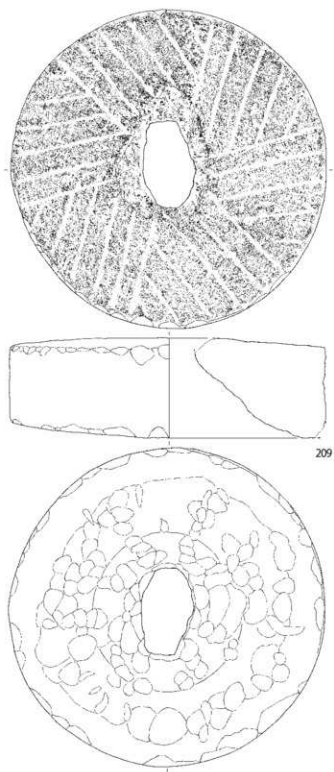
SE78



208



第146図 井戸跡出土遺物 (18)

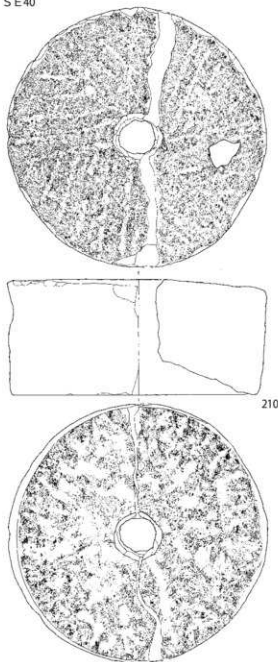


209

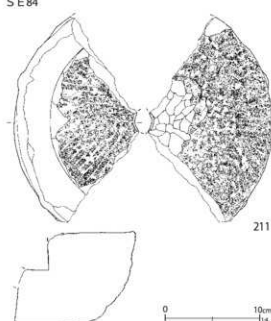
0 10cm
1/A

第147図 井戸跡出土遺物 (19)

SE 40



SE 84



SE 95



SE 126



SE 16



第148図 井戸跡出土遺物 (20)

H-10グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸0.89m、短軸0.87m、深さ1.34m以上である。

出土遺物は、第137図に示した。125は天目茶碗である。内外面に鉄軸を施軸する。17世紀前葉の所産である。126・127は焙烙である。126は覆土上層の、遺構の中央部周辺より出土した。

第101号井戸跡 (第124・137・141・142図)

H・I-11グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸0.98m、短軸0.95m、深さ1.58m以上である。

遺物は、覆土中層および、下層より出土した。中層では、板石状の緑泥片岩とともに、かわわけなどが出土した。緑泥片岩は、板石状に加工され

第12表 井戸跡出土遺物観察表 (第129～148図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
1	かわらけ	小皿	(6.5)	2.4	2.9	CI	60	普通	灰白	No.3 底部糸切痕(右) 板目状圧痕 内面・断面黒化	25-1
2	かわらけ	小皿	1.0	1.7	4.8	CHI	20	普通	灰白	底部糸切痕(右) 板目状圧痕	25-2
3	瓦質土器	擂鉢	-	[5.1]	-	EI	5	普通	灰白	No.2 内面擂目 外面ヘラナデ(刷毛目状) 焼す	
4	瓦質土器	釜	(14.0)	[9.0]	-	ADEI	15	普通	浅黄	内面ヘラナデ(刷毛目状) 焼す	
5	かわらけ	小皿	(10.2)	2.7	(6.0)	CHI	30	普通	にぶい黄橙	底部糸切痕 胎土砂質	25-3
6	瓦質土器	鉢	-	[4.5]	(13.6)	DE	5	不良	にぶい赤褐	No.5 やや酸化炎焼成 内面黒化	
7	瓦質土器	焙烙	36.0	6.2	32.2	CHK	65	普通	浅黄橙	No.3 底部シワ状痕 やや酸化炎焼成 外面一部煤付着	25-4
8	磁器	碗	-	[2.2]	-	I	5	良好	灰白	No.1 青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 外面 蓮弁文 13C中～14C前	
9	陶器	片口鉢	-	[2.0]	-	DHK	5	良好	灰白	山茶碗系	
10	陶器	片口鉢	(29.9)	[11.5]	-	DEG	30	良好	にぶい橙	常滑 内面ヘラ記号 降灰 膝継痕 片口鉢Ⅱ類・10型式15C後	
11	瓦質土器	内耳鍋	-	[4.8]	-	ACDE	5	普通	灰白	焼す	
12	陶器	甕	-	[3.8]	-	HK	5	良好	灰白	常滑 内外面降灰(自然釉状)	
13	陶器	壺類	-	[4.0]	-	I	5	良好	灰白	古瀬戸 外面灰釉 前期様式 13C四耳壺か	
14	陶器	天目茶碗	(10.8)	[5.1]	-	HK	15	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 17C前	
15	陶器	皿	(10.5)	[1.4]	-	II	10	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰釉(白濁)	
16	陶器	甕	-	[5.0]	-	AIK	5	良好	褐灰	常滑 内面ヨコナデ ヘラナデ	
17	かわらけ	小皿	(11.7)	[2.9]	-	CHI	10	普通	灰白	胎土砂質	
18	かわらけ	小皿	(8.5)	[2.6]	-	CHK	10	普通	灰白		
19	かわらけ	小皿	10.6	3.0	6.2	ACI	80	普通	にぶい黄橙	底部糸切痕 胎土粉質	
20	かわらけ	小皿	(9.0)	2.8	5.2	CHI	25	普通	にぶい橙	底部糸切痕(左) 胎土砂質	
21	かわらけ	小皿	(9.3)	2.4	(6.3)	CH	20	普通	にぶい黄橙	底部糸切痕 胎土砂質	
22	かわらけ	小皿	-	[2.8]	(6.1)	CHI	10	普通	橙	胎土砂質 口唇部二次使用	
23	陶器	片口鉢	-	[7.2]	-	EIK	5	普通	明赤褐	内面ヘラナデ(刷毛目状) 外面指頭痕	
24	瓦質土器	擂鉢	-	[6.5]	-	CEHI	5	普通	灰白	内面擂目 焼す	
25	瓦質土器	擂鉢	(29.5)	[9.8]	-	BHK	5	普通	灰	内面擂目 口唇部内面敲打 使用痕 焼す	
26	瓦質土器	擂鉢	-	[7.2]	(12.0)	C	10	普通	灰白	内面擂目 焼す	
27	瓦質土器	内耳鍋	(29.1)	[11.0]	-	EK	25	良好	灰白	外面一部煤付着 口縁部歪み大きい 焼す	
28	瓦質土器	内耳鍋	-	[7.1]	(16.5)	EIK	10	良好	灰白	外面煤付着 焼す	
29	瓦質土器	内耳鍋	-	[2.8]	-	CEI	5	普通	明赤褐	係かに煤付着 酸化炎焼成	
30	瓦質土器	内耳鍋	-	[7.4]	-	CEI	5	普通	明赤褐	外面煤付着 酸化炎焼成	
31	瓦質土器	焙烙	-	[5.0]	-	CEHI	5	普通	灰白	体部外面下位シワ状痕	
32	瓦質土器	焙烙	(33.2)	[4.2]	-	CI	10	普通	灰白	焼す	
33	瓦質土器	擂鉢	-	[3.0]	-	CEHI	5	普通	灰白	外面煤付着 焼す	
34	陶器	甕	-	[7.2]	-	DEK	5	良好	灰白	常滑 内外面ヘラナデ 内面上位ヨコユビナデ	
35	かわらけ	小皿	(11.4)	3.1	(5.3)	HI	40	良好	にぶい橙	底部糸切痕 胎土粉質	
36	陶器	平碗	(16.6)	6.6	5.0	DK	30	良好	灰白	No.2 古瀬戸 内外面灰釉 内面目跡2遺存 後期様式	25-5
37	かわらけ	小皿	(6.9)	1.9	(3.5)	CEG	25	普通	灰白	底部糸切痕(右) 胎土砂質	
38	かわらけ	小皿	5.9	1.8	2.8	ACHI	70	普通	にぶい橙	底部糸切痕(右) 胎土粉質	25-6
39	かわらけ	小皿	6.4	2.1	4.0	ABG	85	良好	にぶい橙	底部糸切痕(右) 口縁部煤付着	25-7
40	かわらけ	小皿	6.2	1.8	3.0	AR	80	普通	にぶい橙	底部糸切痕 中心を弱くナゲ 粉質	25-8
41	かわらけ	小皿	(10.8)	2.8	4.1	ACHI	60	普通	にぶい橙	底部糸切痕(右) 粉質 板目状圧痕	
42	かわらけ	小皿	(10.8)	3.7	4.9	CFH	55	普通	にぶい黄橙	底部糸切痕(右) 板目状圧痕	25-9
43	かわらけ	小皿	(10.8)	3.5	(4.7)	CEHI	40	普通	浅黄橙	底部糸切痕	
44	瓦質土器	擂鉢	-	[7.2]	-	ACEI	5	普通	灰黄	内面擂目 外面刷毛目状のヘラナデ 焼す	
45	瓦質土器	内耳鍋	(32.1)	14.9	(22.7)	ACHI	15	普通	にぶい黄橙	外面煤付着	
46	瓦質土器	内耳鍋	(33.3)	[9.9]	-	EI	20	良好	灰白	外面煤付着	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
47	陶器	甕	-	[6.7]	-	D1	5	良好	灰	常滑 外面ヘラナデ	
48	陶器	甕	-	[7.5]	-	DG1	5	良好	灰	常滑 外面ヘラナデ二次使用(砥具)	
49	かわらけ	小皿	(7.6)	1.8	-	CEH1	20	普通	橙	非ロクロ成形 胎土粉質	
50	かわらけ	小皿	-	[1.4]	(6.4)	EHK	10	普通	にぶい橙	底部糸切痕 胎土粉質	
51	陶器	甕	-	[6.3]	-	D1	5	良好	黄灰	常滑 内外面ヘラナデ内面指頭圧痕	
52	瓦質土器	鉢	(30.3)	10.6	(13.3)	BEH1	20	普通	にぶい橙	やや酸化炎焼成 内面使用面有底面は二次的に産ませる 燻す	
53	陶器	甕	-	[9.5]	-	EHL	5	良好	灰	常滑 外面降灰	
54	磁器	碗	-	[2.2]	(5.9)	K	10	良好	灰白	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 外面蓮弁文 13C中～14C前	
55	瓦質土器	鉢	-	[3.8]	-	ARDEH1	10	良好	灰白	底部静止糸切痕 二次使用 燻す	
56	陶器	平碗	-	[3.0]	5.3	EIK	20	普通	灰白	古瀬戸 灰釉 内面日跡2重存 後期様式	
57	瓦質土器	内耳鍋	-	[3.9]	-	ADH1	5	普通	灰白		
58	陶器	瓶類	-	[4.2]	-	I	5	良好	灰白	古瀬戸 外面灰釉 剣刺文 瓶子類か	
59	陶器	甕	-	[5.1]	-	DEH1	5	普通	浅黄橙	常滑 外面ヘラナデ 押印文	
60	陶器	瓶類か	-	[4.0]	-	K	5	良好	にぶい橙	胎土残質	
61	瓦質土器	内耳鍋	-	[3.2]	-	IK	5	良好	灰白		
62	瓦質土器	内耳鍋	(32.2)	[6.2]	-	EIK	10	良好	灰白	外面煤付着	
63	瓦質土器	内耳鍋	-	[6.6]	-	AEG	5	普通	灰白	外面煤付着	
64	瓦質土器	播鉢	-	[4.6]	-	CEH1	5	普通	灰白	燻す	
65	瓦質土器	内耳鍋	-	[5.4]	-	ACEGK	5	普通	灰白	外面煤付着	
66	瓦質土器	内耳鍋	(32.0)	[7.6]	-	EIH1	10	良好	灰白	外面煤付着	
67	瓦質土器	播鉢	(29.6)	[11.1]	-	EL	15	良好	灰白	内面指目 外面指頭圧痕顯著 刷毛目状調整痕	
68	瓦質土器	播鉢	(18.4)	[10.4]	-	CIJK	20	普通	灰白	口縁部二次使用 内面剥離顯著 燻す	
69	瓦質土器	播鉢	-	[9.9]	12.3	CDG	25	普通	灰黄	やや酸化炎焼成 底部煤付着 破損部二次使用	25-10
70	かわらけ	小皿	(11.0)	[2.0]	-	EH1	5	普通	褐灰	胎土粉質	
71	瓦質土器	内耳鍋	-	[5.3]	-	CHK	5	普通	灰白	燻す	
72	瓦質土器	内耳鍋	-	[5.2]	-	EIK	5	普通	灰白	燻す	
73	瓦質土器	内耳鍋	-	[5.5]	-	BGI	5	普通	灰白	燻す	
74	瓦質土器	内耳鍋	-	[7.1]	-	IK	10	良好	灰白	体部外面下位ケズリ 上位煤付着	
75	瓦質土器	播鉢	-	[5.0]	(10.2)	DEIK	5	良好	灰白		
76	瓦質土器	焙烙	(35.7)	6.3	(34.0)	CIH	15	普通	灰黄	底部シワ状痕 外面僅かに煤付着	
77	瓦質土器	焙烙	-	[6.1]	-	CEI	5	普通	灰	弱く燻す	25-11
78	陶器	四耳壺	-	[7.8]	(10.5)	D1	15	良好	灰白	古瀬戸 外面灰釉	
79	陶器	天目茶碗	(10.0)	[4.3]	-	EI	15	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄釉 大窯第4段階	
80	かわらけ	小皿	(11.2)	2.7	5.8	AGHI	50	普通	橙	底部糸切痕(右) 胎土砂質	25-12
81	瓦質土器	焙烙	-	[4.9]	-	OGHIK	5	良好	灰白	外面煤付着 燻す	
82	かわらけ	小皿	(11.1)	[2.7]	-	CHI	10	良好	灰白	胎土砂質	
83	瓦質土器	内耳鍋	-	[6.1]	-	I	5	良好	灰白	外面煤付着	
84	磁器	碗	-	[3.2]	(3.8)	-	15	良好	白	瀬戸美濃系 内外面施釉 型紙描給染付 19C後	
85	かわらけ	小皿	(10.2)	2.9	5.0	AG	40	普通	浅黄橙	底部糸切痕(右) 胎土粉質	25-13
86	かわらけ	小皿	-	[2.3]	-	ACH	5	普通	にぶい黄橙	胎土粉質	
87	瓦質土器	内耳鍋	(34.3)	[6.0]	-	CEH1	20	普通	にぶい黄橙	外面・断面の一部煤付着 補修孔あり	
88	かわらけ	小皿	-	[2.2]	(5.9)	CHI	10	普通	浅黄橙	底部糸切痕 胎土砂質	
89	瓦質土器	焙烙	-	[1.0]	-	CHI	5	普通	浅黄橙	底部シワ状痕	
90	陶器	片口鉢	-	[5.2]	(11.6)	DIK	10	良好	黄灰	常滑か 底部ヘラケズリ 付高台 内面降灰 重焼痕 小破片から図化	
91	瓦質土器	鉢	-	[6.5]	-	CHK	5	普通	灰	燻す	
92	瓦質土器	焙烙	(35.8)	5.8	(32.3)	CIH	20	普通	灰白	底部シワ状痕 燻す 外面上位煤付着 小破片から図化 極は前後する可能性あり	
93	瓦質土器	焙烙	-	[1.4]	(35.1)	CIH	15	普通	灰白	底部シワ状痕 板状圧痕	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
94	陶器	片口鉢	-	[3.5]	-	ACIK	5	良好	明赤褐色	常滑 内面使用による摩耗 外面指頭圧痕 15 ~16C	
95	陶器	甕	-	[4.6]	-	DE	5	良好	褐色	常滑	
96	かわらけ	小皿	-	[2.3]	6.5	HI	45	良好	にぶい黄褐色	底部糸切痕(右) 板目状圧痕 硬質	
97	瓦質土器	播鉢	-	[4.4]	-	CIK	5	良好	灰白	片口部遺存 外面刷毛目 燻す	
98	瓦質土器	内耳鍋	-	[21.0]	-	CEIK	15	普通	灰白	外面少量煤付着 燻す	
99	瓦質土器	内耳鍋	-	[6.6]	-	CI	5	普通	灰白	燻す	
100	瓦質土器	焙烙	-	5.9	-	CFHI	5	普通	灰白	底部シワ状痕 燻す	
101	瓦質土器	鉢	-	[5.2]	-	CEIK	5	良好	にぶい褐色	硬質 酸化炭素焼成 外面黒化	
102	陶器	片口鉢	-	[3.3]	-	DEG	5	普通	褐色	常滑 外面タテヘラケズリ	
103	瓦質土器	焙烙	-	[4.1]	-	CE	5	普通	にぶい褐色	外面煤付着 燻す	
104	瓦質土器	焙烙	-	[4.7]	-	CHI	5	普通	にぶい褐色	外面煤付着 燻す	
105	陶器	折縁深皿	(36.8)	[4.7]	-	E	5	普通	灰白	古瀬戸 内外面灰釉 漆継痕 後期様式 小破片 からの反転復元	
106	陶器	皿	-	[2.1]	-	H	5	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面長石釉 内面鉄絵(鉄絵志 野)	
107	陶器	甕	-	[9.7]	-	DI	5	良好	黄灰	常滑 内面ヨコナデ 外面ヘラナデ	
108	陶器	甕	-	[4.7]	(15.9)	DIK	10	良好	黄灰	常滑 砂目底 内面降灰(自然釉) 外面ヘラナ デ	
109	かわらけ	小皿	(9.4)	1.9	(6.0)	CHI	30	良好	にぶい黄褐色	底部糸切痕(左) 胎土砂質	
110	陶器	皿	-	[2.4]	6.4	DI	25	普通	灰白	瀬戸美濃系 内面長石釉鉄絵(志野)	
111	瓦質土器	焙烙	-	[4.0]	-	CHI	5	普通	灰白	外面煤付着	
112	磁器	碗	-	[2.7]	-	I	5	良好	灰	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 外面蓮弁 文	
113	かわらけ	小皿	(11.2)	4.1	(6.0)	CHI	60	普通	浅黄褐色	底部糸切痕	
114	かわらけ	小皿	-	[2.3]	5.3	CHI	35	普通	浅黄褐色	底部糸切痕(右) 板目状圧痕 砂質	
115	かわらけ	小皿	(11.1)	3.3	(6.2)	CEHI	20	普通	浅黄褐色	底部糸切痕 胎土砂質	
116	瓦質土器	播鉢	-	[4.1]	(12.2)	CHI	10	普通	にぶい黄褐色		
117	陶器	瓶類	-	[6.4]	-	D	15	良好	灰白	瀬戸美濃系 外面鉄絵	
118	陶器	播鉢	-	[5.2]	-	DEHI	5	普通	にぶい褐色	丹波系 内面描目	
119	瓦質土器	焙烙	-	5.6	-	CHI	5	普通	にぶい褐色	底部~体部下位シワ状痕 外面煤付着 燻す	
120	陶器	瓶子	-	[6.2]	-	DI	5	良好	灰白	古瀬戸 外面灰釉(剥離激しい) 前期様式 13C	
121	陶器	平碗	(15.9)	[5.6]	-	IK	20	普通	灰白	古瀬戸 後期様式 内外面灰釉 内面目跡	
122	陶器	折縁深皿	(38.0)	[6.0]	-	H	5	良好	灰白	古瀬戸 後期様式 内外面灰釉 漆継痕	
123	陶器	甕	-	[3.9]	-	IK	5	良好	黄灰	常滑 外面押印文	
124	瓦質土器	鉢	-	[9.0]	(11.2)	CHI	15	良好	にぶい褐色	底部ヘラケズリ 燻す 内面使用により摩耗激 しい	
125	陶器	天目茶碗	(10.4)	[4.6]	-	IK	15	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄絵 17C前	
126	瓦質土器	焙烙	(37.8)	6.1	(36.0)	CHI	15	良好	灰白	底部シワ状痕 燻す	
127	瓦質土器	焙烙	-	[3.5]	-	CI	5	普通	灰白	燻す	
128	陶器	御皿	-	[1.8]	(6.0)	DHI	20	良好	灰白	古瀬戸 後期様式 底部糸切痕 内外面に僅か に灰釉散る	
129	陶器	播鉢	-	[5.5]	(12.7)	EI	20	良好	灰白	古瀬戸 後期様式 底部糸切痕(右) 内外面筋 輪 描目摩耗あり 煤付着	
130	瓦質土器	鉢	-	[2.8]	-	DEI	5	普通	黄灰	燻す	26-1
131	瓦質土器	鉢	-	[2.5]	-	AEK	5	良好	灰白	燻す	
132	瓦質土器	鉢	-	[3.4]	-	CEI	5	普通	黄灰	破損後断面二次使用(砥具) 燻す	
133	瓦質土器	鉢	-	[3.9]	-	CDGI	5	良好	灰白	破損後断面二次使用(砥具) 燻す	
134	瓦質土器	鉢	-	[4.7]	-	CEEK	5	普通	灰白	摩耗 破損後断面二次使用(砥具) 燻す	
135	かわらけ	小皿	6.9	2.3	3.6	AHI	100	普通	にぶい黄褐色	底部糸切痕(右) 口縁部煤大量に付着	
136	瓦質土器	不明	-	[3.2]	-	EIK	5	良好	灰白	瓦器質 燻す	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
137	陶器	縁軸小皿	(10.4)	2.5	(5.2)	IK	50	良好	灰白	古瀬戸 後期様式 底部糸切痕(右) 口縁部縁軸	26-2
138	陶器	折縁大皿	(30.1)	(5.4)	-	IK	15	良好	灰白	古瀬戸 後期様式 内外面灰軸	
139	瓦質土器	焙烙	(35.6)	5.3	(32.3)	CH	15	普通	にぶい橙	底部シワ状痕	26-3
140	瓦質土器	焙烙	-	5.8	-	CHK	5	普通	にぶい橙	底部シワ状痕 燻す	
141	瓦質土器	焙烙	(37.2)	(5.3)	-	CHI	10	普通	灰白	外面少量煤付着	26-4
142	陶器	天目茶碗	-	(3.9)	-	H	5	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄軸 大室第4段階	
143	かわらけ	小皿	(8.7)	(2.3)	-	CHK	15	普通	浅黄橙	胎土砂質	26-5
144	瓦質土器	焙烙	-	(4.8)	-	CHK	5	普通	褐灰	外面煤付着	
145	瓦質土器	焙烙	-	(4.8)	-	AI	5	良好	にぶい黄橙	瀬戸美濃系 内外面灰軸・染付 19C初	26-6
146	磁器	碗	-	(3.8)	-	-	5	良好	白	瀬戸美濃系 内外面灰軸・染付 19C初	
147	かわらけ	小皿	-	(0.9)	-	CHI	5	普通	にぶい橙	底部糸切痕(右)	26-7
148	瓦質土器	十能	-	(4.9)	-	CHK	5	普通	灰白	外面・底部シワ状痕 燻す	
149	磁器	碗	(6.8)	(4.4)	-	HK	30	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰軸 外面染付 19C前	26-8
150	陶器	播鉢	-	(5.5)	(13.4)	K	20	良好	灰黄	瀬戸美濃系 底部糸切痕 内外面灰軸 煤付着 18C	
151	陶器	壺類か	-	(2.2)	(4.8)	I	5	普通	灰白	古瀬戸 外面灰軸 壺類か	26-9
152	陶器	内差皿	-	(1.9)	-	I	5	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰軸 大室期 16C後	
153	かわらけ	小皿	(9.2)	1.9	(5.4)	CEIK	20	良好	にぶい黄橙	底部糸切痕	26-10
154	陶器	皿	-	(1.3)	(4.0)	K	20	良好	明紫灰	肥前系 内外面灰軸 17C初	
155	陶器	鉢	-	(1.5)	(8.4)	I	30	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰軸 蛇の目状軸刺ぎ 18C	26-11
156	陶器	カンテラ	(5.8)	(2.9)	-	HK	20	良好	灰白	京都信楽系 内外面透明軸 19C前	
157	陶器	播鉢	(32.0)	11.7	(17.0)	IK	25	良好	赤	埴明石系 内面播目 18C前～中	26-12
158	瓦	丸瓦	長さ(9.1) 幅(14.2) 厚さ2.3 高さ(7.2)						灰白	下面ゴザメ 上面ヘラナゲ 煤付着 近世	
159	瓦	丸瓦	長さ(10.4) 幅(14.7) 厚さ3.0 高さ(6.5)						灰	下面ゴザメ 上面ヘラナゲ 近世	26-13
160	瓦	丸瓦	長さ(6.4) 幅(13.0) 厚さ3.5 高さ(4.6)						灰白	下面ゴザメ 上面ヘラナゲ 玉縁部 近世	
161	磁器	碗	(7.3)	(1.8)	-	K	15	良好	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰軸・染付	26-14
162	陶器	灯明皿	-	(1.2)	(3.6)	I	20	良好	黄灰	瀬戸美濃系 内外面縁軸 外面拭き取り 内面 重ね置き 18～19C前	
163	陶器	徳利	-	(2.4)	(7.9)	HK	20	良好	淡黄	瀬戸美濃系 灰軸 下位拭き取り 18C中～後	26-15
164	陶器	蓋	(8.8)	3.0	4.7	HK	70	良好	浅黄橙	瀬戸美濃系 底部糸切痕(右) 内面薄く灰軸か 18～19C	
165	瓦	平瓦	幅(15.9) 厚2.1 高(20.0)						灰白	近世 燻す	26-16
166	陶器	鉢	(18.4)	5.7	5.8	K	35	良好	灰白	肥前系 内面銅縁軸 蛇の目状軸刺ぎ 外面透明軸 17C後～18C前	
167	陶器	碗	(9.0)	(4.0)	-	IK	25	良好	灰白	肥前系 内外面灰軸	26-17
168	陶器	碗	(11.3)	(4.5)	-	I	20	良好	灰白	京都信楽系 内外面透明軸 18C中	
169	陶器	碗	(10.2)	(5.8)	-	IK	40	良好	灰白	肥前系 灰軸 内外面鉄軸 17C後	26-18
170	陶器	播鉢	(34.1)	(4.9)	-	IK	10	良好	灰黄	丹波系 内面播目 17C後～18C前	
171	陶器	播鉢	-	(5.3)	-	EK	5	良好	淡黄	瀬戸美濃系 内外面縁軸 内面播目 18C	26-19
172	瓦質土器	焙烙	(35.8)	5.7	(32.7)	CEIK	15	良好	灰白	底部シワ状痕 耳部を一部挟り二次加工 燻す	
173	磁器	碗	-	(2.6)	-	K	5	良好	灰白	内外面灰軸 外面染付 18C後	26-20
174	陶器	徳利	-	(11.8)	-	IK	25	良好	灰黄褐	肥前系 灰軸 刷毛目軸 17C中～18C前	
175	陶器	播鉢	-	(6.7)	-	DEIK	5	良好	明赤褐	埴明石系 内面播目 18C前～中	26-21
176	木製品	漆碗	口径13.4 器高(6.1)							内外面黒漆 内外面に赤漆で紋	
177	木製品	曲物底板転用	長さ(25.1) 幅(10.5) 厚さ0.9							外周に右側面釘穴	26-22
178	木製品	桶	口径(19.2) 底径(17.9) 高さ17.3							側板五枚 底板二枚一組 木組接合	
179	木製品	桶	長さ16.6 幅(4.3) 厚さ1.1							底ないし蓋	26-23
180	木製品	曲物	径21.0 厚さ1.4							底板 木釘残存	
181	木製品	漆碗	器高(4.0)							内外面黒漆 内外面に赤漆で文様	26-24
182	木製品	曲物	径21.9 厚さ0.9							底板	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
183	木製品	下駄	長さ(19.5) 幅(8.4) 高さ2.2							産直下駄 裏面木釘 孔1	
184	木製品	桶	径(20.0) 厚さ1.2							底板	
185	木製品	曲物	径18.40							№9 孔8	
186	木製品	桶	長さ32.6 幅6.7 厚さ1.4							側板 炭化有	
187	木製品	桶	長さ35.3 幅9.7 厚さ1.7							木釘残存 底板	
188	木製品	農具か	長さ4.8 幅32.9 厚さ4.2							№11 孔三か所貫通 二か所貫通せず	
189	木製品	桶	長さ10.5 幅2.7 厚さ0.4							桶側板 表・裏・上面に黒漆	
190	木製品	板	長さ20.0 幅10.4 厚さ2.1							№1 鉄釘5	
191	木製品	板	長さ19.1 幅10.5 厚さ2.2							№2	
192	木製品	板	長さ26.3 幅11.5 厚さ2.0							№3	
193	石製品	板碑	長さ[20.3] 幅[15.1] 厚さ2.3 重さ[1080.2]							光明真言あり	32-4
194	石製品	板碑	長さ[19.1] 幅[14.9] 厚さ2.1 重さ[680.4]								
195	石製品	板碑	長さ[26.9] 幅22.7 厚さ2.3 重さ[2420.0]							異体字キリク種子 杵線あり	32-5
196	石製品	板碑	長さ[14.0] 幅[15.7] 厚さ1.6 重さ[579.8]							花瓶あり	
197	石製品	板碑	長さ[11.7] 幅[12.3] 厚さ1.7 重さ[267.6]							杵線あり	
198	石製品	板碑	長さ83.0 幅26.3 厚さ3.2 重さ[12000.0]							異体字キリク種子 蓮座・杵線あり	32-2
199	石製品	板碑	長さ78.4 幅24.1 厚さ3.1 重さ9130.0							異体字キリク種子 蓮座・花瓶・杵線あり	32-3
200	石製品	板碑	長さ[38.0] 幅[22.4] 厚さ1.7 重さ[2610.0]							異体字キリク種子 光明真言・蓮座・杵線あり	32-6
201	石製品	板碑	長さ[21.8] 幅[8.5] 厚さ2.2 重さ[618.5]								
202	石製品	砥石	長さ[7.3] 幅3.4 厚さ1.4 重さ[35.7]							粘板岩 被熱(赤色) 刀物痕 砥面4	34-2
203	石製品	砥石	長さ[7.3] 幅3.6 厚さ2.0 重さ[70.5]							流紋岩(緑色) 欠損 刀物痕	34-2
204	石製品	砥石	長さ[4.7] 幅3.0 厚さ1.7 重さ[32.8]							流紋岩(緑色) 刀物痕 砥面4	34-2
205	石製品	砥石	長さ[5.8] 幅4.6 厚さ3.6 重さ[124.3]							流紋岩	34-2
206	石製品	石臼	長さ[12.0] 幅[10.3] 高さ10.7 重さ[1394.8]							安山岩 下白	
207	石製品	石臼	長さ[11.1] 幅[9.7] 高さ11.5 重さ[1212.4]							安山岩 上白	
208	石製品	石臼	長さ[16.9] 幅[14.3] 高さ[9.3] 重さ[2360.0]							安山岩 上白	
209	石製品	石臼	長さ33.9 幅33.6 高さ10.7 重さ15560.0							安山岩 下白	33-6
210	石製品	石臼	長さ27.4 幅27.5 高さ12.5 重さ13920.0							安山岩 下白	33-5
211	石製品	石臼	長さ[21.7] 幅[13.2] 高さ9.8 重さ[2338.4]							安山岩	
212	鉄製品	不明	長さ[6.7] 幅5.5 厚さ0.2 重さ8.1								34-3
213	鉄製品	鉄滓	長さ8.4 幅3.9 高さ1.9 重さ84.7								
214	銅製品	銭貨	径24.9 厚さ1.3 重さ2.9							永楽通寶 明 永楽6(1408)初鋳	34-3

るものの、板碑であることを示すような痕跡は認められなかった。

出土遺物は、第137・141・142図に示した。128は古瀬戸の鉦皿である。底部は回転糸切である。後期様式の製品である。129は古瀬戸の播鉢である。底部は回転糸切で、内外面に錆釉を施軸する。内面の播目は使用によって磨耗する。後期様式の製品である。130～134は瓦質土器の鉢である。132～134は、破損後、割れ口を砥具として二次使用した痕跡が認められる。135はかわかけである。口縁部に大量の煤が付着しており、灯明皿として繰り返し使用されたものと考えられる。

185は曲物の底板である。8ヶ所の孔が認められる。186は桶の側板、187は桶の底板である。側板は一部に炭化が認められる。底板には木釘が残存していた。188は器種不明の木製品であり、農具の可能性が考えられる。

第107号井戸跡(第125・138図)

H-10グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸2.35m、短軸2.05m、深さ2.23m以上である。

陶器や埴輪等の遺物は、覆土上層より出土し、中層からは木製品が出土した。製品だけでなく、竹片や木片、自然木などが多量に散らばっており、

これらの木片類は井戸枠であった可能性が考えられる。図示に耐える木製品は出土していない。

出土遺物は、第138図に示した。137は古瀬戸の緑釉小皿である。底部は回転糸切で、口縁部には緑釉を施軸する。後期様式の製品である。

138は古瀬戸の折縁大皿である。内外面に灰釉を施す。後期様式の製品である。142は天目茶碗である。内外面に鉄釉を施す。大窯第4段階の製品である。143はかわらけである。139～141、144・145は焙烙である。141・144には外面に煤が付着する。

第116号井戸跡 (第126・138図)

L-18グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸1.14m、短軸0.96m、深さ1.12m以上である。第71・73号溝跡と重複し、これを壊している。

検出面近くより、コの字に組まれた木枠が出土し、また、覆土の下層には竹が差し込まれた状態で出土した。木枠については井戸枠と考えられ、竹は、井戸を廃棄する際に埋置されたものの可能性がある。

出土遺物は、第138図に示した。146は瀬戸美濃系磁器の碗である。内外面に染付を施す。19世紀初頭の所産である。147はかわらけである。148は瓦質土器の土能である。

第117号井戸跡 (第126図)

L-20グリッドに位置する。西半部が調査区外に位置し、平面形態は円形と推察される。規模は、長軸1.80m、短軸1.95m、深さ0.46m以上である。出土遺物は、第138図に示した。149は瀬戸美濃系磁器の碗であり、外面に染付を施す。19世紀前葉の所産である。150は瀬戸美濃系陶器の播鉢である。底部には糸切痕が認められる。内外面に施軸する。一部に煤の付着が認められた。18世紀代の所産である。

第118号井戸跡 (第126・138・139・147図)

M-20・21グリッドに位置する。平面形態は楕

円形で、規模は、長軸3.50m、短軸2.20m、深さ2.20m以上である。宮東遺跡において検出された井戸跡の中では、比較的規模の大きなものである。第80号溝跡と重複し、これに壊されている。

逆台形の断面形態を呈す楕円形の掘り込みの底面にビット様の井筒の掘り込みを伴う、特徴的な形態を示すものである。

出土遺物は、第138・139・147図に示した。151は古瀬戸の壺類と想定される破片である。外面には灰釉を施軸する。152は瀬戸美濃系陶器の内売皿である。内外面に灰釉を施軸する。大窯期の製品であり、16世紀後半の所産である。153はかわらけである。154は肥前系陶器の皿である。内外面に灰釉を施軸する。17世紀初頭の所産である。155は瀬戸美濃系陶器の鉢である。内外面に灰釉を施軸し、底部は蛇の目状釉剥ぎである。18世紀代の所産である。156は京都信楽系陶器のカンテラである。内外面に透明釉を施軸する。19世紀前葉の所産である。157は境明石系の播鉢である。18世紀前葉から中葉の所産である。158～160は丸瓦である。いずれも近世の所産である。158には煤の付着が認められた。

209は安山岩製の石臼の下臼である。二次加工によるものか、軸孔が大きい。石臼は、井筒の掘り込みの下層より出土した。

第119号井戸跡 (第127・139・142図)

L・M-19グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.58m、短軸0.79m、深さ0.60m以上である。

覆土中層より板状の木材が数点出土しているが、遺存状態が悪く井戸に伴う施設の部材であるかどうかは確認できなかった。

出土遺物は、第139・142図に示した。161は瀬戸美濃系磁器の碗である。内外面に染付を施す。162は瀬戸美濃系陶器の灯明皿である。内外面に柿釉を施軸する。18世紀から19世紀前葉の所産である。189は桶の側板である。黒漆の痕跡が認め

られる。

第122号井戸跡 (第127・139・142図)

D-11グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸1.62m、短軸1.61m、深さ1.61m以上である。

覆土中層の位置より、2段の木組が検出された。木組は、板状の部材と、半月形に割られた部材から成る。井戸枠として設置されていたものと考えられる。

出土遺物は、第139・142図に示した。163は、瀬戸美濃系陶器の徳利である。底部の破片で、高台を有する。外面には灰釉を施軸する。18世紀中葉から後葉の所産である。164は瀬戸美濃系陶器の蓋である。底部には糸切痕が認められる。18世紀から19世紀代の所産である。165は平瓦である。近世の所産である。

190～192は、木製の板である。木枠を構成していたものである。190には、鉄釘が5点遺存していた。

第124号井戸跡 (第127・140図)

L-22グリッドに位置する。大部分が調査区外に位置する。平面形態は円形と想定され、規模は、長軸1.15m、短軸0.21m、深さ0.30m以上である。第82号溝跡と重複し、これを壊している。

出土遺物は、第140図に示した。166は肥前系陶器の鉢である。内面に銅緑釉、外面に透明釉を施軸する。高台部は蛇の目軸刺ぎである。17世紀後葉から18世紀前葉の所産である。167は肥前系陶器の碗である。内外面に灰釉を施軸する。168は京都信楽系陶器の碗である。内外面に透明釉を施軸する。18世紀中葉の所産である。169は肥前系陶器の碗である。内外面に灰釉を施軸し、外面には鉄絵を施す。17世紀後葉の所産である。170は丹波系播鉢である。17世紀後葉から18世紀前葉の所産である。171は瀬戸美濃系の播鉢である。内外面に柿釉を施軸する。18世紀代の所産である。172は焙烙である。耳部の一部を抉り二次加工し

ている。

第125号井戸跡 (第128図)

M-23グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸0.78m、短軸0.78m、深さ0.70m以上である。検出面からほぼ垂直に彫り込まれており、他の井戸跡とは形態を異にする。

第126号井戸跡 (第128・140・148図)

M-23・24グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸0.98m、短軸0.87m、深さ0.80m以上である。第125号井戸跡と似た形態を示す。

出土遺物は、第140・148図に示した。173は、磁器の碗である。内外面に染付を施す。18世紀後葉の所産である。174は肥前系陶器の徳利である。外面に灰釉を施軸する。17世紀中葉から18世紀前葉の所産である。175は、境明石系の播鉢である。18世紀前葉から中葉の所産である。212は棒状の鉄製品であるが、器種は不明である。

第127号井戸跡 (第128図)

L・M-20グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸2.10m、短軸1.65m、深さ0.32m以上である。

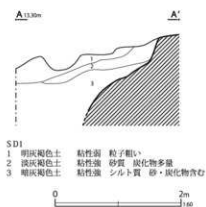
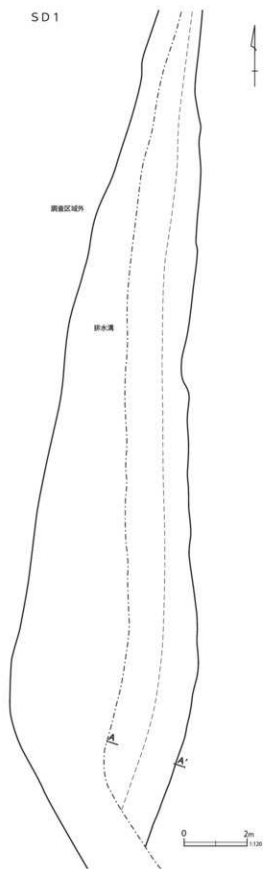
(3) 溝跡

溝跡は全部で、73条検出された。多くが、調査区を南北に縦断する、直線の溝跡である。第18号溝跡および、第42号溝跡はL・逆L字状を呈し、方形を意識した区画溝の可能性が高い。また、第73・74号溝跡からは、多量の近世遺物が出土した。

個別の溝跡については、第13表に示し、特徴的なものについて以下に取り上げることとする。

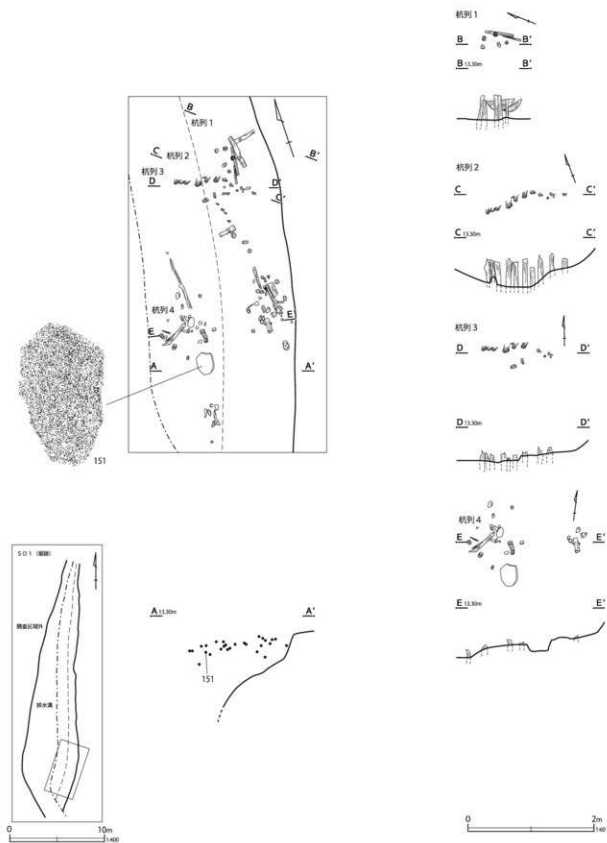
第1号溝跡 (第149・150・174・183・184図)

B～E-3グリッドに位置する。南北方向に走る直線の溝跡である。溝跡の両端部および西側の立ち上がりは調査区外に位置する。規模は、遺存値で、検出全長26.10m、幅0.85～2.30m、深さ1.15mである・走行方位はN-5°-Eを示す。断面形態は不明である。第15号溝跡と重複し、これを壊している。



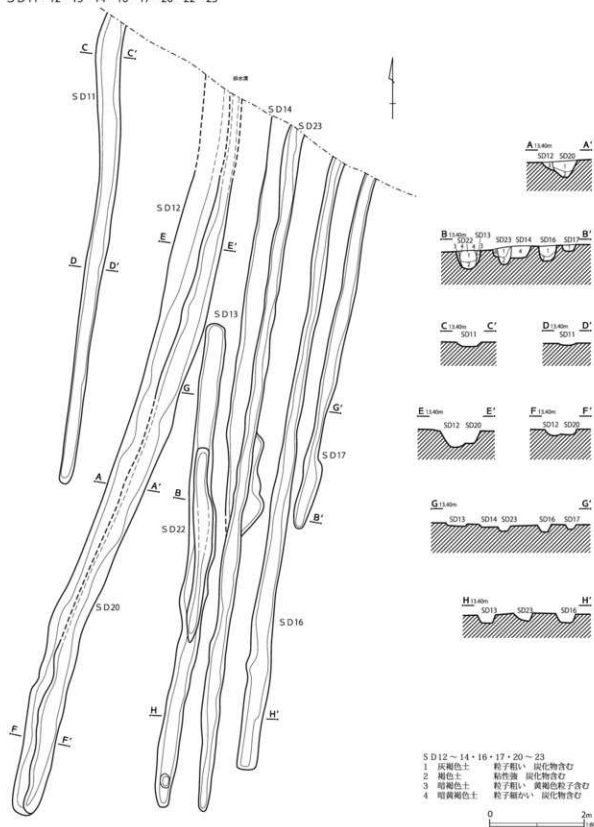
第149図 溝跡(1)

SD1



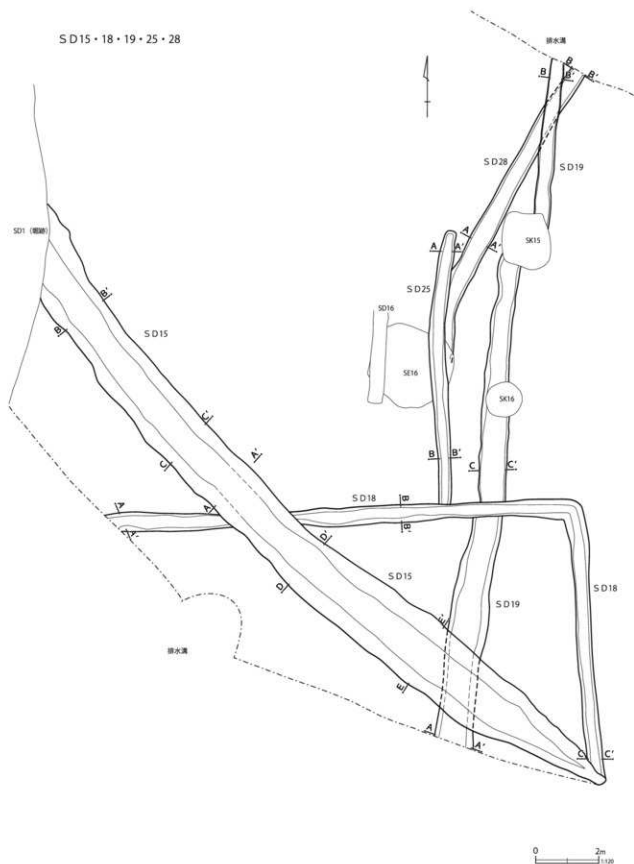
第150図 溝跡 (2)

SD11・12・13・14・16・17・20・22・23



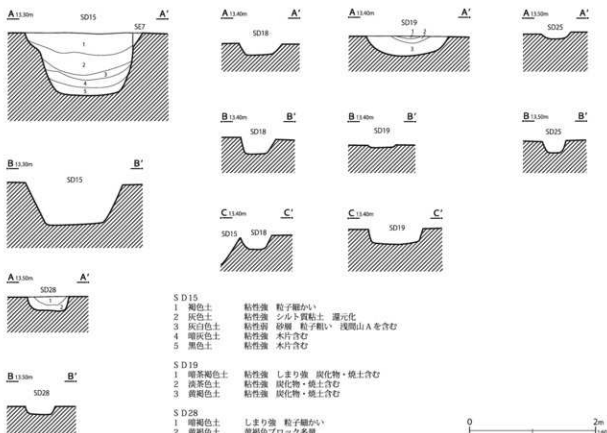
第151図 溝跡(3)

SD15・18・19・25・28



第152図 溝跡 (4)

SD15・18・19・25・28



第153図 溝跡 (5)

溝跡の南側、立ち上がり周辺部より、杭列が4列検出され、周辺より遺物が出土した。杭列の向きはまばらである。性格は不明ながら、溝跡に伴う杭列であったものと判断した。

出土遺物は、第174図に示した。1は磁器碗である。中国景德鎮窯系の製品で内外面に染付を施す。15世紀後葉から16世紀前葉の所産である。2は古瀬戸の緑釉小皿である。内外面に灰釉を施釉する。後期様式の製品であり、15世紀前葉の所産である。

3は陶器の行平鍋の蓋である。内外面に柿釉を施釉する。外面にはトビガンナ状工具により施文する。19世紀中葉から後葉の所産である。149・150は杭である。南側の杭列をなしていたものの一部である。いずれも建築材を転用したもので、149の側面には釘穴が2カ所確認された。151は板碑である。杭列4周辺より出土した。基部の破片

である。碑面は磨滅しており、枠線の一部と、光明遍照偈の一部、「八月日」の銘文を確認することができるのみである。

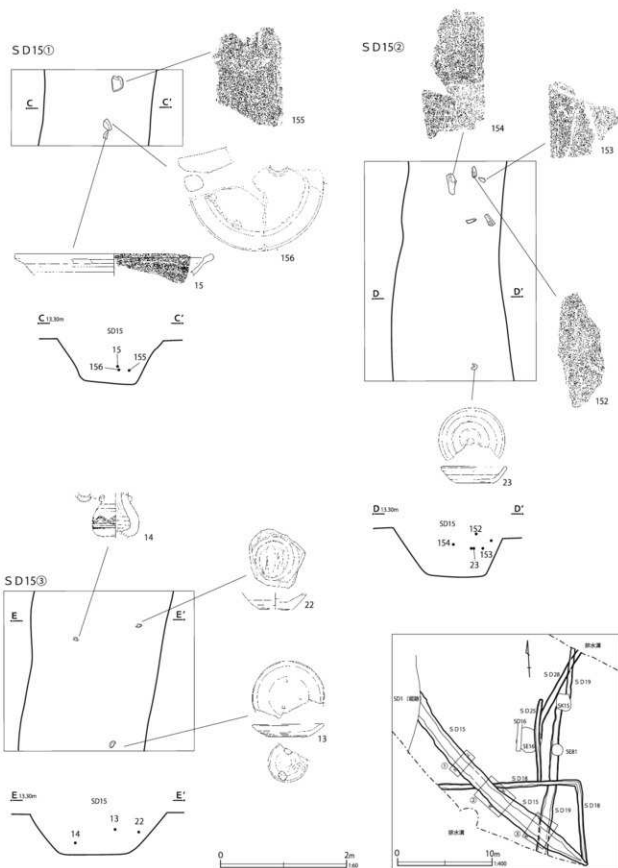
第11号溝跡 (第151図)

C・D-4グリッドに位置する。直線に走る溝であり、北側端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長9.88m、幅0.27～0.52m、深さ0.04～0.09mである。走行方位はN-6°-Eを示す。断面形態は皿形である。

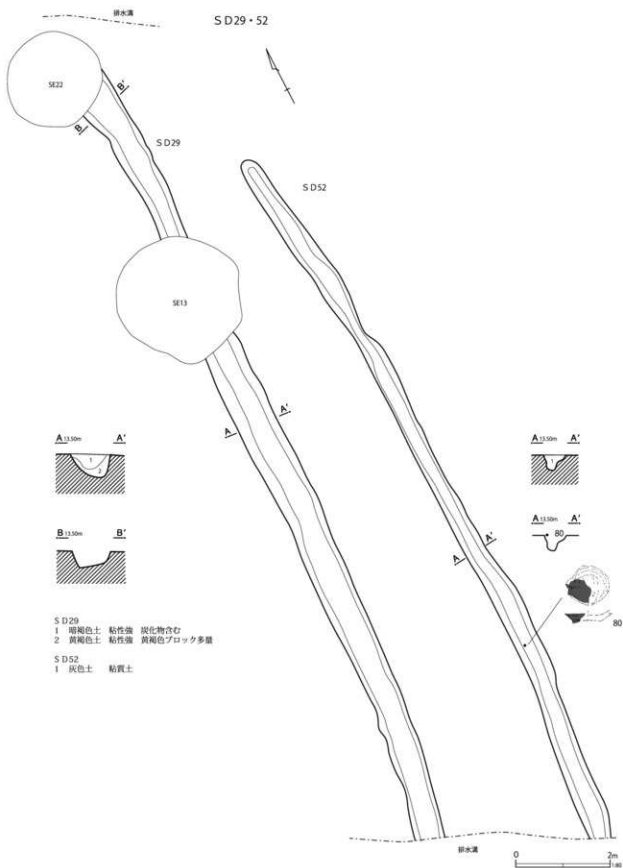
第15号溝跡

(第152～154・174・175・184・185図)

D・E-3、E・F-4、F-5グリッドに位置する。直線に走る溝であり、北西側の端部は重複遺構によって壊されている。規模は、遺存値で、検出全長25.69m、幅1.45～2.16m、深さ0.66～0.95mである。走行方位はN-40°-Wを示す。断面形態は、逆台形を呈する。第18・19号溝跡、

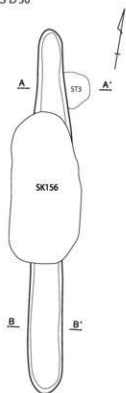


第154図 溝跡 (6)



第155図 溝跡(7)

SD30



A 12.30m A'



B 13.30m B'



SD30

1 青灰色土 粘性強 焼土含む

SD44

1 黄褐色土 粘性強 炭化物含む
2 黄褐色土 粘性強 黄褐色ブロック多量

SD44



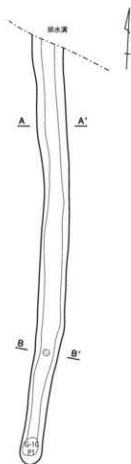
A 13.10m A'



B 13.10m B'



SD45



A 12.90m A'

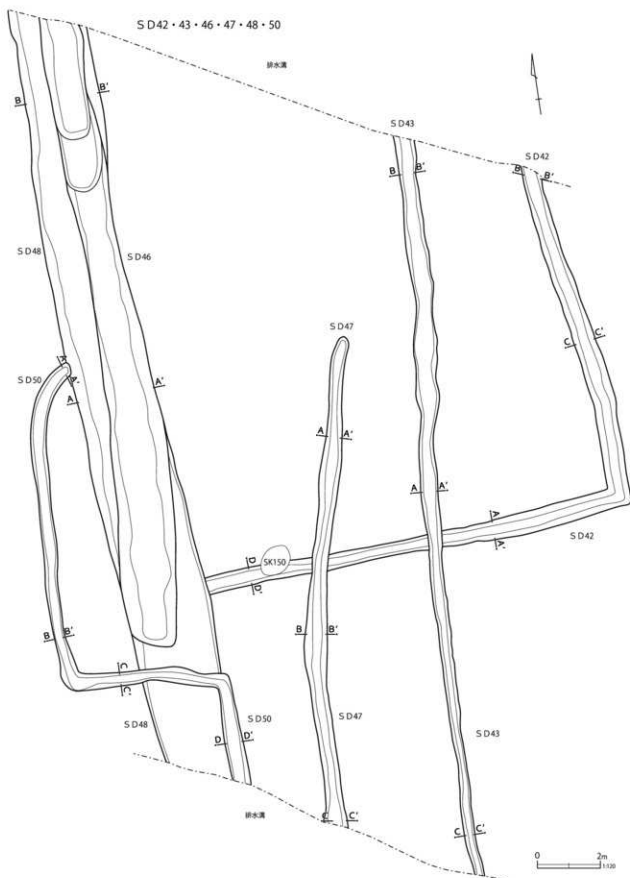


B 12.90m B'

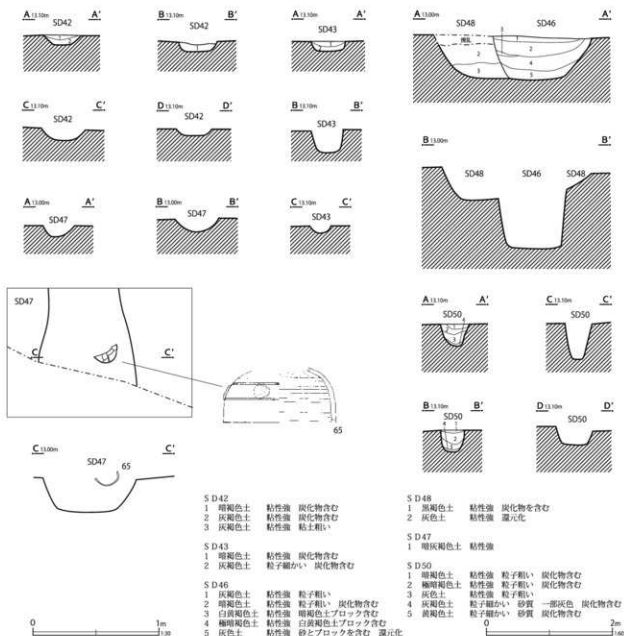


0 2m 1:40

第156図 溝跡 (8)



第157図 溝跡(9)



第158図 溝跡 (10)

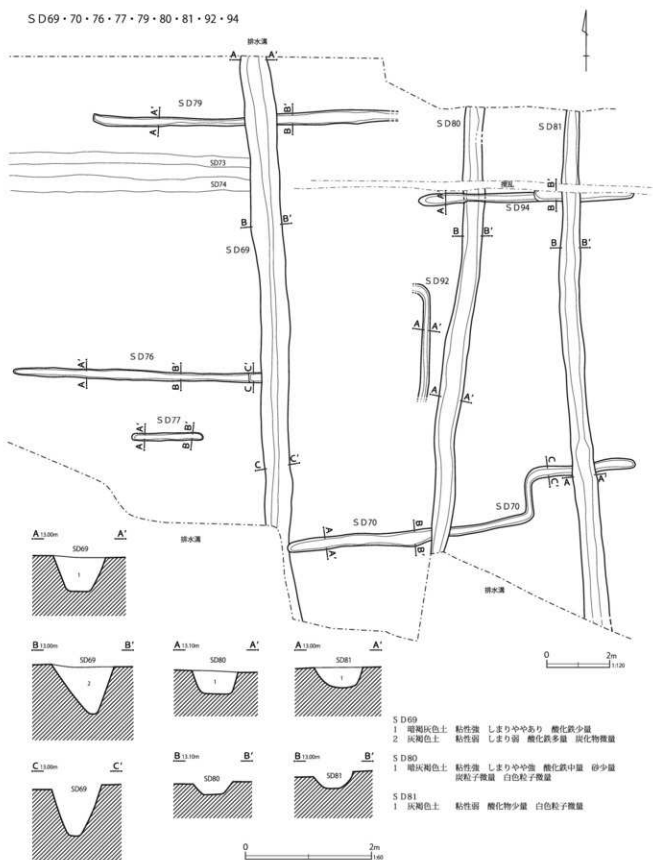
第2・7・37号井戸跡と重複し、これを壊している。第1号溝跡と重複し、これに壊されている。

出土遺物は、第174・175・184・185図に示した。6は白磁の碗である。中国南部系の製品で、内外面に施釉する。11世紀から12世紀の所産である。7～9は青磁である。いずれも中国龍泉窯系の製品であり、内外面に青磁釉を施釉する。7は碗であり、14世紀代の所産と考えられる。8も碗であり、14世紀から15世紀代の所産である。

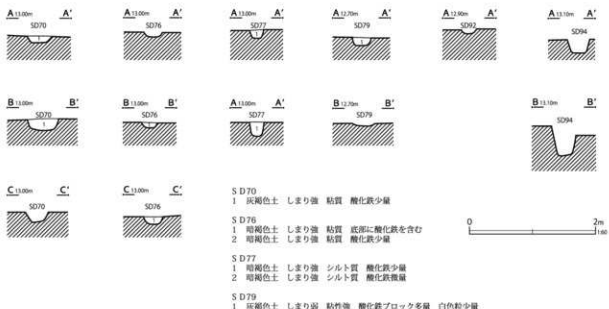
9は桜花皿であり、内面に施文する。断面が被熱により黒化している。14世紀後葉から15世紀前葉の所産である。

10は古瀬戸の盤である。内外面に灰釉を刷毛塗によって施釉する。後期様式の製品であり、14世紀後葉から15世紀前葉の所産である。11は天目茶碗である。内外面に鉄釉を施釉する。大窯段階の製品であり、16世紀後葉の所産である。12は瀬戸美濃系陶器の端反皿である。内外面に灰釉を施釉

SD69・70・76・77・79・80・81・92・94



第159図 溝跡(11)



第160図 溝跡 (12)

する。大窯段階の製品であり、15世紀末から16世紀前葉の所産である。

13は瀬戸美濃系陶器の皿である。いわゆる志野丸皿であり、内外面に長石釉を施軸する。17世紀初頭の所産である。14は古瀬戸の花皿である。外面にヘラ彫り施文し、鉄釉を施軸する。中期様式の製品であり、14世紀前葉の所産である。15は瀬戸美濃系陶器の描鉢であり、内外面に錆釉を施軸する。大窯段階の製品であり、16世紀後葉の所産である。

17は常滑の甕の破片である。断面および、表裏面に砥具として二次使用した痕跡が認められる。17は瓦質土器の描鉢である。

151～155は板碑の破片である。152は碑面に彫り込みは認められないが、裏面には押創痕が遺存し、板碑であると判断できた。153は杵線と、種子の一部が確認できる。種子は、月輪と蓮座を伴う。キリク種子の脇持であるサあるいはサク種子と想定され、主尊はキリク三尊種子であったものと考えられる。裏面には、押創痕が遺存する。154は杵線と、銘文の一部が確認できる。紀年銘

は「正月七日ノ口（應力）永十八年」と判読できる。十八年の部分からも、応永の可能性が高いものであろう。

155は杵線、種子、光明真言、銘文の一部が確認できる。種子は蓮座を伴い、キリク種子の脇持であるサ種子と想定される。主尊は、キリク三尊種子であったものと考えられる。銘文は「十ノ正和[]」と判読できる。正和は、1312～1317年に相当する。

156・157は安山岩製の石臼である。

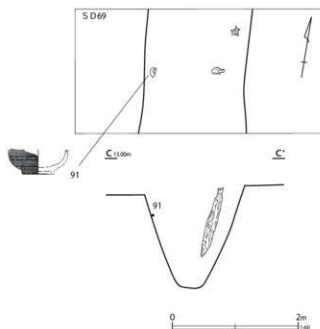
第16号溝跡 (第151・175図)

D-4 グリッドに位置する。直線に走る溝であり、北側端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長13.03m、幅0.23～0.54m、深さ0.10～0.20mである。走行方位はN-10°-Eを示す。断面形態は逆台形を呈する。第4・16号井戸跡と重複し、これを壊している。

出土遺物は、第175図に示した。26は瀬戸美濃系陶器の茶碗である。内外面に鉄釉を施軸する。16世紀末葉から17世紀前葉の所産である。

第17号溝跡 (第151・175図)

SD69 遺物分布



第161図 溝跡 (13)

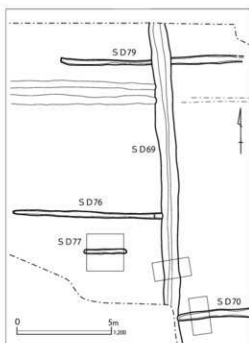
D-4グリッドに位置する。直線に走る溝であり、北側端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長7.45m、幅0.18～0.41m、深さ0.03～0.10mである。走行方位はN-12°-Eを示す。断面形態は、逆台形を呈する。

出土遺物は、第175図に示した。27は陶器の瓶類である。外面に鉄軸を施軸する。17世紀前葉の所産である。

第18号溝跡 (第152・153・175・185図)

E-3～5、F-5グリッドに位置する。逆L字状に走る溝であり、両端部は、調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長23.28m、幅0.37～0.66m、深さ0.20～0.24mである。走行方位は南北方向でN-2°-W、東西方向でN-89°-Wを示す。断面形態は、逆台形を呈する。第19・25・39・40・44号溝跡と重複し、これを壊している。第15号溝跡と重複し、これに壊されている。第36号土壌と重複するが、新旧関係は不明である。

出土遺物は、第175・185図に示した。28は古瀬戸の播鉢形小鉢である。内面上部に鉄軸を施軸す



る。後期様式の製品であり、15世紀代の所産である。29は瀬戸美濃系磁器の坏である。19世紀後葉の所産である。30は肥前系磁器の坏である。18世紀代の所産である。158は砥石である。4面に使用の痕跡が認められる。

第30号溝跡 (第156・175図)

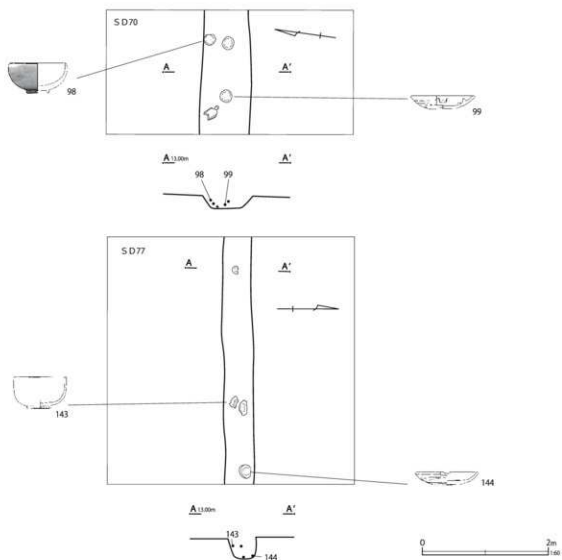
H-13グリッドに位置する。ごく短い、直線に走る溝であり、規模は、全長5.77m、幅0.38～0.55m、深さ0.17～0.21mである。走行方位はN-5°-Eを示す。断面形態は、逆台形を呈する。第3号墓跡と重複し、これを壊している。第156号土壌と重複し、これに壊されている。第54号井戸跡と重複するが、新旧関係は不明である。

出土遺物は、第175図に示した。33は瓦質土器の火鉢である。外面にスタンプ文を施文する。外面下端には、煤が付着する。18世紀後半から19世紀代の所産である。34も同じく火鉢である。外面にトビガンナ状工具で施文する。19世紀代の所産である。

第42号溝跡 (第157・158・176図)

G・H-12、H-11グリッドに位置する。逆L

SD70・77 遺物分布



第162図 溝跡 (14)

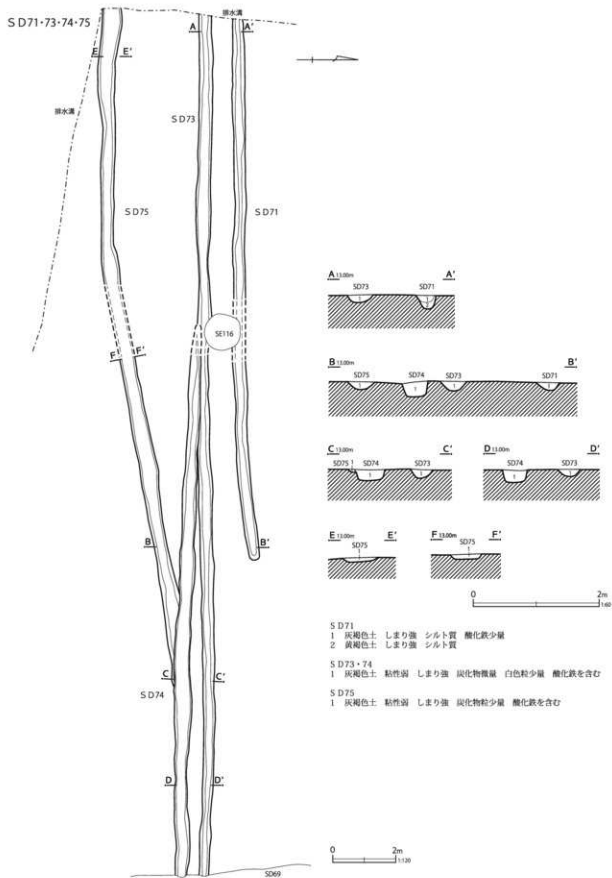
字状に走る溝であり、北側端部は調査区外へと延びる。西側端部は重複遺構によって壊されている。規模は、遺存値で、検出全長24.53m、幅0.41～0.75m、深さ0.10～0.21mである。走行方位は南北方向 $N-12^{\circ}-W$ 、東西方向 $N-86^{\circ}-W$ を示す。断面形態は、逆台形を呈する。

第86号井戸跡と重複し、これを壊している。第43・47・48号溝跡、第150土壇と重複し、これを壊している。第110号井戸跡と重複するが新旧関係は不明である。

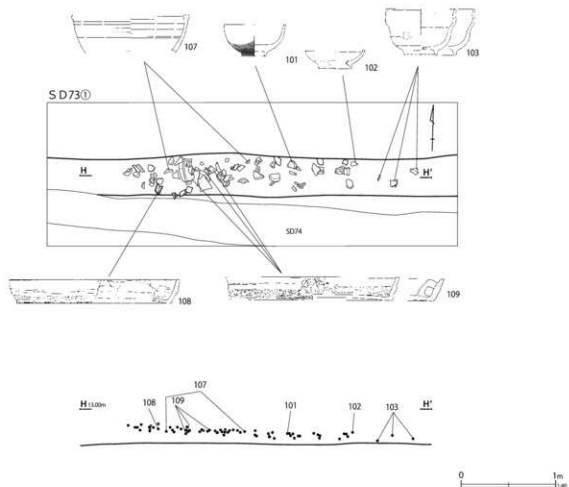
第43号溝跡 (第157・158・176図)

G・H・I-12、H・I-11グリッドに位置する。直線に走る溝であり、両端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長23.80m、幅0.25～0.76m、深さ0.11～0.36mである。走行方位は $N-4^{\circ}-E$ を示す。断面形態は、逆台形・U字形を呈する。第42号溝跡、第58号井戸跡と重複し、これを壊している。第91号井戸跡と重複するが、新旧関係は不明である。

出土遺物は、第176図に示した。38は天目茶碗である。内外面に鉄釉を施釉する。大窯段階の製品であり、16世紀後葉の所産である。39は瀬戸



第163図 溝跡 (15)



第164図 溝跡 (16)

美濃系陶器の碗である。内外面に灰釉を施釉する。17世紀前葉の所産である。40は瀬戸美濃系陶器の坏である。内外面に灰釉を施釉する。18世紀代の所産である。

第45号溝跡 (第156・176図)

G・F-10グリッドに位置する。直線に走る溝で、北側端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長6.80m、幅0.30～0.50m、深さ0.25～0.47mである。走行方位はN-1°-Eを示す。断面形態は碗形を呈する。G-10グリッドビット1と重複するが、新旧関係は不明である。

出土遺物は、第176図に示した。41は天目茶碗である。内外面に鉄釉を施釉する。17世紀後葉の所産である。42は古瀬戸の描鉢である。内外面に

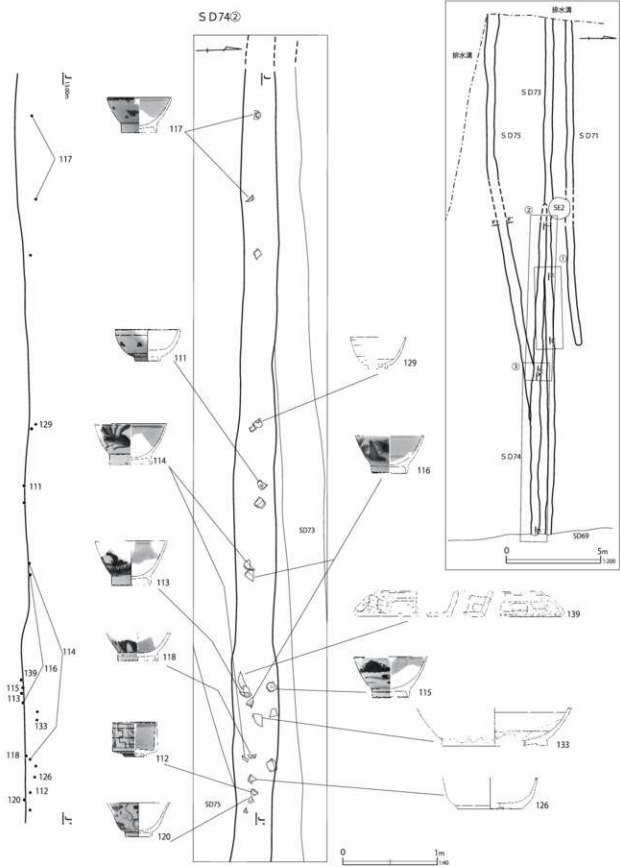
錆釉を施釉する。後期様式の製品であり、15世紀代の所産である。

第46号溝跡 (第157・158・176図)

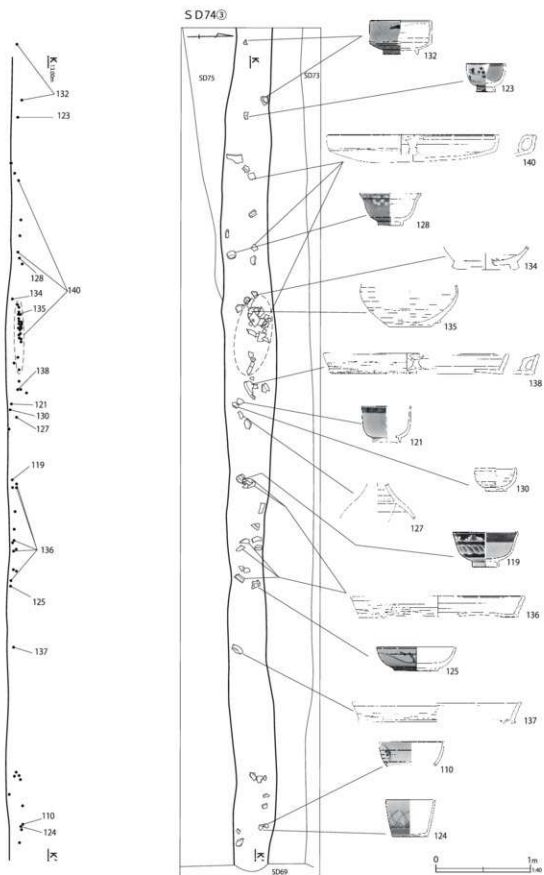
F～H-10・11グリッドに位置する。直線に走る溝であり、北側端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長20.09m、幅1.12～1.84m、深さ0.39～1.28mである。走行方位はN-1°-Wを示す。断面形態は、逆台形を呈する。第48号溝跡、第79・80号井戸跡と重複し、これを壊している。

第48号溝跡とは、ほぼ重なって位置しており、本溝跡は、第48号溝跡を再掘削したものの可能性がある。

出土遺物は、第176図に示した。43は古瀬戸



第165図 溝跡 (17)



第166図 溝跡 (18)

の鉀皿である。底部には回転系切痕が認められる。内外面に灰釉を施軸する。中期様式の製品であり、14世紀代の所産である。44は古瀬戸の平碗である。内外面に灰釉を施軸する。後期様式の製品であり、14世紀後葉から15世紀代の所産である。45は古瀬戸の折縁深皿である。内外面に灰釉を施軸する。中期様式の製品であり、13世紀末葉から14世紀前葉の所産である。46は古瀬戸の瓶類である。外面に灰釉を施軸する。後期様式の製品であり、14世紀後葉から15世紀代の所産である。47～51は、片口鉢である。47は常滑であり、内面は使用によって摩耗する。漆継痕が認められる。13世紀前葉の所産である。48も常滑であり、割れ口の一部を二次使用している。13世紀代の所産である。49～51も常滑であり、49・50は13世紀代の所産である。51は16世紀前半の所産である。52は常滑の甕である。

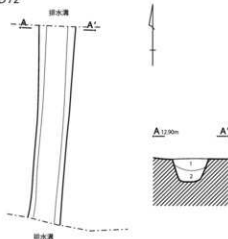
53・54は渥美の甕である。53は12世紀後半から13世紀初頭の所産である。55～57は瓦質土器の鉢である。58は瓦質土器の釜である。59は内耳鍋である。60は瀬戸美濃系陶器の碗で内外面に鉄釉を施軸する。17世紀前半の所産である。61は肥前系陶器の鉢である。

第47号溝跡 (第157・158・177図)

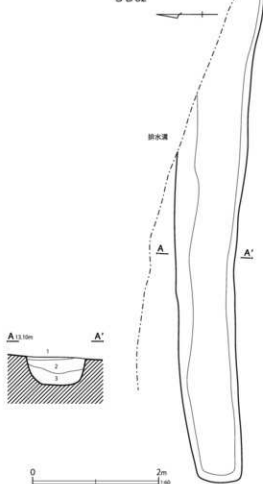
H・I-11グリッドに位置する。ほぼ直線に走る溝であり、南側端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長15.64m、幅0.47～0.72m、深さ0.18～0.24mである。走行方位はN-15°-Eを示す。断面形態は、碗形を呈する。第42号溝跡、第145・146号土壌と重複し、これを壊している。

出土遺物は、第177図に示した。62は古瀬戸の天目茶碗である。内外面に鉄釉を施軸する。後期様式の製品であり、14世紀末葉から15世紀初頭の所産である。63は古瀬戸の平碗である。内外面に灰釉を施軸する。14世紀後葉から15世紀代の所産である。64・65は古瀬戸の瓶子である。外面に灰

S D72



S D82



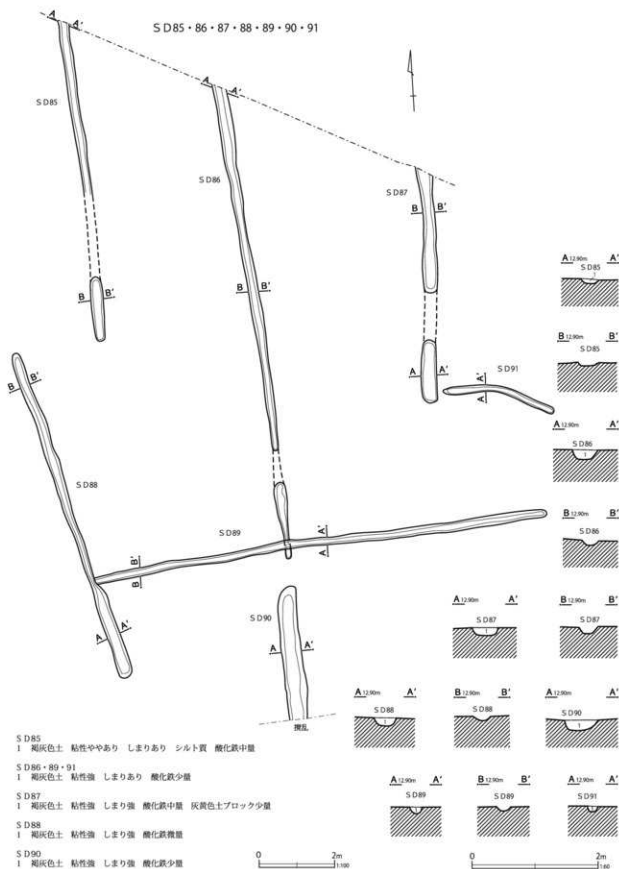
S D72

- | | | | | |
|---|-------|--------|---------|----------|
| 1 | 暗灰褐色土 | 粘性あり | しまり極めて強 | 酸化鉄皮状に多量 |
| 2 | 暗灰褐色土 | 粘性あり | しまり強 | 酸化鉄皮状に少量 |
| | | 白色粒極微量 | 炭粒極微量 | |

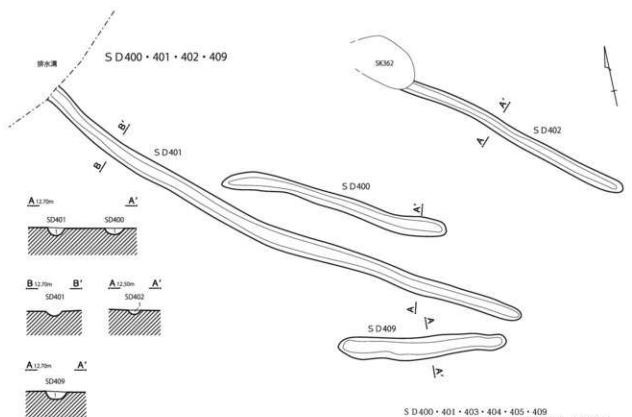
S D82

- | | | | |
|---|------|------|--------------|
| 1 | 灰褐色土 | しまり強 | 酸化鉄粒少量 |
| 2 | 灰褐色土 | しまり強 | 酸化鉄粒少量 白色粒少量 |
| 3 | 暗褐色土 | しまり弱 | 酸化鉄ブロック少量 |

第167図 溝跡 (19)

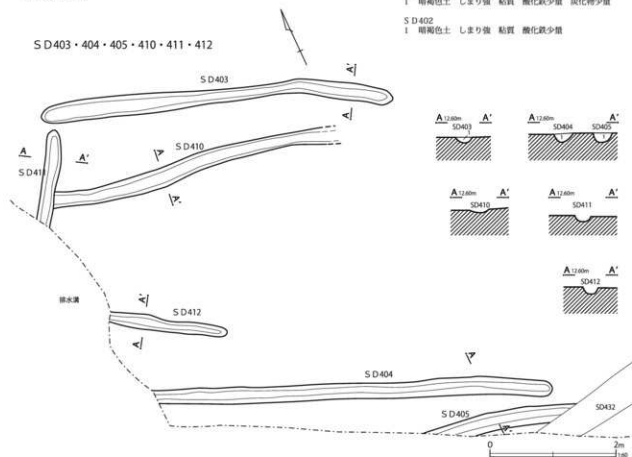


第168図 溝跡 (20)



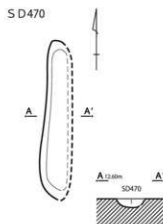
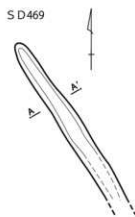
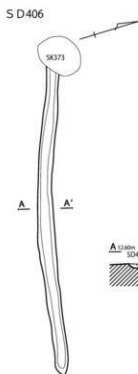
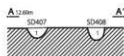
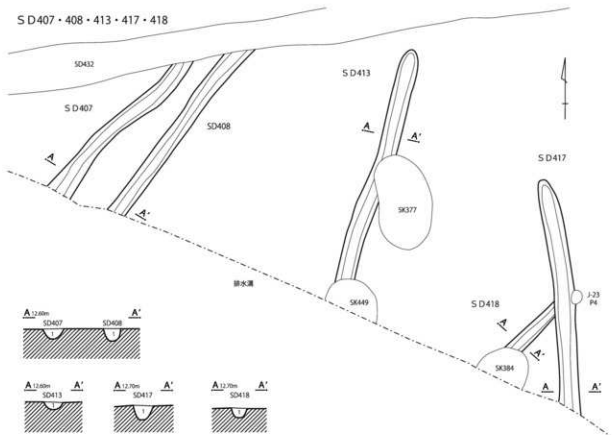
S D 400・401・403・404・405・409
 I 暗褐色土 しまり強 粘質 酸化鉄少量 炭化物少量

S D 402
 I 暗褐色土 しまり強 粘質 酸化鉄少量



第169図 溝跡 (21)

SD407・408・413・417・418



SD406
1 暗褐色土 しまり強 粘質 灰色土ブロック少量 酸化鉄少量

SD407・408・417
1 暗褐色土 しまり強 粘質 炭化物少量 黄白色土少量
一部砂質土の堆積あり

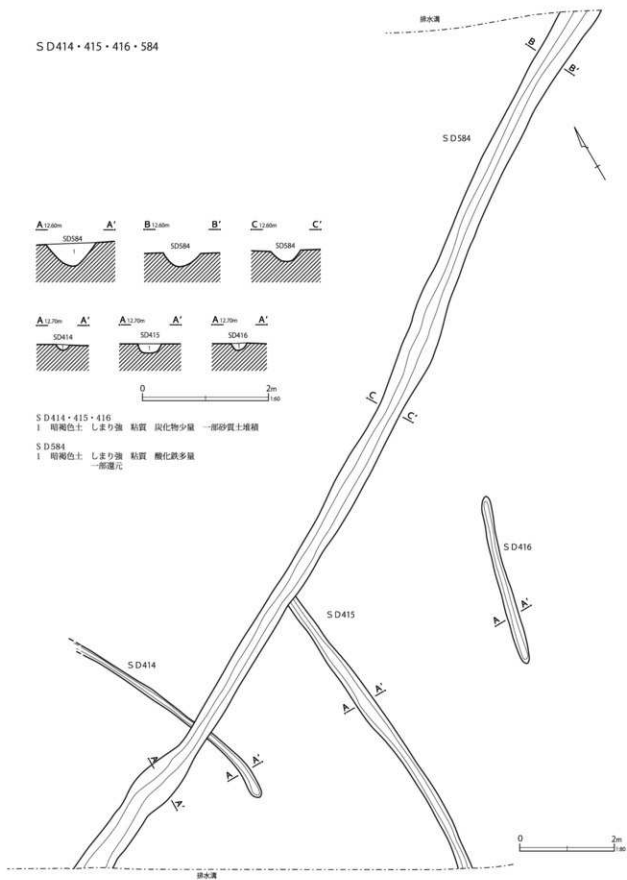
SD413・418・469
1 暗褐色土 しまり強 粘質 灰色土含む

SD470
1 暗褐色土 しまり強 粘質 黄白色土含む
一部還元化

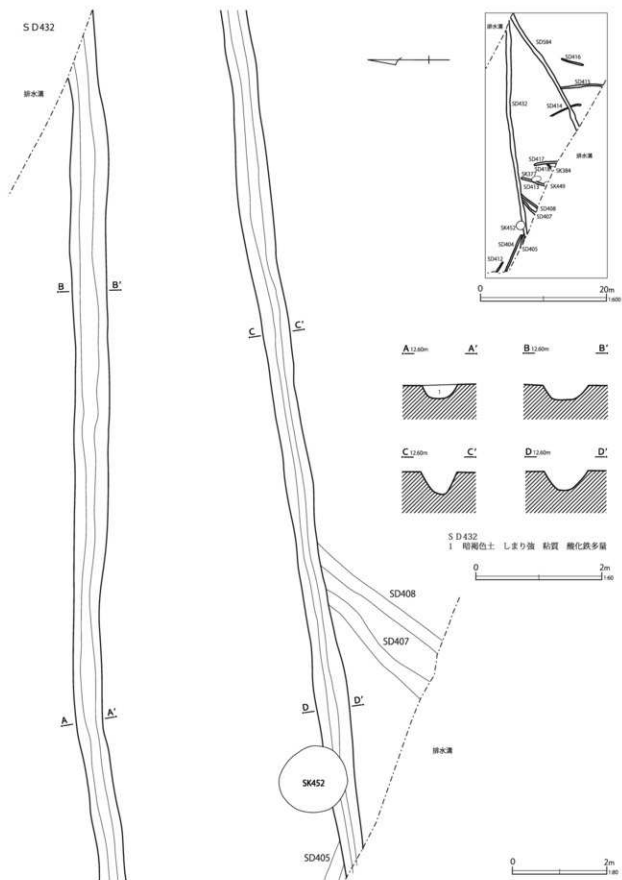
0 2m 1:40

第170図 溝跡 (22)

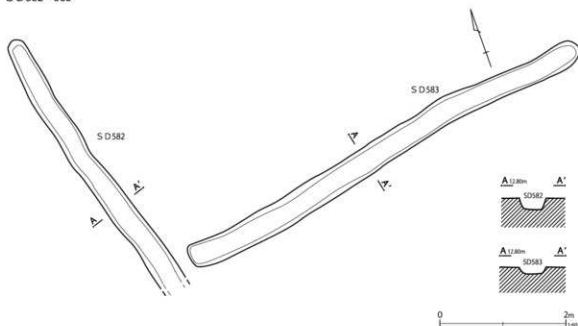
SD414・415・416・584



第171図 溝跡 (23)



第172図 溝跡 (24)



第173図 溝跡 (25)

第13表 溝跡一覧表 (第149～173図)

遺構名	グリッド	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	断面形	走行方向	方位	重複遺構
SD1	B・E-3	[26.10]	[0.85] ~ [2.30]	[1.15]	不明	北→南	N-5° -E	SD15(古)
SD11	C・D-4	[9.88]	0.27 ~ 0.52	0.04 ~ 0.09	皿形	北→南	N-6° -E	
SD12	D・E-4	[14.06]	[0.24] ~ [0.48]	0.18 ~ 0.36	碗形	南西→北東	N-17° -E	SD20
SD13	D・E-4	13.25	0.32 ~ 0.53	0.03 ~ 0.24	碗形	北→南	N-7° -E	SE40(古) SD22(新)
SD14	D・E-4	[8.27]	0.64 ~ 0.72	0.04	皿形	北→南	N-7° -E	SD23(新)
SD15	D・E-3 E・F-4 F-5	[25.69]	1.45 ~ 2.16	0.66 ~ 0.95	逆台形	北西→南東	N-40° -W	SD18・19 SE2・7・37(古) SD1(新)
SD16	D-4	[13.03]	0.23 ~ 0.54	0.10 ~ 0.20	逆台形	北→南	N-10° -E	SE4・16(古)
SD17	D-4	[7.45]	0.18 ~ 0.41	0.03 ~ 0.10	逆台形	北→南	N-12° -E	SE4・41(古)
SD18	E-3 ~ 5 F-5	[23.28]	0.37 ~ 0.66	0.20 ~ 0.24	逆台形	南→北→西	N-2° -W N-89° -W	SD19・25・39・40・44(古) SD15(新) SK36
SD19	D・E-5 E・F-4	[21.10]	0.39 ~ 1.30	0.05 ~ 1.32	箱形	北→南	N-10° -E	SE15・SD28(古) SD15・18・SK15・16(新)
SD20	D・E-4	[14.04]	0.26 ~ 0.46	0.08 ~ 0.38	碗形	南西→北東	N-17° -E	SD12
SD21	欠番							SD13と同一
SD22	D・E-4	4.10	0.24 ~ 0.39	0.41	U字形	南→北	N-4° -E	SE40・SD13(古)
SD23	D-4	[14.57]	0.18 ~ 0.40	0.08 ~ 0.38	U字形	北→南	N-10° -E	SD14(古)
SD25	D・E-4	[8.72]	0.36 ~ 0.77	0.10 ~ 0.18	逆台形	北→南	N-9° -E	SE16・SD28(古) SD18(新) SE41
SD27	欠番							SK155に変更
SD28	D・E-5	[2.28]	0.54 ~ 0.69	0.12 ~ 0.20	箱形	南西→北東	N-31° -E	SE3(古) SE16・SD19・25(新)
SD29	E・F・G-6・7	[17.82]	0.51 ~ 0.89	0.14 ~ 0.44	U字形	南→北	N-1° -E	SK87(古) SE13・22(新) SE52
SD30	H-13	5.77	0.38 ~ 0.55	0.17 ~ 0.21	逆台形	北西→南東	N-5° -E	ST3(古) SK156(新) SE54
SD42	G・H-12 H-11	[24.53]	0.41 ~ 0.75	0.10 ~ 0.21	逆台形	西→東→北	N-12° -W N-86° -W	SE86(古) SD43・47・48 SK150(新) SE110

遺構名	グリッド	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	断面形	走行方向	方位	重複遺構
SD43	G・H・I-12 H・I-11	[23.80]	0.25～0.76	0.11～0.36	逆台形 U字形	南→北	N-4° -E	SD42・SE58(古) SE91
SD44	F・G-10	[8.76]	0.43～0.59	0.06～0.17	皿形	南→北	N-3° -W	SE74・75(古) SE108 SK447
SD45	G・F-10	[6.80]	0.30～0.50	0.25～0.47	碗形	南→北	N-1° -E	G10P1
SD46	F～H-10・11	[20.09]	1.12～1.84	0.39～1.28	逆台形	北→南	N-1° -W	SE79・80・SD48(古)
SD47	H・I-11	[15.64]	0.47～0.72	0.18～0.24	碗形	南→北	N-15° -E	SD42・SK145・146(古)
SD48	F～H-10・11 I-11	[24.50]	2.28～2.72	0.51～0.69	逆台形	北→南	N-1° -W	SD42・SE79・80(古) SD46・50(新)
SD50	H・I-10 I-11	[18.46]	0.34～0.59	0.27～0.56	U字形	北→南→東→南	N-0° N-82° -W	SD48(古)
SD52	F・G-7	[16.20]	0.25～0.58	0.14～0.26	不整形	南→北	N-6° -W	SE44・51(古) SE43 SK86
SD69	K・L・M-20	[18.00]	0.79～1.02	0.55～0.85	逆台形	北→南	N-3° -W	SD73・74・76・79・ SE117(古) SD70(新)
SD70	M-20・21	12.20	0.34～0.50	0.12～0.17	逆台形	西→東→北→東	N-3° -W N-84° -W	SD69(古) SD80・81(新)
SD71	L-17～19	[17.26]	0.32～0.40	0.03～0.20	皿形	東→西	N-90°	SE116(新)
SD72	L-16	[3.25]	0.48～0.58	0.26～0.33	逆台形	北→南	N-4° -W	
SD73	L-17～20	[27.34]	0.20～0.48	0.04～0.20	碗形	東→西	N-90°	SE116・SD74(新)
SD74	L-17～20	[16.44]	0.35～0.55	0.16～0.23	箱形	東→西	N-90°	SD75(古) SD73
SD75	L-17～19	[21.74]	0.38～0.62	0.03～0.13	皿形	西→東	N-80° -E	SD74(新)
SD76	L-19・20	[7.93]	0.23～0.34	0.03～0.13	皿形	西→東	N-88° -W	SD69(新)
SD77	M-19・20	2.27	0.22～0.25	0.12～0.21	U字形	西→東	N-89° -E	
SD79	L-19・20	[9.31]	0.20～0.44	0.03～0.12	碗形 皿形	東→西	N-2° -E	SD69(新)
SD80	L・M-20・21	[14.43]	0.16～0.78	0.20～0.35	逆台形	北→南	N-5° -W	SE118・SD70(古) SD94(新) SE127
SD81	L・M-21	[15.82]	0.42～0.79	0.18～0.31	逆台形	北→南	N-3° -W	SD70・94・SK207・ 208(古)
SD82	L-21	[8.80]	0.81～1.18	0.39～0.52	逆台形	東→西	N-88° -E	SE124
SD85	L・M-23	[8.57]	0.21～0.32	0.04～0.10	逆台形	北→南	N-3° -W	SK202
SD86	M・N-23	[12.83]	0.13～0.36	0.05～0.19	逆台形	南→北	N-5° -W	SD89
SD87	M・N-24	[6.25]	0.30～0.41	0.11～0.17	逆台形	北→南	N-2° -W	
SD88	M・N-23	9.08	0.14～0.38	0.07～0.14	皿形	北→南	N-16° -W	SK205・SD89(古)
SD89	N-23・24	[12.08]	0.18～0.28	0.07～0.11	碗形	東→西	N-85° -E	SD88(新) SD86
SD90	N-23	[3.54]	0.49～0.59	0.13～0.20	逆台形	南→北	N-2° -W	
SD91	M・N-24	3.06	0.17～0.22	0.09	逆台形	南東→北西→西	N-90° N-64° -W	
SD92	L-20	[3.23]	0.21～0.29	0.06～0.09	皿形	北→南	N-2° -E N-67° -W	SE127
SD94	L-20・21	6.83	0.27～0.41	0.22～0.46	箱築研形	西→東	N-87° -E	SD80・SK207・208(古) SD81(新)
SD95	欠番							SD82と同一
SD400	R-34	3.66	0.21～0.30	0.10～0.13	皿形	南東→北西	N-63° -W	
SD401	R-34・35	[8.37]	0.24～0.34	0.07～0.11	皿形	南東→北西	N-50° -W	
SD402	R-34・35	[3.83]	0.21～0.24	0.05～0.06	皿形	南東→北西	N-52° -W	SK362(新)
SD403	S-34	5.60	0.17～0.33	0.04～0.09	皿形	北西→南東	N-68° -W	
SD404	S・T-34 T-35	[6.34]	0.21～0.29	0.07～0.11	碗形	北西→南東	N-66° -W	
SD405	T-34・35	[2.45]	0.28	0.08～0.14	碗形	西→南東	N-77° -W	SD432(新)
SD406	S-35・36	[4.89]	0.19～0.28	0.04～0.05	皿形	北西→南東	N-75° -W	SK373(新)
SD407	T-35	[2.58]	0.23～0.41	0.06～0.14	楕円形	北西→南東	N-44° -E	SD432(新)
SD408	T-35	[3.14]	0.25～0.28	0.08～0.18	碗形	北西→南東	N-37° -E	SD432(新)
SD409	R-34・35	2.68	0.24～0.35	0.05～0.12	皿形	西→東	N-80° -W	

遺構名	グリッド	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	断面形	走行方向	方位	重複遺構
SD410	S-34	[4.44]	0.19 ~ 0.30	0.03 ~ 0.60	皿形	西→東	N-79° -W	SD411 (新)
SD411	S-34	[1.59]	0.22 ~ 0.27	0.08 ~ 0.13	逆台形	北→南	N-33° -E	SD410 (古)
SD412	S-34	[1.88]	0.16 ~ 0.25	0.07 ~ 0.10	逆台形	北西→南東	N-58° -W	
SD413	T-35	[3.89]	0.29 ~ 0.33	0.08 ~ 0.11	碗形	南西→北東	N-18° -E	SK377・449 (新)
SD414	T-36・T・U-37	[5.00]	0.13 ~ 0.22	0.04 ~ 0.08	碗形	南→北西	N-75° -W	SD584 (新)
SD415	T・U-37	6.88	0.23 ~ 0.38	0.08 ~ 0.13	逆台形	南→北	N-6° -W	SD684 (新)
SD416	T・U-37	3.64	0.20 ~ 0.25	0.08 ~ 0.10	碗形	南西→北東	N-14° -E	
SD417	T-36	[3.80]	0.30 ~ 0.33	0.08 ~ 0.22	U字形	北→南	N-8° -W	SD418 (古)
SD418	T-36	1.09	0.20 ~ 0.24	0.13	碗形	南西→北東	N-47° -E	SK384・SD417 (新)
SD432	S・T-36 ~ 38 T-34・35	34.50	0.45 ~ 0.80	0.20 ~ 0.38	播鉢形	東→西	N-84° -E	SD405・407・408 (古) SK452
SD469	U-39・40 V-40	[2.08]	0.27 ~ 0.35	0.07 ~ 0.09	碗形	北西→南東	N-33° -W	
SD470	T・U-38	[2.52]	[0.28] ~ [0.35]	0.08 ~ 0.13	碗形	北→南	N-6° -W	
SD582	I・J-17	[4.63]	0.32 ~ 0.45	0.10 ~ 0.17	逆台形	北→南	N-15° -W	
SD583	J-17・18	7.01	0.39 ~ 0.45	0.08 ~ 0.11	逆台形	東→西	N-80° -E	SL3級1・2 (古)
SD584	U-36・T-36 ~ 38	20.80	0.20 ~ 0.40	0.19 ~ 0.35	播鉢形	北東→南西	N-55° -E	SD414・415 (古)

釉を施軸する。65は外面に沈線文を施す。

第48号溝跡 (第157・158・177図)

F ~ H-10・11、I-11グリッドに位置する。直線に走る溝であり、両端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長24.50m、幅2.28 ~ 2.72m、深さ0.51 ~ 0.69mである。走行方位はN-1° -Wを示す。断面形態は、逆台形を呈する。第42号溝跡、第79・80号井戸跡と重複し、これを壊している。第46・50号溝跡と重複し、これを壊されている。

第46号溝跡とはほぼ重なって位置しており、第46号溝跡は、本溝跡を再掘削したものの可能性がある。

出土遺物は、第177図に示した。66は瓦質土器の鉢である。67は瀬戸美濃系陶器の碗である。内外面に鉄釉を施軸する。17世紀代の所産である。

第50号溝跡 (第157・158・177図)

H・I-10、I-11グリッドに位置する。鍵の手状に走る溝であり、南側端部は調査区外へと延びる。

規模は、遺存値で、検出全長18.46m、幅0.34 ~ 0.59m、深さ0.27 ~ 0.56mである。走行方位は南北方向N-0°、東西方向N-82° -Wを示す。断面形態は、U字形を呈する。第48号溝跡と

重複し、これを壊している。

出土遺物は、第177図に示した。68は陶器の水注である。外面に鉄釉を施軸する。69は天目茶碗である。内外面に鉄釉を施軸する。17世紀前半の所産である。70は瀬戸美濃系陶器の香炉である。外面に鉄釉を施軸する。17世紀代の所産である。71は丹波系の播鉢である。17世紀中葉から後葉の所産である。72はかわらけである。底部には糸切痕が認められる。73は焙烙である。外面、底面に煤が付着する。

第52号溝跡 (第155・178図)

F・G-7グリッドに位置する。直線に走る溝であり、南側端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長16.20m、幅0.25 ~ 0.58m、深さ0.14 ~ 0.26mである。走行方位はN-6° -Wを示す。断面形態は、不整形である。第44・51号溝跡と重複し、これを壊している。第43号井戸跡、第86号土壇と重複し、これに壊されている。

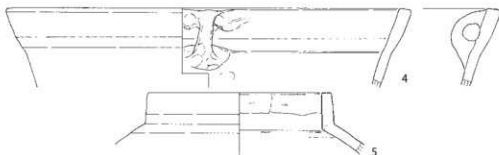
西側に近接する第29号溝跡とは、走行方位をほぼ同じにし、並走する。

出土遺物は、第178図に示した。74は古瀬戸の盤類である。内外面に灰釉を施軸する。後期様式の製品であり、14世紀後葉から15世紀前葉の所産である。76は古瀬戸の瓶類である。外面に灰釉を

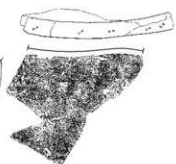
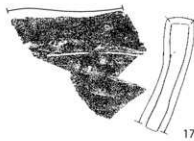
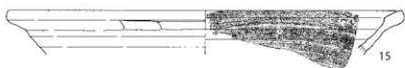
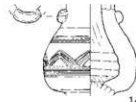
SD1



SD12

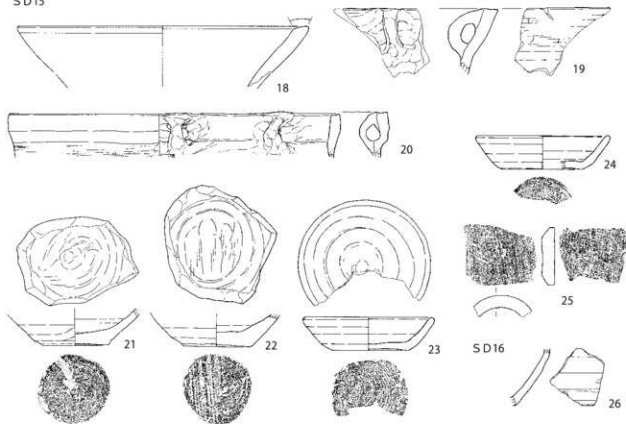


SD15



第174図 溝跡出土遺物 (1)

SD15



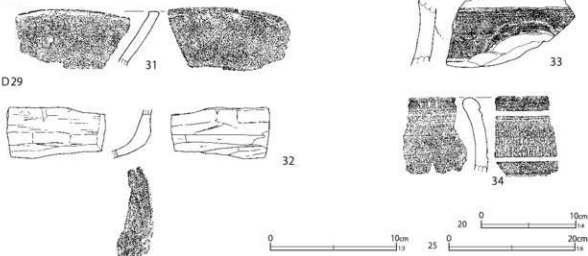
SD17

SD18

SD30

SD25

SD29



第175図 溝跡出土遺物(2)